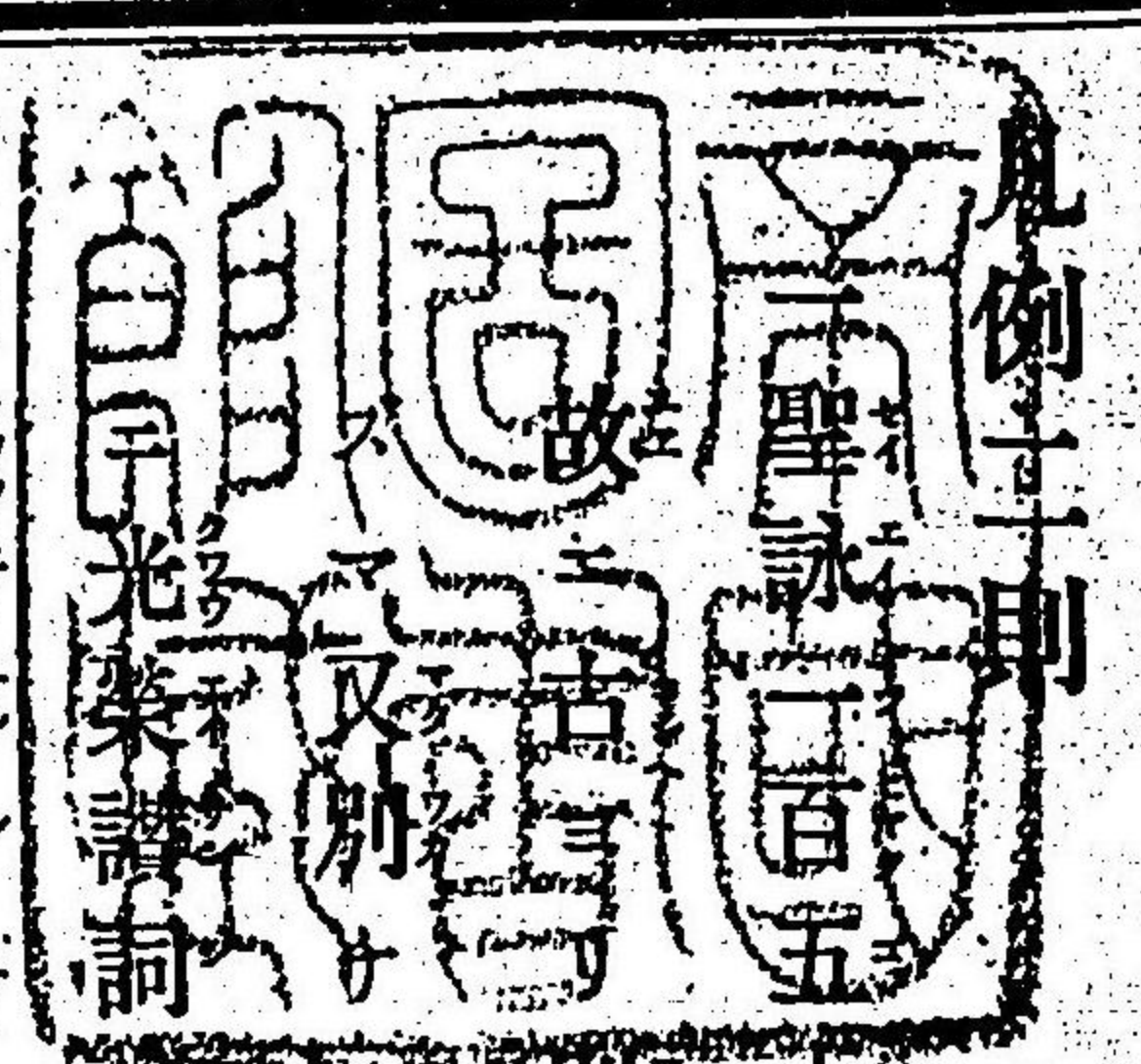




聖詠經

日本正教會翻譯
明治三十四年再刊

27
78



凡例

十篇正教會禱課ニ之ヲ用井ルコト最多シ。

別々テ二十カフズマ(譯スレバ)ト爲シカフ

三段ト爲シ以テ誦讀ニ便ニス。毎段ノ後

光榮讚詞ヲ附ス。

一 光榮讚詞左ノ如シ。

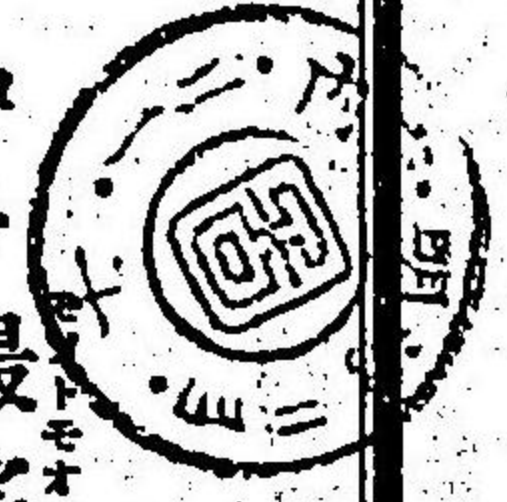
光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス今モ何時モ世世ニアミン。

「アリルイヤ」アリルイヤ「アリルイヤ」神ヨ光榮ハ爾ニ歸ス。

三次

主憐メヨ 三次

聖詠經 凡例



光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス、今モ何時モ世世ニアミン。

聖詠經目錄

第一「カズズマ」……………	第一頁
第二「カズズマ」……………	第十二頁
第三「カズズマ」……………	第二十七頁
第四「カズズマ」……………	第四十四頁
第五「カズズマ」……………	第六十頁
第六「カズズマ」……………	第七十四頁
第七「カズズマ」……………	第九十四頁
第八「カズズマ」……………	第一百一頁
第九「カズズマ」……………	第二百二十六頁

第十「カフズマ」	……………	第四百四十二頁
第十一「カフズマ」	……………	第四百五十九頁
第十二「カフズマ」	……………	第四百八十頁
第十三「カフズマ」	……………	第四百九十六頁
第十四「カフズマ」	……………	第二百十頁
第十五「カフズマ」	……………	第二百二十四頁
第十六「カフズマ」	……………	第二百四十頁
第十七「カフズマ」	……………	第二百五十三頁
第十八「カフズマ」	……………	第二百七十一頁
第十九「カフズマ」	……………	第二百八十五頁

第二十「カフズマ」	……………	第三百三頁
續聖詠	……………	第三百十五頁
附錄	……………	第三百十七頁

聖詠經 目錄



ドワダ者言預王聖

聖詠經

第一カフスマ

第一聖詠

惡人ノ謀ニ行カス罪人ノ途ニ立タズ壞亂者ノ位ニ坐セ
 スシテ其心ヲ主ノ法ニ置キ晝夜此ノ法ヲ思念スル人ハ
 福ナリ。三 彼ハ水邊ニ植エタル木期ニ及ビテ其果ヲ結ビ其
 葉萎マザル者ノ如クナラン彼ハ其作ス所皆之ヲ遂ゲン。四
 惡人ハ否ズ乃塵ノ地面ヨリ風ニ吹キ上ダラルルガ如シ。五

聖詠經 第一聖詠



聖王預言者ダド

聖詠經

第一カフスマ

第一聖詠

ダドハ詠

一 惡人ノ謀ニ行カズ、罪人ノ途ニ立タズ、壞亂者ノ位ニ坐セ
 ズシテ、ニ其心ヲ主ノ法ニ置キ、晝夜此ノ法ヲ思念スル人ハ
 福ナリ。三 彼ハ水邊ニ植エタル木、期ニ及ビテ其果ヲ結ビ、其
 葉萎マザル者ノ如クナラン、彼ハ其作ス所皆之ヲ遂ゲン。四
 惡人ハ否ズ、乃塵ノ地面ヨリ風ニ吹キ上ゲラルルガ如シ。五

故ニ惡人ハ審判ニ立ツテ得ズ、罪人ハ義人ノ會ニ立ツテ得
ザラン。蓋主ハ義人ノ途ヲ知ル、惡人ノ途ハ滅ビシ。

第二聖詠

ダワドノ詠

諸民何爲レゾ騒ギ、諸族何爲レゾ徒ニ謀ル。地ノ諸王興
リ、諸侯相議リテ主ヲ攻メ、其膏ツケラレシ者ヲ攻ム、曰ク、
我等其繩ヲ斷テ、其鎖ヲ棄テント。天ニ居ル者ハ之ヲ哂ヒ、
主ハ彼等ヲ辱シメン。其時憤リテ彼等ニ言ヒ、其怒ヲ以テ
彼等ヲ擾サン、曰ク、我ハ彼ヨリ立テラレテ、シオン其聖山
ノ王ト爲レリ。我命ヲ宣ベシ、主我ニ謂ヘリ、爾ハ我ノ子、我

今日爾ヲ生メリ、我ニ求メヨ、我諸民ヲ與ヘテ爾ノ業ト爲
シ、地ノ極ヲ與ヘテ爾ノ領ト爲サン、爾鐵ノ杖ヲ以テ彼等
ヲ擊テ、陶器ノ如ク彼等ヲ碎カント。故ニ諸王ヨ、悟レ、地ノ
審判者ヨ、學ベ、畏レテ主ニ勤メヨ、戰キテ其前ニ喜ベヨ。子
子ヲ恭ヘ、恐ラクハ彼怒リテ、爾等途ニ亡ビシ、蓋其怒ハ速ニ
起ラン。凡ソ彼ヲ恃ム者ハ福ナリ。

第三聖詠

ダワドノ詠其子アワサロムヲ避クル時ニ作リシ所ナリ。

主ヨ、我が敵ハ何ゾ多ク、多クノ者ハ我ヲ攻ム、多クノ者
ハ我が靈ヲ指シテ、彼ハ神ヨリ救ヲ得ズト云フ。然レドモ

主ヨ、爾ハ我ヲ衛ル盾ナリ、我ノ榮ナリ、爾ハ我ガ首ヲ舉グ。五
 我が聲ヲ以テ主ニ呼ブニ、主ハ其聖山ヨリ我ニ聽キ給フ。六
 我臥シ、寢テ、又覺ム、主ハ我ヲ扞ギ衛レバナリ。七
 環リテ我ヲ攻ムル萬民ハ、我之ヲ懼レザラン。八
 主ヨ、起キヨ、吾ガ神ヨ、我ヲ救ヒ給ヘ、蓋爾ハ我ガ諸敵ノ煩ヲ批テ、惡人ノ齒ヲ折ケリ。九
 救ハ主ニ依ル、爾ノ降福ハ爾ノ民ニ在リ。

光榮讚詞

第四聖詠

一 伶長ニ琴ヲ彈キテ歌ハシム。ダウドノ詠。
 ニ 吾ガ義ノ神ヨ、我ガ籲ブ時、我ニ聽キ給ヘ。我ガ狹ニ在ル時、

爾我ニ廣ク與ヘタリ。我ヲ憐ミテ、我ガ禱ヲ聽キ給ヘ。三
 人ノ子ヨ、我ガ榮ノ辱シメラルルコト何ノ時ニ至ルカ、爾等虚ヲ好ミ、詭ヲ求ムルコト何ノ時ニ至ルカ。四
 爾等主ガ其聖者ヲ析テ、己ニ屬セシメシヲ知レ、我籲ヘバ、主ハ之ヲ聽ク。五
 怒リテ罪ヲ犯ス、母レ、榻ニ在ルトキ、爾等ノ心ニ謀リテ、己ヲ鎮メヨ。六
 義ノ祭ヲ獻ゲテ、主ヲ恃メ。七
 多クノ者ハ言フ、誰カ我等ニ善ヲ示サン。主ヨ、爾ノ顔ノ光ヲ我等ニ顯シ給ヘ。八
 爾ノ我ガ心ニ樂ヲ滿ツルハ、彼等ガ餅ト酒ト油トニ豐ナル時ヨリ勝レリ。九
 我安然トシテ、偃シ、寢ヌ、蓋主ヨ、獨爾ハ我ニ無難ニシテ、世ヲ渡ラシメ給フ。

第五聖詠

一 伶長ニ箏ヲ以テ和セシム。ダワドノ詠。
 二 主ヨ、我が言ヲ聽キ、我が思ヲ悟レ。三 我が王、我が神ヨ、我が
 呼ブ聲ヲ聽キ納レ給ヘ、我爾ニ祈レバナリ。四 主ヨ、晨ニ我が
 聲ヲ聽キ給ヘ、我晨ニ爾ノ前ニ立テ待タン。五 蓋爾ハ不法
 ナ喜バザル神ナリ、惡人ハ爾ニ居ルヲ得ズ、六 不虔ノ者ハ爾
 ガ目ノ前ニ止ラザラン、爾ハ凡ソ不法ヲ行フ者ヲ憎ム、七 爾
 ハ謊ヲ言フ者ヲ滅サン、殘忍詭譎ノ者ハ主之ヲ惡ム。八 惟我
 爾ガ憐ノ多キニ倚リテ、爾ノ家ニ入り、爾ヲ畏レテ、爾ガ聖殿
 ニ伏拜セン。九 主ヨ、我が敵ノ爲ニ我ヲ爾ノ義ニ導キ、我が前

二 爾ノ道ヲ平ニセヨ。十 蓋彼等ノ口ニハ眞實ナク、彼等ノ心
 ハ惡逆、彼等ノ喉ハ開ケタル樞、其舌ニテ媚ビ諂フ。十一 神ヨ、彼
 等ノ罪ヲ定メ、彼等ヲシテ其謀ヲ以テ自ラ敗レシメ、彼等ガ
 不虔ノ甚シキニ依リテ之ヲ逐ヒ給ヘ、彼等爾ニ逆ラヘバナ
 リ。十二 凡ソ爾ヲ頼ム者ハ喜ビテ永ク樂ミ、爾ハ彼等ヲ庇ヒ護
 ラン、爾ノ名ヲ愛スル者ハ爾ヲ以テ自ラ詡ラントス。十三 蓋主
 ヲ爾ハ義人ニ福ヲ降シ、惠ヲ以テ盾ノ如ク、彼ヲ環ラシ衛レ
 バナリ。

第六聖詠

一 伶長ニ八絃ノ琴ヲ以テ歌ハシム。ダワドノ詠。

主ヨ、爾ノ憤ヲ以テ我ヲ責ムル母レ、爾ノ怒ヲ以テ我ヲ罰
 スル母レ。三 主ヨ、我ヲ憐ミ給ヘ、我弱ケレバナリ、主ヨ、我ヲ醫
 シ給ヘ、我ガ骸ハ慄キ、四 我ガ靈モ甚慄ケバナリ、爾主ヨ、何ノ
 時ニ至ルカ。五 主ヨ、面ヲ轉シ、我ガ靈ヲ免レシメ、爾ノ憐ニ由
 リテ我ヲ救ヒ給ヘ。六 蓋死ノ中ニハ、爾ヲ記憶スルナシ、墓ノ
 中ニハ誰カ爾ヲ讚揚セン。七 我嘆ニテ憊レタリ、毎夜我ガ榻
 ナ滌ヒ、我ガ涙ニテ我ノ褥ヲ濡ス。八 我ガ眼ハ憂ニ因リテ枯
 レ、我ガ諸ノ敵ニ因リテ衰ヘタリ。九 凡ソ不法ヲ行フ者ハ我
 ナ離レヨ、蓋主ハ我ガ泣ク聲ヲ聞ケリ。十 主ハ我ガ願ヲ聽キ
 給ヘリ、主ハ我ガ禱ヲ納レントス。十一 願ハクハ我ガ諸ノ敵ハ

辱シメラレテ痛ク撃タレン、願ハクハ退キテ俄ニ愧ヲ得ン。

光榮讚詞

第七聖詠

一 悲哀ノ歌、ダウダガワニアミンノ族フスノ事ニ因リテ、主ニ謳歌セシ所
 ナリ。

二 主我ガ神ヨ、我爾ヲ頼ム、我ヲ悉クノ窘逐者ヨリ救ヒテ、我
 ナ援ケ給ヘ。三 願ハクハ彼ハ獅ノ如ク我ガ靈ヲ抜キテ、援ケ
 救フ者ナキ時ノ如ク之ヲ撃カザラン。四 主我ガ神ヨ、若シ我
 何事ナカ爲シ、若シ我ガ手ニ不義アリ、五 若シ我故ナク我ガ
 敵トナリシ人ヲモ救ヒシニ、我ト親アル者ニ惡ヲ報イシナ

ラバ、願ハクハ敵ハ我が靈ヲ追ヒテ之ヲ執ヘ、我が生命ヲ
 地ニ蹂リ、我が榮ヲ塵ニ擲タシ。主ヨ、爾ノ怒ヲ以テ興キ、我
 ガ敵ノ暴虐ニ向ヘ、我が爲ニ起キテ、爾ガ定メシ審判ヲ行ヒ
 給ヘ、萬民爾ヲ環ラシ、爾其上ノ高處ニ升リ給ヘ。主ハ衆
 民ヲ審判ス。主ヨ、我ノ義ト我ノ玷ナキトニ循ヒテ我ヲ審判
 セヨ。願ハクハ惡者ノ殘害ハ絶タレン、義人ハ爾之ヲ固メ
 ヲ、義ナル神ヨ、爾ハ人ノ心腹ヲ試ミレバナリ。我ノ盾ハ心
 ノ正シキ者ヲ救フ神ニ在リ。神ハ義且勇毅ニシテ寬忍ナ
 ル審判者ナリ、又神ハ人反正セザレバ、日日ニ嚴シク糺ス
 者ナリ。彼ハ其劍ヲ礪ギ、其弓ヲ張りテ之ヲ向ケ、是ガ爲ニ

死ノ器ヲ備ヘ、其矢ヲ以テ火箭ト爲ス。視ヨ、惡者ハ不義ヲ
 宿シ、殘害ヲ孕ミ、己ノ爲ニ詐僞ヲ生メリ、阱ヲ掘リ、之ヲ掘
 リ、峻リテ、自ラ設ケシ穴ニ陷レリ、其殘害ハ其首ニ歸リ、其
 暴虐ハ其頂ニ落ナシ。我主ノ義ニ因リテ主ヲ崇メ讚メ、至
 上ナル主ノ名ヲ讚メ歌フ。

第八聖詠

一 伶長ニゲフノ樂器ヲ以テ歌ハシム、ダワドノ詠

主我が神ヨ、爾ノ名ハ何ゾ全地ニ大ナル、爾ノ光榮ハ諸天
 ニ超ユ。爾ノ敵ノ故ヲ以テ、爾ハ嬰兒ト哺乳者トノ口ヨリ
 讚美ヲ備ヘタリ、敵ト仇ヲ報ユル者トニ言ナカラシメン爲

ナリ。四 我爾ガ指ノ作爲ナル諸天ヲ觀爾ノ建テシ月ト星ト
 ナ觀レバ、五 則人ハ何物タル爾之ヲ憶フカ、人ノ子ハ何物タ
 ル、爾之ヲ顧ミルカ。六 爾彼ヲ天使等ヨリ少シク遜ラシメ、彼
 ニ光榮ト尊貴トヲ冠ラセ、七 彼ヲ爾ガ手ノ造リシ者ノ上ニ
 立テ、萬物ヲ其足下ニ服セシメタリ、八 卽悉クノ羊、牛、又野ノ
 獸、九 天ノ鳥、海ノ魚、一切海ニ游グ者ナリ。十 主我ガ神ヨ、爾ノ
 名ハ何ゾ全地ニ大ナル。

光榮讚詞

第一「カフズマ」

第九聖詠

一 伶長ニ歌ハシムラベンノ死後ダワドノ詠

ニ 主ヨ、我心ヲ盡シテ爾ヲ讚メ揚ゲ、爾ガ悉クノ奇迹ヲ傳ヘ
 シ。三 至上者ヨ、我爾ノ爲ニ慶ビ祝ヒ、爾ノ名ニ歌ハン。四 我ガ
 敵ハ退ケラルル時、躓キテ爾ガ顔ノ前ニ亡ビシ。五 蓋爾ハ我
 ガ判ヲ行ヒ、我ガ訟ヲ理メタリ、義ナル審判者ヨ、爾ハ寶座ニ
 坐シ給ヘリ。六 爾ハ諸民ヲ憤リ、惡者ヲ滅シ、其名ヲ永遠ニ抹
 セリ。七 敵ニハ武器悉ク盡キ、城邑ハ爾之ヲ毀テ、其記憶ハ是
 ト偕ニ滅ビタリ。八 唯主ハ永遠ニ存ス、彼ハ審判ノ爲ニ其寶
 座ヲ備ヘタリ、九 彼ハ公義ヲ以テ世界ヲ審判シ、正直ヲ以テ
 審判ヲ諸民ニ行ハン。十 主ハ苦メラルル者ノ爲ニ避所トナ

憂ノ時ニ於テ避所トナラン。爾ノ名ヲ知ル者ハ爾ヲ頼
 マン、主ヨ、爾ヲ尋ヌル者ヲ爾棄テザレバナリ。十二
 シオンニ居ル主ニ歌ヘ、彼ノ行爲ヲ諸民ノ中ニ傳ヘヨ、蓋彼ハ血ヲ流
 ス罪ヲ問ヒ、之ヲ記憶シテ、苦メラルル者ノ號ヲ忘レズ。十四十五
 主ヨ、我ヲ憐メ、我ヲ死ノ門ヨリ升セテ、爾ガ悉クノ讚美ヲシ
 オンノ女ノ門ニ傳ヘシムル者ヨ、我ヲ疾ム者ノ我ニ加フル
 苦ヲ見ヨ、我爾ガ救ノ爲ニ喜バン。十六
 諸民ハ其掘リタル阱ニ
 陥リ、其藏シタル網ニ其足ハ繫ハレタリ。十七
 主ハ其行ヒシ審
 判ニ依リテ知ラレ、惡者ハ己ガ手ノ所爲ニテ執ヘラレタリ。
 十八
 願ハクハ惡者凡ソ神ヲ忘ルル民ハ地獄ニ赴カン。十九
 蓋貧

シキ者ハ永ク忘レラルルニアラズ、乏シキ者ノ望ハ永ク絶
 タルルニアラズ。二十
 主ヨ、起キヨ、人ニ勝テ得シムル母レ、願ハ
 クハ諸民ハ爾ガ顔ノ前ニ審判セラレン。二一
 主ヨ、彼等ヲシテ
 懼レシメヨ、諸民ガ己ノ人タルヲ知ラン爲ナリ。二二
 主ヨ、何ゾ
 遠ク立テ憂ノ時ニ己ヲ隠ス。二三
 惡者ハ誇ニ依リテ貧シキ者
 ヲ陵グ、願ハクハ彼等自ラ設クル所ノ謀ニ陷ラン。二四
 蓋惡者
 ハ其靈ノ慾ヲ以テ自ラ誇リ、利ヲ貪ル者ハ己ヲ讚ム。二五
 惡者
 ハ其驕ニ依リテ主ヲ輕ンシテ、糺サザラント云フ、其悉クノ
 思ノ中ニ神ヲシトス。二六
 彼ノ道ハ恒ニ害アリ、爾ノ定ハ彼ニ
 遠ザカル、彼ハ其悉クノ敵ヲ藐ンシ視ル、二七
 其心ニ謂フ、我動

カザラン、代代禍ニ遭ハザラント、其口ニハ詛呪ト欺詐ト
 詭計トヲ滿テ、其舌ノ下ニハ窘迫ト殘害アリ。彼ハ垣ノ後
 埋伏所ニ坐シ、罪ナキ者ヲ隠レタル所ニ殺シ、目ヲ以テ貧シ
 キ者ヲ窺フ、隠レタル所ニ伏シ狙フコト、獅ガ窟ニ在ルガ
 如シ、埋伏所ニ伏シ狙ヒテ、貧シキ者ヲ執ヘントス、貧シキ者
 ヲ執ヘ、牽キテ己ノ網ニ入ル。彼ハ踟ミテ伏シ、貧シキ者ハ
 其勁キ爪ニ落ツ。彼ハ其心ニ謂フ、神ハ忘レ、己ノ面ヲ匿セ
 リ、永ク見ザラント。主我が神ヨ、起キテ爾ノ手ヲ舉ゲヨ、苦
 メラルル者ヲ永ク忘ルル母レ。何ゾ惡者ハ神ヲ輕ンジテ、
 其心ニ爾ハ糺サザラント云フ。爾之ヲ見ル、蓋爾ハ陵ト虐

トナ鑿ミル、爾ノ手ヲ以テ之ニ報イン爲ナリ。貧シキ者ハ爾
 ニ頼ル、孤ヲ扶クル者ハ爾ナリ。求ム、惡者ト罪者トノ臂ヲ
 折キテ、其惡事ヲ尋ヌトモ得ルナキニ至ラシメヨ。主ハ王
 トナリテ、世世ニ終ナカラシ、異邦民ハ其地ヨリ絶タレン。主
 ヲ、爾ハ謙卑ノ者ノ願ヲ聞ク、彼等ノ心ヲ固メヨ、爾ノ耳ヲ
 開キテ、孤ト苦メラルル者トノ爲ニ審判ヲ行ヒ給ヘ、人ガ
 復地上ニ於テ恐嚇ヲ爲サザラン爲ナリ。

第十聖詠

怡長ニ歌ハシム、ダワドノ詠。

一 我主ヲ恃ム、爾等何ゾ我が靈ニ謂フ、鳥ノ如ク飛ビテ爾ノ

山ニ至レ。蓋視ニ惡人弓ヲ張り、其矢ヲ弦ニ注ヘ、暗ニ在リ
 テ心ノ義ナル者ヲ射ント欲ス。基壞ラレタルバ、義人何ヲ
 カ爲サン。主ハ其聖殿ニ在リ、主ノ寶座ハ天ニ在リ、其目ハ
 貧シキ者ヲ見、其瞼ハ人ノ諸子ヲ試ミル。主ハ義者ヲ試ミ、
 其心ハ惡人ト暴虐ヲ好ム者トヲ疾ム。彼ハ蕪炭、烈火、硫磺
 ナ雨ノ如ク惡人ニ注ガン、炎風ハ彼等ガ杯ノ分ナリ、蓋主
 ハ義ニシテ義ヲ愛シ、其顔ハ義人ヲ視ル。

光榮讚詞

第十一聖詠

一 俗長ニ八絃ノ樂器ヲ以テ歌ハシム。ダワドノ詠

主ヨ、我ヲ救ヒ給ヘ、蓋義人ハ絶エタリ、人ノ子ノ中ニ忠信
 ノ者ナシ。人各其隣ニ譎ヲ言ヒ、媚ビ諂フ口ニテ貳心ヨリ
 言フ。主ハ悉クノ媚ビ諂フ口誇リ高ブル舌ヲ絶テ、彼ノ
 言ヒテ、我が舌ニテ勝タン、我が口ハ我等ト共ニアリ、誰カ我
 等ニ主タラント云フ者ヲ絶タン。主曰ク、貧シキ者ノ苦乏
 シキ者ノ嘆ニ因リテ、我今興キ、執ヘラレシトスル者ヲ危カ
 ラザル處ニ置カン。主ノ言ハ淨キ言ナリ、爐ニ於テ土ヨリ
 淨メラレテ、七次鍊ラレタル銀ナリ。主ヨ、爾ハ我等ヲ保テ、
 我等ヲ護リテ、斯ノ世ヨリ永遠ニ至ラン。人ノ子ノ中小人
 高ニ在レバ、惡者四方ニ環ル。

第十二聖詠

一 伶長ニ歌ハシムダワドノ詠

主ヨ我ヲ全ク忘ルルコト何ノ時ニ至ルカ、爾ノ面ヲ我ニ
 隠スコト何ノ時ニ至ルカ、我ガ己ノ靈ノ中ニ謀リ、心ノ中
 ニ日夜憂ヲ懷クコト何ノ時ニ至ルカ、我ガ敵ノ我ニ高ブル
 コト何ノ時ニ至ルカ。主我ガ神ヨ顧ミテ我ニ聽キ給ヘ、我
 ガ目ヲ明ニシテ、我ヲ死ノ寐ニ寐チザラシメ給ヘ、五我ガ敵
 ガ我ハ彼ニ勝テリト曰ハザラン爲、我ヲ攻ムル者ガ我ノ撼
 ク時ニ喜バザラン爲ナリ。我爾ノ憐チ恃ミ、我ガ心爾ノ救
 ナ喜バン、我恩ヲ施ス主ヲ讚メ頌ヒ、至上ナル主ノ名ヲ崇メ

歌ハシム。

第十三聖詠

一 伶長ニ歌ハシムダワドノ詠

一 無知ナル者ハ其心ニ神ナシト謂ヘリ。彼等ハ自ラ壞レ、憎
 ムベキ事ヲ行ヘリ、善ヲ爲ス者ナシ。主ハ天ヨリ人ノ諸子
 ヲ臨ミ、或ハ智ノ明ニシテ、神ヲ求ムル者アリヤヲ見ント欲
 ス。三 皆迷ヒ、均シク無用ト爲レリ、善ヲ行フ者ナシ、一モ亦ナ
 シ。四 凡ソ不法ヲ行ヒ、餅ヲ食フ如ク、我ガ民ヲ食ヒ、及ビ主ヲ
 呼バザル者、豈ニ悟ラズヤ。五 彼等ハ懼ナキ處ニ懼レン、蓋神
 ハ義人ノ族ニアリ。六 爾等ハ貧者ノ意ニ、主ハ彼ノ恃ナリト、

謂フテ嘲リタリ。七 誰カシオンヨリ救ナイズライリニ與ヘ
ン。主ガ其民ノ虜ヲ返サン時、イアコフハ喜ビ、イズライリハ
樂マン。

光榮讚詞

第十四聖詠

ダウドノ詠

一 主ヨ、孰カ爾ノ住所ニ居ルヲ得ル、孰カ爾ノ聖山ニ在ルヲ
得ル。二 玷ナキヲ行ヒ、義ヲ爲シ、其心ニ眞實ヲ言フ者、其三
ニテ讒セズ、其親シキ者ニ惡ヲ爲サズ、其隣ヲ謗ル言ヲ受ケ
ズ、四 邪僻ナル者ヲ藐シ、主ヲ畏ルル者ヲ尊ミ、誓ヲ發スレ

バ惡人ニ於テスト雖變ヘズ、五 銀ヲ貸シテ利ヲ取ラズ、賂ヲ
受ケテ辜ナキ人ヲ責ムルコトヲセザル者ナリ。此クノ如ク
行フ者ハ永ク撼カザラン。

第十五聖詠

ダウドノ歌

一 神ヨ、我ヲ護リ給ヘ、我爾ヲ恃メバナリ。二 我主ニ謂ヘリ、爾
ハ我が主ナリ、我ノ福ハ爾ノ資ニ非ルナシ。三 地上ノ聖人ト
爾ノ奇異ナル者トハ、我專之ヲ慕フ。四 趨リテ他ノ神ニ向フ
者ハ願ハクハ其憂益多カラシ、其灌奠ノ血ハ、我之ヲ灌ガズ、
其名ハ我が口ニ之ヲ稱ヘザラン。五 主ハ我が嗣業ト我が爵

トノ分ナリ、爾ハ我ノ闇ヲ執ル。六 我ノ壟界ハ美シキ地ヲ繞ル、我ノ嗣業ハ我が喜ブ所ナリ。七 我ハ我が悟ヲ啓キシ主ヲ讚メ揚ゲン、夜ニ於テモ我が中心我ヲ誨フ。八 我恒ニ主ヲ我が前ニ見タリ、蓋彼ハ我が右ニアリ、我が動かザラン爲ナリ。九 此ニ因リテ我が心ハ喜ビ、我が舌ハ樂メリ、我が肉體モ望ニ安ンゼン、蓋爾我が靈ヲ地獄ニ遺サズ、爾ノ聖者ニ朽ツルヲ見ザラシメン。十一 爾我ニ生命ノ道ヲ示サン、爾ガ顔ノ前ニ喜ノ充滿アリ、爾ガ右ノ手ニ世世ノ福樂アリ。

第十六聖詠

ダワドノ祈禱

一 主ヨ、我ノ直ヲ聽キ、我ノ呼ブヲ聆キ納レ、僞ナキ口ヨリ出ヅル禱ヲ受ケ給ヘ。二 願ハクハ我ヲ糺ス判ハ爾ノ顔ヨリ出デ、爾ノ目ハ義ニ注ガン。三 爾ハ已ニ我が心ヲ驗シ、夜中ニ臨ミ、我ヲ試ミテ得タル所ナシ、我が口ハ我ノ思ニ離レズ。四 人ノ行爲ニ於テハ、我爾ガ口ノ言ニ循ヒテ、迫害者ノ途ヲ慎メリ。五 我ガ歩ヲ爾ノ路ニ固メヨ、我ガ足ノ蹶カザラン爲ナリ。六 神ヨ、我爾ニ籲ブ、蓋爾我ニ聽カン、爾ノ耳ヲ我ニ傾ケテ、我が言ヲ聆キ給ヘ。七 爾ヲ頼ム者ヲ爾ノ右ノ手ニ敵スル者ヨリ救フ主ヨ、爾ノ妙ナル憐ヲ顯シ給ヘ。八 我ヲ眸子ノ如ク護レ、爾ガ翼ノ蔭ヲ以テ、九 我ヲ攻ムル不虔者ノ面、我ヲ環ル我

ガ靈ノ敵ヨリ我ヲ覆ヒ給ヘ。十 彼等ハ己ノ脂ニ包マレ己ノ
 口ニテ高ブリ言フ。十一 我ガ歩ム度ニ我等ヲ環リ目ニ狙ヒ
 テ地ニ顛サント欲ス。十二 彼等ハ獲物ヲ貪ル獅ノ如ク隠ナル
 處ニ蹲ル小獅ノ如シ。十三 主ヨ起キヨ彼等ニ先ダテ彼等ヲ
 殲シ爾ノ劍ヲ以テ我ガ靈ヲ不虔者ヨリ救ヘ。十四 主ヨ爾ノ手
 ナ以テ人即世ノ人ヨリ救ヒ給ヘ。彼等ノ業ハ今生ニアリ爾
 ハ爾ノ寶藏ヨリ其腹ヲ充タシ彼等ノ子ハ壓キテ餘ヲ其裔
 ニ殘サン。十五 惟我ハ義ヲ以テ爾ノ顔ヲ見ントス覺メ起キテ
 爾ノ容ヲ以テ自ラ壓キ足ラン。

光榮讚詞

第三「カフズマ」

第十七聖詠

一 伶長ニ歌ハシム主ノ僕ダワドハ主ガ彼ヲ其諸敵ノ手及ビサウルノ手
 ヨリ救ヒシ時主ニ此ノ歌ノ詞ヲ述ベテ云ヘリ。

ニ 主我ノ力ヨ我爾ヲ愛セン。三 主ハ我ノ防固我ノ避所ナリ、
 我ヲ救フ者我ノ神我ノ磐ナリ我彼ヲ恃ム彼ハ我ノ盾我が
 救ノ角我ノ遁ルル所ナリ。四 我拜ムベキ主ヲ籲ビテ我が敵
 ヨリ救ハレン。五 死ヲ致ス苦ハ我ヲ圍ミ不法ノ流ハ我ヲ嚇
 セリ。六 地獄ノ鎖ハ我ヲ環リ死ノ網ハ我ヲ纏ヘリ。七 我患難
 ノ中ニ主ヲ籲ビ我が神ニ呼ベリ彼ハ其聖殿ヨリ我が聲ヲ

聽^キ、我^ガ呼^ビ聲^ハ其^ノ耳^ニ至^レリ。八 地^ハ震^ヒテ動^キ、山^ノ基^ハ
 搖^ルヒテ移^レリ、神^ノ怒^チ發^シタレバナリ。九 其^ノ怒^ニ因^リテ烟^起
 リ、其^ノ口^{ヨリ}嚼^ム火^出テ、熾^炭ハ彼^{ヨリ}散^リ落^テタリ。十 彼^ハ
 天^ヲ傾^ケテ降^レリ、其^ノ足^下ハ闇^冥ナリ。十一 ヘル^ヲムニ騎^リテ
 飛^ビ、風^ノ翼^ニテ翔^リ、闇^冥ヲ己^ノ蔽^ト爲^シ、水^ノ闇^冥天^雲
 ノ闇^冥ヲ己^ヲ繞^ル影^ト爲^セリ。十二 其^ノ前^ノ輝^ニ依^リテ、其^ノ雲^ト
 電^ト紅^炭トハ馳^セタリ。十三 主^ハ天^ニ轟^キ、至^上者^ハ己^ノ聲^ト
 電^ト紅^炭トヲ與^ヘタリ。十四 己^ノ矢^ヲ射^テ彼^等ヲ散^ラシ、衆^ク
 ノ電^ヲ發^シテ彼^等ヲ潰^セリ。十五 主^ヨ爾^ガ威^嚴ノ聲^ニ因^リテ、
 爾^ガ怒^ノ氣^ノ吹^ニ因^リテ、水^ノ泉^現レ、世^界ノ基^露レタリ。十七

彼^ハ高^{ヨリ}手^ヲ伸^ベ、我^ヲ取^リテ多^クノ水^{ヨリ}出^セリ。十八 我^ハ
 ナ我^ガ勁^キ敵^ト、我^ヲ疾^ム我^{ヨリ}強^キ者^{ヨリ}救^ヘリ。十九 彼^等
 ハ我^ガ患^難ノ日^ニ起^テ我^ヲ攻^メタレドモ、主^ハ我^ガ依^ル
 所^トナレリ。二十 彼^我ヲ廣^キ處^ニ引^キ出^シテ、我^ヲ救^ヘリ、其^ノ我^ヲ
 ナ悦^ブニ緣^ル。二十一 主^ハ我^ノ義^ニ循^ヒテ我^ニ報^イ、我^ガ手^ノ潔^キ
 キニ循^ヒテ我^ヲ賞^セリ、二十二 蓋^我主^ノ道^ヲ守^リ、我^ガ神^ノ前^ニ
 惡^者タラザリキ、二十三 蓋^其誠^ハ悉^ク我^ガ前^ニアリ、我^未ダ其^ノ律^ヲ
 ナ離^レズ。二十四 我^彼ノ前^ニ玷^ナシ、謹^ミテ罪^ニ陷^ランコトヲ防^グ
 ゲリ。二十五 故^ニ主^ハ我^ノ義^ニ循^ヒ、我^ガ手^ノ其^ノ目前^ニ潔^キニ循^ヒ
 ヒテ我^ニ報^イタリ。二十六 矜^恤アル者^ニハ爾^ノ矜^恤ヲ以^テ之^ニ施^ス

シ、正直ノ者ニハ正直ヲ以テ、^{二七}潔キ者ニハ潔ヲ以テ、^{ヨコシヤ}邪ナル
 者ニハ其邪ニ循ヒテ之ニ施ス。^{二八}蓋爾ハ迫害セララル者ヲ
 救ヒ、高ブル目ヲ卑クス。^{二九}主ヨ、爾ハ我が燈ヲ然シ、我が神ハ
 我ノ闇冥ヲ照ス。^{三〇}我爾ト偕ニ軍ヲ敗リ、我が神ト偕ニ城垣
 ニ升ル。^{三一}嗚呼、神ヨ、其道ハ玷ナシ、主ノ言ハ潔シ、彼ハ凡ソ彼
 ナ恃ム者ノ爲ニ盾ナリ。^{三二}蓋主ノ外孰カ神タル、我が神ノ外
 孰カ護タル。^{三三}神ハ力ヲ以テ我ニ帶シ、我が爲ニ正シキ路ヲ
 備フ。^{三四}我が足ヲ鹿ノ如クニシ、我ヲ高キ處ニ立タシム、^{三五}我
 ガ手ニ戰ヲ教ヘ、我が臂ニ銅ノ弓ヲ挽カシム。^{三六}爾ハ我ニ救
 ノ盾ヲ賜ヘリ、爾ガ右ノ手ハ我ヲ扶ケ、爾ノ憐ハ我ヲ大ナル

者トナス。^{三七}爾ハ我ノ下ニ我が歩ヲ寛クシ、我が足ハ弱ラズ。
^{三八}我我が敵ヲ追ヒテ之ニ及ビ、之ヲ滅サザレバ返ラズ、^{三九}彼
 等ヲ撃テバ、彼等起ツ能ハズ、我が足ノ下ニ顛ル、^{四〇}蓋爾力ヲ
 以テ我ニ帶シテ戰ニ備ヘ、起テ我ヲ攻ムル者ヲ我が足ノ
 下ニ降セリ、^{四一}爾我が敵ノ背ヲ我ニ向ケタリ、我ヲ疾ム者ハ
 我之ヲ滅ス、^{四二}彼等呼ベドモ、救フ者ナシ、主ニ籲ブモ、彼ハ聽
 カズ、^{四三}我彼等ヲ散ラスコト、風前ノ塵ノ如ク、彼等ヲ踏ム、コ
 ト、途ノ泥ノ如シ。^{四四}爾我ヲ民ノ擾亂ヨリ救ヒ、我ヲ立テテ異
 邦ノ首トナセリ、我が曾テ識ラザリシ民ハ我ニ勤ム、^{四五}彼等
 一タビ我が事ヲ聞ケバ、我ニ服ス、異邦人ハ我が前ニ諂フ、^{四六}

異邦人色ヲ變ジテ、其固塞ノ中ニ戰ク。主ハ生活ナリ、我ヲ
 護ル者ハ祝讚セララル。願ハクハ我が救ノ神、我が爲ニ仇ヲ
 復シ、我ニ諸民ヲ從ハシムル神、我ヲ諸敵ヨリ救フ者ハ讚頌
 セラレン。爾我ヲ起テ、我ヲ攻ムル者ノ上ニ舉ゲ、殘忍ノ
 人ヨリ我ヲ救ヘリ。主ヨ、故ニ我爾ヲ異邦ノ中ニ讚メ揚ゲ
 ン、大ナル救ヲ王ニ施シ、憐ヲ爾ノ膏ツケラレシ者ダワド、
 及ビ其裔ニ世世ニ垂ルル者ヨ、我爾ノ名ニ歌ハン。

光榮讚詞

第十八聖詠

一 伶長ニ歌ハシムダワドノ詠

二 諸天ハ神ノ光榮ヲ傳ヘ、穹蒼ハ其手ノ作爲ヲ誥グ。日ハ
 日ニ言ヲ宣ベ、夜ハ夜ニ智ヲ施ス。其聲ノ聞エザル言語ナ
 ク、方言ナシ。其聲ハ全地ニ傳ハリ、其言ハ地ノ極ニ至ル。神
 ハ其中ニ日ノ住所ヲ建テタリ。日ハ出ヅルコト、新郎ガ婚
 筵ノ宮ヲ出ヅルガ如ク、喜ビテ途ヲ馳スルコト、勇士ノ如シ、
 天ノ涯ヨリ出テ、行キテ天ノ涯ニ至ル物トシテ、其温ヲ蒙
 ラザルハナシ。主ノ律法ハ全備ニシテ、靈ヲ固メ、主ノ啓示
 ハ正シクシテ、蒙者ヲ慧カラシム。主ノ命ハ義ニシテ、心ヲ
 樂マセ、主ノ誠ハ明ニシテ、目ヲ明ス。主ニ於ケル畏ハ淨ク
 シテ、世世ニ存ス。主ノ諸ノ定ハ眞實ニシテ、皆義ナリ。其慕

フベキコト金ニ愈リ、多クノ純金ニ愈ル、其甘キコト蜜ニ愈
 リ、房ヨリ滴ル蜜ニ愈ル、爾ノ僕ハ此ニ藉リテ守護セラル、
 之ヲ守ルハ大ナル賚ヲ得ルナリ。孰カ己ノ過ヲ認メン。我
 ガ隠ナル咎ヨリ我ヲ淨メ給ヘ、故犯ヨリ爾ノ僕ヲ止メテ、
 之ニ我ヲ制セシムル母レ。然セバ我玷ナクシテ、大ナル罪ヨ
 リ潔クナラン。主我が防固、我ヲ救フ者ヨ、願ハクハ我が口
 ノ言ト我が心ノ思トハ爾ニ悦バレン。

第十九聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。ダワドノ詠

二 願ハクハ主ハ憂ノ日ニ於テ爾ニ聽キ、イアコフノ神ノ名

ハ爾ヲ扞ギ衛ラン。願ハクハ聖所ヨリ助テ爾ニ遣シ、シホ
 シヨリ爾ヲ固メン。願ハクハ爾ガ悉クノ獻物ヲ記憶シ、爾
 ノ燔祭ヲ肥エタル物トセン。願ハクハ主ハ爾ノ心ニ循ヒ
 テ爾ニ與ヘ、爾ノ謀ル所ヲ悉ク遂ゲシメン。我等ハ爾ノ救
 ヲ喜ビ、我が神ノ名ニ依リテ旌ヲ揚ゲン。願ハクハ主ハ爾ガ
 悉クノ願ヲ成就セシメン。今我主ガ其膏ツケラレシ者ヲ
 救フヲ知レリ、彼ハ聖天ヨリ其救ノ右ノ手ノ力ヲ以テ之ニ
 對フ。或ハ車ヲ以テ、或ハ馬ヲ以テ誇ル者アリ、唯我等ハ主
 我が神ノ名ヲ以テ誇ル、彼等ハ動キテ顛レ、唯我等ハ起キ
 テ直ク立ツ。主ヨ、王ヲ救ヘ、又我等ガ爾ニ呼バン時、我等ニ

聽キ給へ。

第二十聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。ダワドノ詠。

主ヨ王ハ爾ノ力ヲ樂ミ爾ノ救ヲ歡ブコト極リナシ。三
 心ニ望ム所ハ爾之ヲ與ヘ其口ニ求ムル所ハ爾之ヲ辭マザ
 リキ。四 蓋爾ハ仁慈ノ祝福ヲ以テ彼ヲ迓ヘ純金ノ冠ヲ其首
 ニ冠ラセタリ。五 彼生命ヲ爾ニ求メシニ爾之ニ世世ノ壽ヲ
 賜ヘリ。六 彼ノ榮ハ爾ノ救ヲ以テ大ナリ爾ハ尊榮ト威嚴ト
 ナ之ニ被ラセタリ。七 爾ハ彼ニ祝福ヲ世世ニ賜ヒ爾ガ顔ノ
 歡ニテ彼ヲ樂マセタリ。八 蓋王ハ主ヲ賴ミ至上者ノ仁慈ニ

因リテ動カザラン。九 爾ノ手ハ爾ガ悉クノ敵ヲ尋テ出シ爾
 ノ右ノ手ハ凡ソ爾ヲ憎ム者ヲ尋テ出サシ。十 爾怒ル時彼等
 ナ火爐ノ如クナサン主ハ其怒ニ於テ彼等ヲ滅シ火ハ彼等
 ナ齧マン。十一 爾ハ彼等ノ果ナ地ヨリ絶テ彼等ノ種ヲ人ノ子
 ノ中ヨリ絶タン。十二 蓋彼等ハ爾ニ向ヒテ惡事ヲ企テ謀ヲ設
 ケタレドモ之ヲ遂グルコト能ハザリキ。十三 爾彼等ヲ立テテ
 的トナシ爾ノ弓ヲ以テ矢ヲ其面ニ發タン。十四 主ヨ爾ノ力ヲ
 以テ自ラ舉レ我等ハ爾ノ權能ヲ歌頌讚榮セン。

光榮讚詞

第二十一聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。曉ノ時ダワドノ詠

ニ我ガ神ヨ、我ガ神ヨ、我ニ聽キ給ヘ、何ゾ我ヲ遺テタル。我ガ
 呼ブ言ハ我ガ救ヨリ遠シ。三 我ガ神ヨ、我晝ニ呼ベドモ、爾耳
 ナ傾ケズ、夜ニ呼ベドモ、我安ヲ得ズ。四 然レドモ、爾聖者ハ、イ
 ブライリノ讚頌ノ中ニ居ルナリ。五 我ガ列祖ハ、爾ヲ恃ミタ
 リ、恃ミタレバ、爾彼等ヲ援ケタリ。六 彼等ハ、爾ニ呼ビテ救ハ
 レタリ、爾ヲ恃ミテ羞テ得ザリキ。七 唯我ハ蟲ニシテ、人ニ非
 ズ、人ノ辱シムル所、民ノ藐ンズル所ナリ。八 我ヲ見ル者皆、我
 ヲ嘲リ、首ヲ搖カシテ口ニ云フ、九 彼ハ主ヲ恃メリ、若シ主彼
 ナ悦ババ、彼ヲ援クベシ、救フベシ。十 然レドモ、爾我ヲ腹ヨリ

出セリ、我母ノ懷ニ在リシトキ、爾我ガ中ニ恃ヲ置ケリ。十一 我
 胎内ヨリ、爾ニ託セラレタリ、我ガ母ノ腹ニ在リシトキヨリ、
 爾ハ吾ガ神ナリ。十二 我ヲ離ルル母レ、蓋憂邇ケレドモ、佑クル
 者ナシ。十三 多クノ牡牛ハ、我ヲ環リ、ワサンノ肥エタル者ハ、我
 ナ圍メリ。十四 彼等ハ口ヲ啓キテ、我ニ向フ、獲ニ飢エテ吼ユル
 獅ノ如シ。十五 我注ガレシヨト水ノ如ク、我ガ骨皆散シ、我ガ心
 ハ蠟ノ如クナリテ、我ガ腹ノ中ニ鎔ケタリ。十六 我ガ力ハ枯レ
 シ、ヨト瓦ノ片ノ如ク、我ガ舌ハ齧ニ貼キタリ、爾我ヲ死ノ塵
 ニ降セリ。十七 蓋犬ノ群ハ、我ヲ環リ、惡者ノ黨ハ、我ヲ圍ミ、我ガ
 手我ガ足ヲ刺シ穿ケリ。十八 我ガ骨皆數フベシ、彼等目ヲ注ギ

テ我ヲ戲レ視ル。共ニ我ガ外衣ヲ分テ、我ガ裏衣ヲ圍ス。二十
 主ヨ、我ヲ離ルル母レ、我ガ力ヨ、速ニ我ヲ佑ケヨ。我ガ靈ヲ
 劍ヨリ援ケ、我ガ獨ナル者ヲ犬ヨリ援ケ給ヘ。我ヲ獅ノ口
 ヨリ救ヒ、我ニ聆キテ、我ヲ兕ノ角ヨリ救ヒ給ヘ。我爾ノ名
 ナ我ガ兄弟ニ傳ヘ、爾ヲ會中ニ詠ハン。主ヲ畏ルル者ヨ、彼
 ナ讚メ揚ゲヨ。イアヨフノ裔ヨ、咸彼ヲ讚榮セヨ。イズライリ
 ノ裔ヨ、咸彼ノ前ニ敬ムベシ。蓋彼ハ苦ム者ノ憂ヲ棄テズ、
 厭ハズ、其顔ヲ彼ニ隱サズ、則彼ガ呼ブ時之ヲ聆ケリ。大會
 ノ中ニ於テ、我ガ讚歌ハ爾ニ歸ス、我ガ誓ヲ主ヲ畏ルル者ノ
 前ニ償ハン。願ハクハ貧シキ者ハ食ヒテ、飢キ主ヲ尋ヌル

者ハ彼ヲ讚メ揚ゲン、願ハクハ爾等ノ心ハ永ク活キン。地
 ノ極ハ皆記憶シテ、主ニ歸シ、異邦ノ諸族ハ皆爾ノ前ニ伏拜
 セン。蓋國ハ主ニ屬ス、彼ハ萬民ノ主宰ナリ。地上ノ豊ナ
 ル者ハ皆食ヒテ伏拜セン、塵ニ歸スル者己ノ生命ヲ護ル能
 ハザル者ハ、皆彼ノ前ニ叩拜セン。我ガ子孫ハ彼ニ事ヘテ、
 永ク主ノ者ト稱ヘラレン。彼等來リテ、主ノ義、主ノ行ヒシ
 事ヲ後生ノ人ニ傳ヘン。

第二十二聖詠

ダワードノ詠

主ハ我ノ牧者ナリ、我萬事ニ乏シカラザラン。彼ハ我ヲ

茂キ草場ニ休ハセ、我ヲ靜ナル水ニ導ク。三 我ガ靈ヲ固メ、己ガ名ノ爲ニ我ヲ義ノ路ニ赴カシム。四 若シ我死ノ蔭ノ谷ヲ行クトモ、害ヲ懼レザラン、蓋爾ハ我ト偕ニス、爾ノ杖爾ノ梃ハ是レ我ヲ安ンズ。五 爾ハ我ガ敵ノ目前ニ於テ我ガ爲ニ筵ヲ設ケ、我ガ首ニ膏ヲ潤シ、我ガ爵ハ滿チ溢ル。六 願ハクハ斯ク爾ノ仁慈ト慈憐トハ我ガ生命アル日我ニ伴ハシ、然セバ我多クノ日主ノ家ニ居ラン。

第二十三聖詠

ダワドノ詠(七日ノ首日)

一 地ト之ニ滿ツル者、世界ト凡ソ之ニ居ル者ハ、皆主ニ屬ス。

二 蓋彼ハ之ヲ海ニ基ケ、之ヲ河ニ固メタリ。三 孰カ能ク主ノ山ニ陟ル、孰カ能ク其聖所ニ立ツ。四 唯罪ナキ手、潔キ心アル者、曾テ己ノ靈ヲ以テ虚シク矢ハズ、己ノ隣ニ僞ノ言ヲナサザリシ者ナリ、五 彼ハ主ヨリ降福ヲ受ケ、神其救者ヨリ矜恤ヲ受ケン。六 主ヲ尋ヌル族、イアコフノ神ヨ、爾ノ顔ヲ尋ヌル族ハ此クノ如シ。七 門ヨ、爾ノ首ヲ舉ゲヨ、世世ノ戸ヨ、舉レ、光榮ノ王入ラントス。八 此ノ光榮ノ王ハ誰タル、勇毅能力ノ主、戦ニ能力アル主是ナリ。九 門ヨ、爾ノ首ヲ舉ゲヨ、世世ノ戸ヨ、舉レ、光榮ノ王入ラントス。十 此ノ光榮ノ王ハ誰タル、萬軍ノ主、彼ハ光榮ノ王ナリ。

光榮讚詞

第四「カフズマ」

第二十四聖詠

ダワドノ詠

一 主ヨ、爾ニ我が靈ヲ舉グ。ニ 吾ガ神ヨ、爾ヲ恃ム、我ニ世世愧
 ナカラシメヨ、我が敵ヲ我ニ勝テテ喜バシムル母レ。三 凡ソ
 爾ヲ恃ム者ニモ愧ナカラシメ給ヘ、妄ニ法ヲ犯ス者ハ願ハ
 クハ愧ヲ得ン。四 主ヨ、我ニ爾ノ道ヲ示シ、我ニ爾ノ路ヲ訓ヘ
 ヨ。五 我ヲ爾ノ眞理ニ導キテ、我ヲ訓ヘ給ヘ、蓋爾ハ我が救ノ
 神ナリ、我日日ニ爾ヲ恃メリ。六 主ヨ、爾ノ鴻恩ト爾ノ慈憐ト

ヲ記憶セヨ、蓋是レ永遠ヨリアルナリ。七 我が少キ時ノ罪ト
 過トヲ記憶スル母レ、主ヨ、爾ノ仁慈ニ依リ、爾ノ慈憐ヲ以テ、
 我ヲ記憶セヨ。八 主ハ仁ナリ、義ナリ、故ニ罪人ニ道ヲ訓ヘ示
 ス。九 謙遜ノ者ヲ義ニ導キ、謙遜ノ者ニ己ノ道ヲ教フ。十 凡ソ
 主ノ道ハ、其約ト其啓示トヲ守ル者ニ在リテ慈憐ナリ、眞實
 ナリ。十一 主ヨ、爾ノ名ニ因リテ我が罪ヲ赦シ給ヘ、其大ナルヲ
 以テナリ。十二 誰カ主ヲ畏ルル人タル、主ハ之ニ擇ブベキ道ヲ
 示サン。十三 彼ノ靈ハ福ニ居リ、彼ノ裔ハ地ヲ嗣ガン。十四 主ノ奧
 義ハ彼ヲ畏ルル者ニ屬シ、彼ハ其約ヲ以テ之ニ顯ス。十五 我が
 日常ニ主ヲ仰グ、其我が足ヲ網ヨリ出スニ因ル。十六 我ヲ願

我ヲ憐メ、我獨ニシテ苦メラルルニ因ル。我ガ心ノ憂益多シ、我ガ苦難ヨリ我ヲ引キ出セ、我ガ困苦我ガ勞瘁ヲ願ミ、我ガ諸ノ罪ヲ赦シ給ヘ。我ガ敵ヲ觀ヨ、何ゾ多キ、彼等ガ我ヲ怨ム恨ハ何ゾ甚シキ。我ガ靈ヲ護リテ我ヲ救ヒ、我ガ爾ニ於ケル恃ニ愧ナカラシメ給ヘ。願ハクハ無玷ト義トハ我ヲ護ラン、我爾ヲ恃メバナリ。神ヨ、イスライリヲ其諸ノ憂ヨリ救ヒ給ヘ。

第二十五聖詠

ダワドノ詠

一 主ヨ、我ヲ判キ給ヘ、蓋我玷ナクシテ行ケリ、我主ヲ恃ミテ

搖カザラン。主ヨ、我ヲ試ミ、我ヲ驗セ、我ガ腹ト我ガ心トヲ融シ給ヘ。蓋爾ノ慈憐ハ我ガ目ノ前ニ在リ、我爾ノ眞實ニ行ケリ。我僞ナル者ト偕ニ坐セザリキ、邪ナル者ト偕ニ行カザラン。我惡ヲ謀ル黨ヲ疾メリ、不虔ノ者ト偕ニ坐セザラン。主ヨ、我無罪ヲ以テ我ガ手ヲ盥ヒ、爾ノ祭壇ヲ周リテ、讚揚ノ聲ヲ宣ベ、爾ガ悉クノ奇跡ヲ傳ヘン。主ヨ、我爾ガ居ル所ノ室ト、爾ガ光榮ノ住所ト處トテ愛セリ。我ガ靈ト罪人ト偕ニ、我ガ生命ヲ血ヲ流ス者ト偕ニ滅ス母レ、彼等ノ手ニ惡業アリ、其右ノ手ハ賄賂ニテ充ツ。唯我玷ナクシテ行ク、主ヨ、我ヲ救ヒ、我ヲ憐ミ給ヘ。我ガ足ハ直キ道ニ立

ツ、我諸會ノ中ニ主ヲ崇メ讚メン。

第二十六聖詠

ダワドノ詠(傳聖裔ノ前)

一 主ハ我が光、我が救ナリ、我誰ヲカ恐レン、主ハ我が生命ノ
 防固ナリ、我誰ヲカ懼レン。ニ 若シ我ノ仇我ノ敵タル惡者ハ
 我ヲ攻メテ、我が軀ヲ食ハント欲セバ、彼等自ラ躓キテ仆レ
 シ。三 軍隊陣ヲ列テ我ニ敵ストモ、我が心懼レザラシ、軍起
 リテ我ヲ攻ムトモ、我ニ尙恃アリ。四 我一事ヲ主ニ願ヘリ、我
 唯之ヲ求ム、即我生涯主ノ家ニ居リ、主ノ美シキヲ仰ギ、其聖
 殿ニ升ルヲ得シ。五 蓋彼ハ我が患難ノ時ニ於テ、或ハ我ヲ其

幕ノ中ニ蔽ヒ、我ヲ其住所ノ秘ナル處ニ匿シ、我ヲ磐ノ上ニ
 擧ゲン。六 其時我が首ハ我ヲ環ル敵ノ上ニ昂ラン、我其幕ノ
 中ニ讚榮ノ祭ヲ捧ゲテ、主ノ前ニ歌ヒ頌ハン。七 主ヨ、我が呼
 ブ聲ヲ聞ケ、我ヲ憐ミ、我ニ耳ヲ傾ケ給ヘ。八 我が心ハ爾ノ言
 ナ云フ、爾等我ガ顔ヲ尋チヨト、主ヨ、我爾ノ顔ヲ尋チン。九 爾
 ノ顔ヲ我三隠ス母レ、怒リテ爾ノ僕ヲ退クル母レ、爾ハ我ヲ
 佑クル者ダリキ、神我が救主ヨ、我ヲ棄ツル母レ、我ヲ遺ス母
 レ、十 蓋我が父我が母ハ我ヲ遺セリ、唯主ハ我ヲ納レン。十一 主
 ヱ、我ニ爾ノ途ヲ訓ヘヨ、我が敵ノ故ニ我ヲ義ノ路ニ導キ給
 ヘ。十二 我ヲ我が敵ニ付シテ其意ニ任ス母レ、蓋偽ノ證者ハ起

ナテ我ヲ攻メテ、惡氣ヲ吐ク。然レドモ我信ズ、我ガ主ノ仁慈ヲ生ケル者ノ地ニ見ルヲ得ンコトナ。主ヲ恃メ、勇メ、爾ノ心ハ固クナルベシ、主ヲ恃メ。

光榮讚詞

第二十七聖詠

ダワドノ詠

一主ヨ、我爾ニ呼ブ、我ノ防固ヨ、我ガ爲ニ默ス母レ、恐ラクハ爾默サバ、我ハ墓ニ下ル者ノ如クナラン。我ガ爾ニ呼ビ、我ガ手ヲ舉ゲテ、爾ノ聖殿ニ向フ時、我ガ禱ノ聲ヲ聆キ、納レ給ヘ。我ヲ惡者及ビ不義ヲ行フ者、即其隣ト和平ヲ語り、其心

ニ惡ヲ懷ク者ト借ニ滅ス母レ。彼等ノ所爲、彼等ノ惡シキ行ニ循ヒテ、之ニ報イ、彼等ガ手ノ作ス所ニ循ヒテ、之ニ報イ、彼等ノ受クベキ所ヲ以テ、之ニ與ヘヨ。彼等ハ主ノ行フ所ト、主ノ手ノ作ス所トヲ願ミザルニヨリテ、主ハ彼等ヲ敗リ、彼等ヲ建テザラン。主ハ崇メ讚メラル、彼己ニ我ガ禱ノ聲ヲ聆キ、納レタレバナリ。主ハ我ガ力、我ガ盾ナリ、我ガ心、彼ヲ頼ミンシニ、彼我ヲ佑ケタリ、我ガ心ハ歡ベリ、我歌ヲ以テ、彼ヲ讚メ揚ゲン。主ハ其民ノ力ナリ、其膏ツケラレシ者ノ救ノ衛ナリ。爾ノ民ヲ救ヒ、爾ノ業ニ福ヲ降シ、之ヲ牧シ、之ヲ世世ニ舉ゲ給ヘ。

第二十八聖詠

ダワドノ詠(幕ノ瞻禮ノ終ル時)

一 神ノ諸子ヨ、主ニ獻ゼヨ、光榮ト尊貴トヲ主ニ獻ゼヨ、ニ主
 ニ其名ノ光榮ヲ獻ゼヨ、主ニ其美シキ聖所ニ伏拜セヨ。三 主
 ノ聲ハ水ノ上ニ在リ、光榮ノ神ハ轟ケリ、主ハ多水ノ上ニ在
 リ。四 主ノ聲ハ強ク、主ノ聲ハ嚴ナリ。五 主ノ聲ハ栢香木ヲ摧
 キ、主ハリワンノ栢香木ヲ摧キテ、六 之ヲ憤ノ如ク躍ラセ、リ
 ワントシリナントヲ稚キ兎ノ如ク躍ラス。七 主ノ聲ハ火ノ
 焰ヲ撃テ出ス。八 主ノ聲ハ曠野ヲ震ハセ、主ハカデスノ曠野
 ヲ震ハス。九 主ノ聲ハ鹿ニ子ヲ生マセ、又林ヲ露ハス、主ノ殿

ノ内ニハ其光榮ヲ傳ヘザル者ナシ。十 主ハ洪水ノ上ニ坐セ
 リ、主ハ坐シテ世世ニ王タラン。十一 主ハ其民ニ力ヲ賜ヒ、主ハ
 其民ニ平安ノ福ヲ降サン。

第二十九聖詠

一 ダワドノ詠(宮殿ヲ改造セシ時ノ歌)

二 主ヨ、我爾ヲ尊ミ崇メン、爾我ヲ擧ゲテ、我が敵ニ我ニ勝テ
 テ喜ブユトヲ容サザリシニ因ル。三 主我が神ヨ、我爾ニ呼ビ
 シニ、爾我ヲ療セリ。四 主ヨ、爾我が靈ヲ地獄ヨリ出シ、我ヲ生
 ガシテ、我ヲ墓ニ降ラシメザリキ。五 主ノ諸聖人ヨ、主ニ歌へ、
 其聖ヲ記念シテ讚榮セヨ。六 蓋其怒ハ瞬ノ間ニシテ、其惠ハ

一生ニアリ、暮ニ涕泣來レドモ、朝ニハ喜至ル。我安寧ノ時、
 自ラ謂ヘリ、永ク撼カザラン。主ヨ、爾惠ヲ以テ我ガ山ヲ堅
 固ニセリ、然レドモ爾顔ヲ隠シタレバ、我惶レ擾ヘリ。主ヨ、
 其時我爾ニ呼ビ、主ニ祈リテ曰ヘリ、我墓ニ降ラバ、我ガ血
 ハ何ノ益ガアラシ、塵豈ニ爾ヲ讚榮センヤ、豈ニ爾ノ眞實ヲ
 述ベンヤ、主ヨ、聆キテ我ヲ憐ミ給ヘ、主ヨ、我ノ佑助トナリ
 給ヘト。爾ハ我ガ歎ヲ易ヘテ喜トナシ、我ガ哀ノ衣ヲ解キ
 テ、我ニ樂ヲ佩バシメ給ヘリ、我ガ靈爾ヲ讚榮シテ默サザ
 ラシ爲ナリ。主我ガ神ヨ、我永ク爾ヲ讚榮セン。

光榮讚詞

第三十聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。ダワドノ詠(擾亂ノ時)

主ヨ、爾ヲ恃ム、我ニ世世ニ愧ナカラシメヨ、爾ノ義ヲ以テ
 我ヲ免レシメ給ヘ。爾ノ耳ヲ我ニ傾ケテ、速ニ我ヲ免レシ
 メヨ、我ガ爲ニ磐石トナリ、隱家トナリテ、我ヲ救ヒ給ヘ、蓋
 爾ハ我ガ石山、我ガ石垣ナリ、爾ノ名ニ依リテ、我ヲ導キ、我ヲ
 治メ給ヘ。竊ニ我ガ爲ニ設ケタル網ヨリ、我ヲ引キ出シ給
 へ、蓋爾ハ我ノ固ナリ。我ガ神ヲ爾ノ手ニ託ス、主眞理ノ神
 ヲ、爾曾テ我ヲ救ヘリ。我虚シキ偶像ヲ尊ム者ヲ疾ミ、唯主
 ヲ恃ム。我爾ノ憐ヲ歡ビ樂マン、蓋爾ハ我ガ禍ヲ願ミ、我ガ

靈ノ憂ヲ知リ、九我ヲ敵ノ手ニ付サズ、我が足ヲ廣キ處ニ立
 テタリ。十主ヨ、我ヲ憐ミ給ヘ、我困狹ニ居レバナリ、我が目ハ
 憂ニ縁リテ枯レタリ、我が靈モ我が腹モ亦然リ。十一我が生命
 ハ悲ノ中ニ盡キ、我が年ハ嘆ノ中ニ盡キタリ、我が力ハ罪ニ
 依リテ弱リ、我が骨ハ枯レタリ。十二我ハ諸敵ニ因リテ隣ニモ
 辱シメラレ、知人ニハ忌ミ憚ラレ、我ヲ嚮ニ見ル者ハ我ヲ避
 ク。十三我ハ死者ノ如ク人ノ心ニ忘レラレタリ、我ハ壞ラレタ
 ル器ノ如シ。十四蓋我ハ多人ノ誹ヲ聞ク、彼等ガ相議シテ我ヲ
 攻メ、我が靈ヲ抜カント計ルトキ、四方ニ惶アリ。十五主ヨ、唯我
 爾ヲ恃ム、我謂フ、爾ハ我ノ神ナリ。十六我が日ハ爾ノ手ニ在リ、

我ヲ我が敵ノ手及ビ我ヲ攻ムル者ヨリ免レシメ給ヘ。十七爾
 ノ光ル顔ヲ爾ノ僕ニ顯シ、爾ノ憐ヲ以テ我ヲ救ヒ給ヘ。十八主
 ヲ、我爾ニ呼ブニ由リテ、羞ヲ得シムル母レ、願ハクハ無道ノ
 者ハ羞ヲ蒙リテ、地獄ニ沈黙セン。十九願ハクハ傲ト侮トヲ以
 テ、義人ニ向ヒテ、惡ヲ言フ、謊ノ口ハ啞トナラン。二十大ナル哉
 爾ノ恩、爾ヲ畏ル者ノ爲ニ蓄ヘ、爾ヲ恃ム者ノ爲ニ、人ノ子
 ノ前ニ、備ヘタル者ヤ。二十一爾ハ彼等ヲ人ノ亂ヨリ、爾ガ面ノ廕
 ニ庇ヒ、彼等ヲ舌ノ争ヨリ、幕ノ中ニ隱ス。二十二主ハ崇メ讚メラ
 ル、彼ハ己ノ妙ナル憐ヲ我ニ堅固ナル城邑ノ中ニ顯シタレ
 バナリ。二十三我が惑ヘル時、我爾ノ目ヨリ絶タレタリト思ヘリ、

然レドモ我ガ爾ニ呼ビシ時爾ハ我ガ祈ノ聲ヲ聽キ給ヘリ。
 主ノ悉クノ義人ハ主ヲ愛セヨ、主ハ忠信ノ者ヲ護リ、傲慢
 ノ者ニハ嚴シク報ユ。凡ソ主ヲ頼ム者ハ勇メ、爾等ノ心ハ
 固クナルベシ。

第三十一聖詠

ダワドノ詠教訓

不法ヲ赦サレ罪ヲ蔽ハレタル人ハ福ナリ。主ガ罪ヲ歸
 セズ、其神ニ譎ナキ人ハ福ナリ。我默シシ時、我ガ終日ノ呻
 吟ニ因リテ、我ガ骨古ビタリ。蓋爾ノ手ハ晝夜重ク我ニ加
 ハリ、我ガ潤澤ノ消エシユト夏ノ旱ニ於ケルガ如シ。然レ

ドモ我我ガ罪ヲ爾ニ顯シ、我ガ不法ヲ隱サザリキ、我謂ヘリ、
 我ガ罪ヲ主ニ痛告スト、爾乃我ガ罪ノ咎ヲ我ヨリ除ケリ。
 此ニ縁リテ諸ノ義人ハ便宜ノ時ニ於テ爾ニ禱ラン、其時大
 水ノ溢ハ彼ニ及バザラン。爾ハ我ノ幘幘ナリ、爾ハ我ヲ憂
 ヨリ護リ、我ヲ救ノ喜ニテ環ラス。我爾ヲ教ヘン、爾ニ行
 クベキ路ヲ示サン、爾ヲ導カン、我ガ目爾ヲ顧ミン。爾等ハ、
 轡ト鑣トヲ以テ口ヲ束テ、爾ニ從ハシムル、無知ナル馬ト
 驢トノ如クナル母レ。○ 惡者ニハ憂多シ、主ヲ恃ム者ハ憐
 之ヲ環ル。○ 義人ヨ、主ノ爲ニ喜ビ樂メ、心ノ直キ者ヨ、皆祝ヘ。

光榮讚詞

第五「カフズマ」

第三十二聖詠

(ダワドノ詠)

一 義人ヨ、主ノ爲ニ喜ベ、讚榮スルハ義者ニ適フ。ニ 瑟ヲ以テ
 主ヲ崇メ、讚メヨ、十絃ノ琴ヲ以テ彼ニ歌ヘ、三 新ナル歌ヲ彼
 ニ歌ヘ、聲ヲ揃ヘ、歡ビ呼シテ彼ニ歌ヘヨ。四 蓋主ノ言ハ正直
 ニシテ、其悉クノ行爲ハ眞實ナリ。五 彼ハ公義ト審判トヲ好
 ミ、主ノ慈憐ハ地ニ滿テリ。六 天ハ主ノ言ニテ造ラレ、天ノ全
 軍ハ其口ノ氣ニテ造ラレタリ。七 彼ハ海ノ水ヲ聚メシユト
 壘ノ如ク、淵ヲ庫ニ藏メタリ。八 全地ハ主ヲ畏ルベシ、凡ソ世

界ニ居ル者ハ彼ノ前ニ戰クベシ。九 蓋彼言ヘバ、則成リ、命ズ
 レバ、則顯レタリ。十 主ハ異邦人ノ議スル所ヲ廢シ、諸民ノ謀
 ル所ヲ破リ、牧伯ノ議スル所ヲ破ル。十一 惟主ノ議スル所ハ永
 ク立テ、其心ノ意ハ世世ニ立ツ。十二 主ヲ以テ神トナス民ハ福
 ナリ、主ノ選ビテ己ノ嗣業トナス族ハ福ナリ。十三 主ハ天ヨリ
 鑒ミテ悉クノ人ノ子ヲ視、十四 其坐スル所ノ寶座ヨリ悉クノ
 地ニ居ル者ヲ顧ミル。十五 彼ハ衆人ノ心ヲ造リ、凡ソ彼等ノ行
 フ所ヲ鑒察ス。十六 王ハ大軍ニ依リテ救ハレズ、勇士ハ大力ニ
 依リテ衛ラレズ。十七 馬ハ救ノ爲ニ虛シ、其大力ヲ以テ援クル
 能ハズ。十八 夫レ主ノ目ハ彼ヲ畏ルル者ト、彼ノ憐ヲ恃ム者ト

ナ願ミ、^{十九}主ハ彼等ノ靈ヲ死ヨリ救ヒ、^{二十}饑饉ノ時ニ彼等ヲ養
 ハシ。^{二十一}我等ノ靈ハ主ヲ恃ム、^{二十二}彼ハ我ガ助ナリ、^{二十三}我ガ衛ナリ、^{二十四}我
 ガ心ハ彼ノ爲ニ樂ム、^{二十五}蓋我等ハ其聖ナル名ヲ頼メリ。^{二十六}主
 ヲ我等爾ヲ頼ムガ如ク、^{二十七}爾ノ憐ヲ我等ニ垂レ給ヘ。

第三十三聖詠

一 ダウドノ詠、^二ダウドアワメレフノ前ニ在リテ伴狂シ、^三彼ニ逐ハレテ去リ、
 乃此ヲ作レリ。

二 我何ノ時ニモ主ヲ讚メ揚ゲン、^一彼ヲ讚ムルハ恒ニ我ガ口
 ニ在リ。^二我ガ靈ハ主ヲ以テ誇ラン、^三溫柔ナル者ハ聞キテ樂
 マン。^四我ト偕ニ主ヲ尊メ、^五偕ニ彼ノ名ヲ崇メ讚メン。^六我曾

テ主ヲ尋テシニ、^一彼ハ我ニ聆キ納レテ、^二我ガ都テノ危キヨリ
 我ヲ免レシメ給ヘリ。^三目ヲ舉ゲテ、^四彼ヲ仰グ者ハ照サレタ
 リ、^五彼等ノ面ハ愧ヲ受ケザラン。^六此ノ貧シキ者呼ビシニ、^七主
 ハ聆キ納レテ、^八之ヲ其悉クノ艱難ヨリ救ヘリ。^九主ノ使ハ主
 ヲ畏ルル者ヲ環リ衛リテ、^十彼等ヲ援ク。^{十一}味ヘヨ、^{十二}主ノ如何ニ
 仁慈ナルヲ見ン、^{十三}彼ヲ恃ム人ハ福ナリ。^{十四}凡ソ主ノ聖人ヨ、^{十五}主
 ヲ畏レヨ、^{十六}蓋彼ヲ畏ルル者ハ乏シキコトナシ。^{十七}少キ獅ハ乏
 シクシテ、^{十八}餓エ、^{十九}唯主ヲ尋ヌル者ハ何ノ幸福ニモ缺クルナシ。
^{二十}小子ヨ、^{二十一}來リテ我ニ聽ケ、^{二十二}主ヲ畏ルル畏テ、^{二十三}爾等ニ訓ヘン。^{二十四}
 人生クルヲ望ミ、^{二十五}又壽ヘテ幸福ヲ見ンコトヲ欲スルカ、^{二十六}爾

ノ舌ヲ惡ヨリ、爾ノ口ヲ譎ノ言ヨリ止メヨ。惡ヲ避ケテ善
 ナ行ヒ、和平ヲ尋チテ之ニ從ヘ。主ノ目ハ義人ヲ顧ミ、其耳
 ハ彼等ノ呼ブヲ聆ク。唯主ノ面ハ惡ヲ爲ス者ニ對フ、其名
 ナ地ヨリ滅サン爲ナリ。義人ハ呼ブニ、主ハ之ヲ聽キ、彼等
 ナ悉クノ憂ヨリ免レシム。主ハ心ノ傷メル者ニ近シ、靈ノ
 謙ル者ヲ救ハン。義人ニハ憂多シ、然レドモ主ハ之ヲ悉ク
 免レシメン。主ハ彼ガ悉クノ骨ヲ護リ、其一モ折レザラン。
 惡ハ罪人ヲ殺シ、義人ヲ憎ム者ハ亡ビン。主ハ其諸僕ノ
 靈ヲ救ヒ、彼ヲ頼ム者ハ一人モ亡ビザラン。

光榮讚詞

第三十四聖詠

ダワドノ詠

主ヨ、我ト争フ者ト争ヒ、我ト戰フ者ト戰ヒ給ヘ。盾ト甲
 ト執リ、起テ我ヲ助ケ、劍ヲ拔キテ、我ヲ逐フ者ノ途ヲ
 遮リ、我が靈ニ向ヒテ、我ハ爾ノ救ナリト曰ヘ。我が靈ヲ求
 ムル者ハ、願ハクハ恥ナ得テ辱ヲ受ケン、我ヲ害セント謀ル
 者ハ、願ハクハ退ケラレテ辱シメラレン。願ハクハ彼等ハ
 風前ノ塵ノ如クナリ、主ノ使彼等ヲ拂ハン。願ハクハ彼等
 ノ途ハ暗クシテ滑ニナリ、主ノ使彼等ヲ追ハン。蓋彼等ハ
 故ナクシテ隱ニ我が爲ニ其網ナル阱ヲ設ケ、故ナクシテ之

ナ我ガ靈ノ爲ニ穿テリ。八願ハクハ滅ハ猝ニ彼ニ至リ其隱
 ニ我ガ爲ニ設ケシ網ハ彼ヲ掩ヒ彼自ラ之ニ陥リテ亡ビシ。
 九唯我ガ靈ハ主ノ爲ニ喜ビ其施セル救ノ爲ニ樂マン。十我
 ガ悉クノ骨曰ハン主ヨ誰カ爾弱キ者ヲ強キ者ヨリ救ヒ貧
 シキ者乏シキ者ヲ掠ムル者ヨリ救フ者ニ似タル。十一不義ナ
 ル證者ハ起ナテ我ヲ責メ我ガ知ラザル事ヲ我ニ詰リ問フ。
 十二彼等ハ惡ヲ以テ我ガ善ニ報イ我ガ靈ヲ孤獨ノ者ト爲ス。
 十三彼等ノ病メル時我麻ヲ衣齋ヲ以テ我ガ靈ヲ卑クシ我ノ
 祈禱ハ我ガ懷ニ歸レリ。十四我彼ヲ待ナシコト我ガ友我ガ兄
 弟ノ如シ我憂ヒテ行キ首ヲ垂レシコト母ヲ喪スルガ如シ。

十五唯我躓キタレバ彼等ハ喜ビテ集リ詬ル者ハ集リテ我ヲ
 攻メタリ我何ノ所以ヲ知ラズ我ヲ謗リテ息メザリキ。十六偽
 ナル嘲笑者ト偕ニ我ニ向ヒテ切齒セリ。十七主ヨ爾之ヲ觀ル
 コト何ノ時ニ至ルカ我ガ靈ヲ彼等ノ惡事ヨリ脱レシメ我
 ノ獨ナル者ヲ獅ヨリ脱レシメ給ヘ。十八我爾ヲ大會ノ中ニ讚
 榮シ爾ヲ衆民ノ間ニ讚揚セン。十九不義ニシテ我ニ仇スル者
 ノ我ニ勝ナテ喜バズ我ガ咎ナクシテ我ヲ惡ム者ノ互ニ眊
 セザラン爲ナリ。二十蓋彼等ノ言フ所ハ和平ニ非ズ乃地上ノ
 和平ヲ好ム者ニ向ヒテ詐ノ謀ヲ設ク。二十一其口ヲ開キテ我ニ
 向ヒテ曰ク嘻嘻我ガ目己ニ見タリ。二十二主ヨ爾己ニ見テ默ス

母^{ナカ}レ、主^{シユ}ヨ、我^{ワレ}ニ離^チルル母^{ナカ}レ。我^{ワレ}ガ神^{カミ}我^{ワレ}ガ主^{シユ}ヨ、起^タテ、寤^サメテ
 我^{ワレ}ガ爲^タニ判^キテ行^キヒ、我^{ワレ}ガ認^メテ理^ヲメヨ。主^{シユ}我^{ワレ}ガ神^{カミ}ヨ、爾^{ナニ}ノ義^ギニ
 依^ヨリテ我^{ワレ}ヲ判^キキ給^キヘ、彼^{カレ}等^ラヲシテ我^{ワレ}ニ勝^カテ喜^ヨバシムル母^{ナカ}
 レ。其^{コノ}心^{ココロ}ノ中^{ナカ}ニ、喜^ヨ喜^ヨ我^{ワレ}等^ラノ望^ノ如^ドシト謂^ハシムル母^{ナカ}レ、其^レ
 ナシテ我^{ワレ}等^ラ已^ニ之^レヲ吞^メリト謂^ハシムル母^{ナカ}レ。凡^ソ我^{ワレ}ガ
 災^ヲ喜^ブ者^ハ、願^{ハク}ハ耻^ト得^テ辱^ヲ受^ケケン、我^{ワレ}ニ向^ヒテ高^ク
 ブル者^ハ、願^{ハク}ハ耻^ト侮^トナ被^ララン。我^{ワレ}ガ義^ギトセラルル
 ナ望^ム者^ハ、願^{ハク}ハ喜^ビ樂^ミテ恒^ニ云^ハン、其^レ僕^ノ平安^ヲ
 望^ム主^ハ尊^ミ讚^メラルベシ。我^{ワレ}ガ舌^モ爾^ノ義^ギヲ傳^ヘ、日^日
 ニ爾^ヲ讚^メ揚^ゲン。

第三十五聖詠

一 伶長ニ歌ハシム主ノ僕ダワドノ詠

ニ 惡^ク者^ノ不^レ法^ヲハ我^ガ心^ノ中^ニ謂^フ、其^レ目^ノ前^ニ神^ヲ畏^ルル
 畏^{ナシ}、蓋^{シテ}彼^レ自^ラ已^ノ目^前ニ詔^ヒテ、其^レ不^レ法^ヲ疾^マントシ
 テ、之^レヲ糺^スニ似^タリ、其^レ口^ノ言^ハ不^レ實^ニシテ、譎^{ナリ}、彼^レハ
 悟^リテ善^ヲ行^フヲ望^マズ、彼^レ其^レ榻^ニ在^リテ不^レ法^ヲ謀^リ、自^ラ
 ラ不^レ善^ノ途^ニ立^テ、惡^ヲ憎^マズ。主^ヨ爾^ノ慈^憐ハ天^ニ戻^リ
 リ、爾^ノ眞^實ハ雲^ニ戻^リ。爾^ノ義^ハ神^ノ山^ノ如^ク、爾^ノ判^ハ
 大^{ナル}淵^ノ如^シ。主^ヨ爾^ハ人^ト獸^トヲ守^ル。神^ヨ爾^ノ憐^ハ
 何^ゾ貴^キ、人^ノ子^ハ爾^ガ翼^ノ蔭^ニ安^ンシ。爾^ガ家^ノ腹^ニ飫

ク爾ハ彼等ニ爾ノ甘味ノ流ヨリ飲マシム、蓋生命ノ源ハ
 爾ニ在リ、我等爾ノ光ニ於テ光ヲ見ル。爾ノ憐ヲ爾ヲ知ル
 者ニ、爾ノ義ヲ心ノ直キ者ニ恒ニ垂レ給ヘ。願ハクハ驕ノ
 足ハ我ヲ躑マズ、罪人ノ手ハ我ヲ逐ハザラン。不法ヲ行フ
 者ハ彼處ニ仆レ、隕サレテ起ツ能ハズ。

光榮讚詞

第三十六聖詠

ダワドノ詠

一 惡者ヲ妬ム母レ不法ヲ行フ者ヲ猜ム母レ、蓋彼等ハ草
 ノ如ク早ク刈ラレ、青草ノ如ク萎マン。主ヲ恃ミテ善ヲ行

ヘ、地ニ住ミテ眞實ヲ守レ。主ヲ以テ慰ト爲セ、彼ハ爾ガ心
 ノ望ヲ適ヘン。爾ノ途ヲ主ニ託シテ彼ヲ恃メ、彼ハ成サン、
 六 爾ノ義ヲ光ノ如ク、爾ノ正ヲ午日ノ如ク著サン。主ニ順
 ヒテ彼ヲ頼メ、其道ニ利達ヲ得ル譎ナル人ヲ妬ム母レ。怒
 ナ息メ、恨ヲ遺テヨ、妬ミテ惡ヲ爲ス母レ、蓋惡ヲ爲ス者ハ
 絶タレン、惟主ヲ恃ム者ハ地ヲ嗣ガン。久シカラズシテ惡
 者ハ無ニ歸セン、爾其處ヲ見レバ有ルナシ。惟溫柔ナル者
 ハ地ヲ嗣ギ、平安ノ多キヲ樂マン。惡者ハ謀リテ義人ヲ攻
 メ、之ニ向ヒテ切齒ス、然レドモ主ハ之ヲ晒フ、其日ノ至ル
 ナ見レバナリ。惡者ハ劔ヲ拔キ、弓ヲ張りテ、乏シキ者ト貧

シキ者トナ仆シ直キ道ヲ行ク者ヲ刺サント欲ス、其劔ハ
 反リテ其心ヲ貫キ、其弓ハ折ラレン。義人ノ所有ノ少キハ
 多クノ惡者ノ富ニ勝ル、蓋惡者ノ臂ハ折ラレン、惟義人ハ
 主之ヲ扶ク。主ハ玷ナキ者ノ日ヲ知ル、彼等ノ嗣業ハ永ク
 存セン、彼等ハ患難ノ時ニ羞ヲ被ラズ、饑饉ノ日ニ飢クコ
 トヲ得ン、惟惡者ハ滅ビ、主ノ敵ハ羔ノ脂ノ如ク消エ、烟ノ
 中ニ消エン。惡者ハ借リテ償ハズ、義人ハ憐ミテ予フ、蓋
 主ニ降福セラレシ者ハ地ヲ嗣ギ、彼ニ詛ハレシ者ハ絶タレ
 ン。主ハ義人ノ足ヲ固メ、其行ク途ヲ喜ブ、彼ハ躓ケドモ
 仆レズ、主其手ヲ執リテ之ヲ扶クレバナリ。我幼キヨリ今

老ユルニ至ルマデ、未ダ義人ノ遺テラレ、其裔ノ食ヲ丐フヲ
 見ザリキ、彼ハ毎日憐ヲ施シ、又借シ予フ、彼ノ裔ハ福ヲ受
 ケン。惡ヲ避ケテ善ヲ行ヘ、然ラバ永ク生キン、蓋主ハ義
 ナ愛シ、其聖者ヲ遺テズ、彼等ハ永ク護ラレン、惟不法ノ者ハ
 仆サレ、惡者ノ裔ハ絶タレン。義人ハ地ヲ嗣ギ、永ク之ニ居
 ラン。義人ノ口ハ睿智ヲ言ヒ、其舌ハ義ヲ語ル。其神ノ法
 ハ其心ニ在リ、其足ハ撼カザラン。惡者ハ義人ヲ窺ヒ、之ヲ
 殺サント欲ス、惟主ハ彼ヲ其手ニ付サズ、彼ガ判ヲ受クル
 時、彼ヲ罪スルヲ赦サザラン。主ヲ恃ミ、其道ヲ守レ、然ラバ
 彼爾ヲ舉ゲテ爾ニ地ヲ嗣ガシメン、惡者ノ絶タル時、爾之

ナ見ン。三十五 我曾テ惡者ノ誇大ニシテ、蔓ルコト根ノ深キ茂リ
 タル樹ノ如キヲ見タリ、三十六 然レドモ彼過ギテ視ヨ、無ニ歸セ
 リ、我之ヲ尋テ得ズ。三十七 玷ナキ者ヲ鑒ミ、義人ヲ視ヨ、蓋此ク
 ノ如キ人ノ將來ハ平安ナリ、三八 惟不法ノ者ハ皆絶タレ、惡者
 ノ將來ハ滅ビン。三十九 義人ノ救ハ主ヨリス、其憂ノ時ニ於テ主
 ハ其防固ナリ、四十 主ハ彼等ヲ援ケ彼等ヲ脱サン、彼等ヲ惡者
 ヨリ脱シ彼等ヲ救ハン、彼等主ヲ恃メバナリ。

光榮讚詞

第六「カフズマ」

第三十七聖詠

一 ダワドノ詠ニスボタノ記念ノ爲ニ此ヲ作レリ。

主ヨ、爾ノ憤ヲ以テ我ヲ責ムル母レ、爾ノ怒ヲ以テ我ヲ罰
 スル母レ、三 蓋爾ノ矢ハ我ニ刺サリ、爾ノ手ハ重ク我ニ加ハ
 ル。四 爾ノ怒ニ依リテ我ガ肉ニ傷マザル所ナク、我ノ罪ニ因
 リテ我ガ骨ハ安キヲ得ズ、五 蓋我ガ不法ハ我ガ首ニ溢レ、重
 任ノ如ク我ヲ壓ス、六 我ノ無智ニ依リ我ガ傷腐レテ且臭シ。
 七 我屈マリテ仆レントシ、終日憂ヒテ行ク、八 蓋我ガ腰ハ熱
 ニ惱マサレ、我ガ肉ニ傷マザル所ナシ。九 我力衰ヘテ痛ク憊
 レ、我ガ心ノ裂クルニヨリヲ號ブ。十 主ヨ、我ガ悉クノ願ハ爾
 ノ前ニ在リ、我ガ歎息ハ爾ニ隠ルルナシ。十一 我ガ心ハ戦ヒ栗

キ、我が力ハ我ヨリ脱ケ、我が目ノ光モ已ニ我ニアルナシ。^{十二}
 我が朋ト親シキ者トハ我ガ傷ヲ見テ離レ、我ガ親戚ハ遠ザ
 カリテ立ツ。^{十三} 我ガ生命ヲ覓ムル者ハ網ヲ設ケ、我ヲ害ハン
 ト欲スル者ハ我ガ淪亡ノコトヲ言ヒテ、毎日悪シキ謀ヲ圖
 ム。^{十四} 然レドモ我ハ聲ノ如ク聽カズ、啞ノ如ク己ノ口ヲ啓カ
 ズ。^{十五} 是ニ於テ我ハ聞クナク、其口ニ答フル所ナキ人ノ如ク
 ナレリ。^{十六} 蓋主ヨ、我爾ヲ恃ム、主我ガ神ヨ、爾聽キ給ハン。^{十七} 我
 言ヘリ、願ハクハ敵ハ我ニ勝タザラン、我ガ足ノ跌ク時、彼等
 ハ我ニ向ヒテ誇リ高ブル。^{十八} 我始ド仆レントス、我ノ憂ハ常
 ニ我ガ前ニ在リ。^{十九} 我ハ我ガ不法ヲ認メ、我ガ罪ノ爲ニ甚哀

ム。^{二十} 我ガ敵ハ生キテ愈強ク、故ナクシテ我ヲ疾ム者ハ益多
 シ。^{二十一} 惡ヲ以テ我ノ善ニ報ユル者ハ、我ガ善ニ從フニ因リテ
 我ノ敵トナレリ。^{二十二} 主我ガ神ヨ、我ヲ遺ツル母レ、我ニ遠ザカ
 ル母レ、^{二十三} 主我ノ救主ヨ、速ニ來リテ我ヲ救ヒ給へ。

第三十八聖詠

一 伶長イデイフムニ歌ハシム。ダワドノ詠。

ニ 我言ヘリ、我舌ヲ以テ罪ヲ犯サザラン爲ニ、我ガ途ヲ慎ミ、
 惡者ノ我ガ前ニ在ル間、我ガ口ヲ籍マシ。^三 我啞ニシテ言ナ
 ク、善事ト雖默セリ、我ガ憂ハ猶動ケリ。^四 我ガ心ハ我ノ中ニ
 熱ケ、我ガ意ノ中ニ火焚エタリ、我舌ヲ以テ始メテ云ヘリ。^五

主ヨ、我ニ我ガ終ト我ガ日ノ數ノ幾何ナルトヲ告ゲテ、我ニ
 我が代ノ何如ヲ知ラシメヨ。六 視ヨ、爾我ニ日ヲ昇ヘシユト
 指尺ノ如ク、我ガ代ハ爾ノ前ニ有ルナキガ如シ。誠ニ凡ソ生
 ケル人ハ全ク虚シ。七 誠ニ人ハ行クコト幻ノ如ク、彼徒ニ煩
 劇ヲナシ、貯ヘテ誰ニ獲ラルルヲ知ラズ。八 主ヨ、今我何ヲカ
 俟タン、我ガ望ハ爾ニ在リ。九 我ヲ我ガ悉クノ不法ヨリ脱シ、
 我ヲ愚人ノ辱ニ任ス母レ。十 我啞トナリテ我ガ口ヲ啓カズ、
 爾是ヲ爲シタレバナリ。十一 爾ノ打撃ヲ我ヨリ去レ、爾ガ手ノ
 撃ツニ因リテ我幾ド消ユ。十二 若シ爾責ヲ以テ人ヲ其罪ノ爲
 ニ罰セバ、其美麗ハ蠹蝕ノ如クニ散ラン。誠ナル哉、人皆虚シ。

十三 主ヨ、我ガ祈禱ヲ聆キ、我ガ呼ブ聲ニ耳ヲ傾ケヨ、我ガ涙ニ
 黙ス母レ、蓋我ハ爾ノ前ニ旅客タリ、寄寓者タリ、我ガ列祖ノ
 如シ。十四 我ヨリ退キテ、我ニ世ヲ逝リテ、没スル先ニ安シズル
 ナ得シメ給ヘ。

第三十九聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。ダワドノ詠

ニ 我切ニ主ヲ恃ミシニ、彼我ニ傾キテ、我ガ籲ブ聲ヲ聆キ納
 レ給ヘリ。三 我ヲ畏ルベキ阱ヨリ、泥ノ澤ヨリ出シテ、我ガ足
 ナ磐ノ上ニ立テ、我ガ歩ヲ固メタリ。四 我ガ口ニ新ナル歌ヲ
 納レテ、我等ノ神ヲ讚美セシメ給ヘリ。多クノ者ハ之ヲ見テ

畏レ、且主ヲ恃マン。其恃ヲ主ニ負ハシメテ、驕ル者ト譏ニ
 傾ク者トニ向ハザル人ハ福ナリ。主我が神ヨ、爾ガ行ヒシ
 事ハ多シ、誰カ爾ニ比ブルヲ得ン、爾ノ奇迹ト爾ガ我等ヲ念
 フ事トハ、我之ヲ陳ベテ言ハント欲スレドモ、其數計ル可カ
 ラズ。祭祀ト禮物トハ、爾之ヲ欲セザリキ、然レドモ肉體ヲ
 我が爲ニ備ヘタリ。全燔ト罪祭トハ、爾之ヲ悦バザリキ。其
 時我言ヘリ、視ヨ、我往ク、書卷ノ中ニ我ノ事ヲ記セルガ如シ、
 神ヨ、我爾ノ旨ヲ行ハンコトヲ望ム、爾ノ法ハ我が心ニ在
 リ。我爾ノ義ヲ大會ノ中ニ傳ヘタリ、我が口ヲ禁ゼザリキ、
 主ヨ、爾之ヲ知ル。我爾ノ義ヲ我が心ニ隠サズ、爾ノ誠ト爾

ノ救下ヲ傳ヘタリ、爾ノ慈憐ト爾ノ眞實トナ大會ノ前ニ秘
 セザリキ。主ヨ、爾ノ恩ヲ我ニ禁ズル母レ、願ハクハ爾ノ慈
 憐ト爾ノ眞實トハ常ニ我ヲ護ラシ、蓋敷ヘ匡キ禍ハ我ヲ
 環リ、我が不法ハ我ニ及ビテ、我ニ見ルコトヲ得ザラシム、其
 數ハ我が首ノ髮ヨリ多シ、我が心ハ我ヲ離レタリ。主ヨ、我
 ナ救ヒ給ヘ、主ヨ、速ニ我ヲ佑ケ給ヘ。我が靈ヲ滅サンコト
 ナ求ムル者ハ、願ハクハ皆恥ヲ得テ辱ヲ受ケン禍ヲ我ニ望
 ム者ハ、願ハクハ退ケラレテ嘲ラレン、我ニ向ヒテ嘻嘻ト
 云フ者ハ、願ハクハ其辱ニ縁リテ擾サレン。凡ソ爾ヲ求ム
 ル者ハ、願ハクハ爾ノ爲ニ喜ビ樂マン、爾ノ救ヲ愛スル者ハ、

願ハクハ常ニ主ハ大ナリト言ハン。我ハ貧シクシテ乏シ、然レドモ主ハ我ヲ慮ル。爾ハ我ノ助ナリ、我ヲ救フ者ナリ、我が神ヨ、遅ハル母レ。

光榮讚詞

第四十聖詠

一 俗長ニ歌ハシム、ダワドノ詠

ニ貧シキ者乏シキ者ヲ願ミル人ハ福ナリ、患難ノ日ニ主ハ彼ヲ救ハン。主ハ彼ヲ護リテ其生命ヲ保タン、彼ハ地ニ在リテ福ヲ得ン。爾彼ヲ其敵ノ望ニ任セザラン。其病ノ榻ニ於テ主ハ彼ヲ扶ケン、其病ノ時爾全ク其床ヲ易ヘン。我言

ヘリ、主ヨ、我ヲ憐ミ、我が靈ヲ愈シ給ヘ、我罪ヲ爾ニ得タレバナリ。我ノ敵ハ我が事ヲ悪言シテ曰フ、彼ハ何ノ時ニ死シテ其名滅ビン。若シ人我ヲ見ン爲ニ來ラバ、譏ヲ言ヒ、其中心ニ不義ヲ畜ヘ、外ニ出デテ之ヲ述ブ。我ヲ疾ム者ハ皆耳ヲ相接シテ我ヲ讒シ、相謀リテ我ヲ害セント欲ス。我ト親ルノ言ハ彼ニ至レリ、彼已ニ臥シ、復起クル能ハズ。我ト親シキ者、我が恃ミシ者、我が餅ヲ食ヒシ者モ亦我ニ向ヒテ其踵ヲ擧ゲタリ。主ヨ、爾我ヲ憐ミ、我ヲ起シ給ヘ、我彼等ニ報イン。若シ我が敵我ニ勝テ喜バズ、若シ爾我ヲ全ウシテ守リ、爾ガ顔ノ前ニ永ク立テバ、我此ヲ以テ爾ガ我ヲ悦ブ

ヲ知ラン。十四主イズライリノ神ハ崇メ讚メラレテ世ヨリ世ニ至ラン。アミン。アミン。

第四十一聖詠

一 俗長ニ歌ハシム。コレイノ諸子ノ教訓。

ニ 神ヨ、我が靈爾ヲ慕フユト、鹿ガ水ノ流ヲ慕フ如シ。三 我が靈ハ勇毅生活ノ神ニ渴ク、我何ノ時ニカ至リテ神ノ顔ノ前ニ出デシ。四 人毎日我ニ向ヒテ、爾ノ神ハ何處ニ在ルト言ヒシ時、涙ハ晝夜我ノ食トナレリ。五 我此ヲ記憶シテ、我が靈ヲ注グ、蓋我曾テ大衆ノ中ニ行キ、彼等ト偕ニ慶賀スル會ノ忻喜讚榮ノ聲ヲ以テ神ノ家ニ入レリ。六 我が靈ヨ、爾何ゾ悶エ、

何ゾ擾ルル、神ヲ恃メ、蓋我仍彼我が救主我が神ヲ讚榮セン。七 我が靈我ノ衷ニ悶ユ、故ニ我イオルダンノ地ヨリ、エルモンヨリツアルノ山ヨリ爾ヲ記憶ス。八 爾ガ瀑布ノ聲ヲ以テ淵ハ淵ヲ呼ブ、爾ノ悉クノ水、爾ノ波ハ我が上ヲ度レリ。九 晝ニ主ハ其憐ヲ顯シ、夜ニ我彼ニ歌ヒ、我が生命ノ神ニ禱ラン。十 我神我ヲ護ル者ニ告ゲン、爾何ゾ我ヲ忘レタル、我何ゾ敵ノ侮ニ因リテ憂ヒテ行ク。十一 我が敵ハ我ヲ辱シムルユト、我が骨ヲ撃ツガ如ク、毎日我ニ向ヒテ、爾ノ神ハ何處ニ在ルト言フ。十二 我が靈ヨ、何ゾ悶エ、何ゾ擾ルル、神ヲ恃メ、蓋我仍彼我が救主我が神ヲ讚榮セン。

第四十二聖詠

一 神ヨ我ヲ判キ不善ノ民ニ於ケル我ガ訟ヲ理メヨ。詭譎及
 ビ不義ナル人ヨリ我ヲ脱レシメ給ヘ。ニ 蓋爾ハ我ヲ固ムル
 神ナリ。爾何ゾ我ヲ棄テタル我何ゾ敵ノ侮ニ因リテ憂ヒテ
 行ク。三 爾ノ光ト爾ノ眞實トヲ遣シ其ヲシテ我ヲ導キテ爾
 ノ聖山爾ノ住所ニ至ラシメ給ヘ。四 我神ノ祭壇ニ就キ我ガ
 忻喜歡樂ノ神ニ就カン神我ガ神ヨ我琴ヲ以テ爾ヲ讚榮セ
 ン。五 我ガ靈ヨ何ゾ悶エ何ゾ擾ルル神ヲ恃メ蓋我仍彼我ガ
 救主我ガ神ヲ讚榮セン。

光榮讚詞

第四十三聖詠

一 伶長ニ歌ハシムコレイノ諸子ノ教訓

二 神ヨ我等ハ己ノ耳ニテ聞ケリ我ガ列祖ハ爾ガ彼等ノ日
 卽古ノ日ニ行ヒシ事ヲ我等ニ述ベタリ。三 爾ハ己ノ手ニテ
 諸民ヲ滅シテ彼等ヲ植エ諸族ヲ撃テ之ヲ逐ヒ出セリ。四
 蓋彼等ハ己ノ劔ヲ以テ地ヲ得タルニ非ズ彼等ヲ救ヒシ者
 ハ己ノ臂ニ非ズ卽爾ガ右ノ手爾ノ臂爾ガ顔ノ光ナリ蓋爾
 ハ彼等ヲ愛セリ。五 神我ガ王ヨ爾ハ古ニ異ナラズ願ハクハ
 救ヲイアコフニ賜ヘ。六 我等爾ト偕ニ角ヲ以テ我ガ敵ヲ衝
 キ破ラン爾ノ名ニ頼リテ我等ヲ攻ムル者ヲ踐マン。七 蓋我

ハ我ガ弓ヲ頼ムニ非ズ、我ガ劔ハ我ヲ救ハントスルニ非ズ、
 八 乃爾ハ我等ヲ我ガ敵ヨリ救ヒ、我等ヲ疾ム者ヲ辱シメシ。
 九 我等ハ日日神ヲ以テ己ノ譽トナシ、永ク爾ノ名ヲ讚榮セ
 シ。然レドモ今爾ハ我等ヲ棄テ、我等ヲ辱シメ、我ガ軍ト偕
 二 出デズ、我等ヲシテ敵ノ前ヨリ退カシメタリ、我等ヲ疾
 ム者ハ我等ヲ掠ム、爾ハ我等ヲ羊ノ如ク食ハルルニ任セ、
 我等ヲ諸民ノ間ニ散ラセリ、利ナクシテ爾ノ民ヲ賣リ、其
 價ヲ高クセザリキ、我等ヲ隣ノ辱ニ任セ、我等ヲ環ル者ノ
 嘲ト戯トニ任セタリ、爾我等ヲ諸民ノ諺トナシ、異邦民ハ
 我等ヲ見テ首ヲ搖カス。我ガ辱ハ毎日我ノ前ニ在リ、愧ハ

我ガ面ヲ蔽フ、我ヲ侮リ、我ヲ警ル者ノ聲ニ因リ、我ニ敵シ
 我ニ仇スル者ノ視ルニ因リテナリ。是レ皆我等ニ臨メリ、
 然レドモ我等爾ヲ忘レズ、爾ノ約ヲ破ラザリキ。我ガ心退
 カズ、我ガ足爾ノ途ヲ離レザリキ、是レ爾ガ我等ヲ龍ノ地
 ニ傷メ、我等ヲ死ノ蔭ニテ蔽ヒシ時ニアリ。我等若シ我ガ
 神ノ名ヲ忘レ、手ヲ伸ベテ他ノ神ニ向ハバ、神豈ニ之ヲ糺
 サザランヤ、彼ハ心ノ密事ヲ知レバナリ。爾ノ爲ニ我等毎
 日殺サレ、人ノ我等ヲ視ルコト、屠ニ定メラレタル羊ノ如シ。
 主ヨ、起キヨ、何ゾ寢ヌル、覺メヨ、永ク棄ツル母レ。何爲レ
 ツ爾ノ顔ヲ隠シ、我等ノ苦難ト我等ノ迫害トヲ忘ルル、蓋

我が靈ハ塵ニ俯シ、我が腹ハ地ニ貼キタリ。起キテ我等ヲ
佑ケヨ、爾ノ憐ニ因リテ我等ヲ救ヒ給ヘ。

第四十四聖詠

一 伶長ニ、ソサンノ樂器ヲ以テ歌ハシム、コレイノ諸子ノ效訓愛ノ歌

我が心善言ヲ湧キ出セリ、我曰フ、我が歌ハ王ノ事ナリ、我
ガ舌ハ迅書者ノ筆ナリ。爾ハ人ノ子ヨリ美シ、恩寵ハ爾ノ
口ヨリ湧キ出デタリ、故ニ神ハ爾ニ降福シテ世世ニ至ル。四
剛キ者ヨ、爾ノ劔ヲ爾ノ光榮ト爾ノ美麗トテ股ニ佩ビヨ、五
此ノ飾ニテ眞實ト溫柔ト公義ノ爲ニ急ギテ車ニ乗レ、爾ノ
右ノ手ハ爾ニ奇妙ナル事ヲ顯サン。六 剛キ者ヨ、爾ノ箭ハ銛

シ、諸民爾ノ前ニ作レン、此ノ箭ハ王ノ敵ノ心ニ中ル。七 神ヨ、
爾ノ寶座ハ世世ニ在リ、爾ノ國ノ權柄ハ正直ノ權柄ナリ。八
爾ハ義ヲ愛シ、不法ヲ惡メリ、故ニ神ヨ、爾ノ神ハ爾ニ歡ノ膏
ヲ傅ケシユト、爾ノ侶ニ勝レリ。九 爾ノ衣ハ皆沒藥、蘆薈、肉桂
ノ如シ、象牙ノ殿ヨリ、爾ヲ樂マシム。十 諸王ノ女ハ爾ノ貴嬪
ノ中ニ在リ、皇后ハオフルノ金ヲ妝ヒテ、爾ノ右ニ立テリ。十一
女ヨ、之ヲ聽キ、之ヲ觀、爾ノ耳ヲ傾ケヨ、爾ノ民ト爾ガ父ノ家
トヲ忘レヨ。十二 王ハ爾ノ美シキヲ慕ハン、蓋彼ハ爾ノ主ナリ、
爾彼ニ伏拜セヨ。十三 テイルノ女ハ禮物ヲ攜ヘ、民中ノ富メル者
ハ爾ノ顔ヲ拜マン。十四 王ノ女ノ光榮ハ皆内ニアリ、其衣ハ金

ナ繻トセリ、^{十五}彼ハ彩服ヲ衣テ王ノ前ニ進メラレ、^{十六}彼ノ伴タル童女ハ彼ニ從ヒテ爾ノ前ニ進メラル、^{十七}爾ノ列祖ニ代ヘテ爾ノ諸子アラテ導カレ、^{十八}王ノ殿ニ入ル。我爾ノ名ヲ萬世ニ誌シ、^{十九}爾之ヲ立テテ全地ノ牧伯トセン。我爾ノ名ヲ萬世ニ誌サシメン、^{二十}故ニ諸民爾ヲ讚榮シテ永遠ニ迄ラン。

第四十五聖詠

一 俗長ニアラモフノ樂器ヲ以テ歌ハシム。コレイノ諸子ノ歌。
 二 神ハ我等ノ避所ナリ、能力ナリ、患難ノ時ニハ速ナル佑助ナリ、^三故ニ地ハ動キ、山ハ海ノ心ニ移ルトモ、我等懼レザラン。^四其水ハ號リ激クベシ、其濤タツニ依リテ山ハ震フベシ。

五 河ノ流ハ神ノ邑至上者ノ聖ナル住所ヲ樂マシム。^六神ハ其中ニ在リ、其ノ撼カザラン、神ハ早朝ヨリ之ヲ佑ケン。^七諸民ハ騒ギ、諸國ハ撼ケリ、至上者一たび聲ヲ出セバ地ハ融ケタリ。^八萬軍ノ主ハ我等ト偕ニス、^九イアコフノ神ハ我等ヲ護ル者ナリ。^十來リテ主ノ爲シシ事、其地ニ行ヒシ掃滅ヲ視ヨ、^{十一}彼ハ地ノ極ニマデ戰ヲ息メテ、弓ヲ折リ、矛ヲ折キ、火ヲ以テ兵車ヲ焚ケリ。^{十二}爾等止リテ、我ノ神ナルヲ識レ、我諸民ノ中ニ崇メラレ、地上ニ崇メラレン。^{十三}萬軍ノ主ハ我等ト偕ニス、^{十四}イアコフノ神ハ我等ヲ護ル者ナリ。

光榮讚詞

第七「カフズマ」

第四十六聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。コレイノ諸子ノ詠。

二 萬民ヨ、手ヲ拍ク、歡ノ聲ヲ以テ神ニ呼ベ、三 蓋至上ノ主ハ
 畏ルベクシテ、全地ヲ治ムル大王ナリ、四 彼ハ諸民ヲ我等ニ
 從ハセ、諸族ヲ我等ノ足下ニ從ハセタリ、五 彼ハ我等ノ爲ニ
 嗣業ヲ選ベリ、即其愛スル所ノイアコフノ榮ナリ、六 神ハ呼
 ブ聲ニ伴ハレテ升リ、主ハ角ノ聲ニ伴ハレテ升レリ、七 我ガ
 神ニ歌ヒ歌ヘヨ、我ガ王ニ歌ヒ歌ヘヨ、八 蓋神ハ全地ノ王ナ
 リ、皆智慧ヲ以テ歌ヘヨ、九 神ハ諸民ノ王トナレリ、神ハ其聖

ナル寶座ニ坐セリ、十 諸民ノ牧伯ハアウラムノ神ノ民ニ
 聚レリ、蓋地ノ盾ハ神ニアリ、彼ハ其上ニ高ク舉ゲラレタリ。

第四十七聖詠

一 歌コレイノ諸子ノ詠。

二 主ハ大ニシテ、我ガ神ノ城邑ニ、其聖山ニ讚揚セラレ。三
 オン山ハ美シキ高處ニシテ、全地ノ喜悅ナリ、其北方ニ大王
 ノ城邑アリ、四 神ハ其住所ニ於テ防ギ護ル者トシテ知ラル、
 五 蓋視ヨ、諸王集リテ、偕ニ過ギ去レリ、六 彼等ハ見テ驚キ、心
 擾レテ遁レタリ、七 彼處ニハ恐懼ト産婦ノ如キ、苦ト彼等ヲ
 圍メリ、八 爾東風ヲ以テフルシスノ舟ヲ壞レリ、九 我等曾テ

聞キシ如ク今萬軍ノ主ノ城邑我ガ神ノ城邑ニ見ルヲ得タ
 リ神ハ之ヲ固メテ永遠ニ迄ラン。十 神ヨ我等爾ノ仁慈ヲ爾
 ノ堂ノ中ニ念ヘリ。十一 神ヨ爾ノ名ノ如ク爾ノ讚美モ地ノ極
 ニ至ル爾ノ右ノ手ハ義ヲ滿テタリ。十二 主ヨ爾ノ判ニ因リテ
 シオン山ハ樂ムベシ、イウデヤノ女ハ歡ブベシ。十三 爾等シオ
 ンノ周圍ヲ行キテ之ヲ環リ其成樓ヲ數ヘヨ。十四 其城垣ニ心
 ナ留メ其宮室ヲ觀ヨ之ヲ後世ニ述ベン爲ナリ。十五 蓋此ノ神
 ハ我等ノ神ニシテ世世ニ至リ彼ハ我等ヲ導キテ死ノ時ニ
 至ラン。

第四十八聖詠

一 俗長ニ歌ハシムコレイノ諸子ノ詠

ニ 萬民之ヲ聽ケ、三 全地ニ居ル者貴賤貧富ヲ論ゼズ、皆之ニ
 耳ヲ傾ケヨ。四 我ガ口ハ睿智ヲ出シ我ガ心ノ思ハ智識ヲ出
 サン。五 我耳ヲ傾ケテ比喩ヲ聽キ琴ヲ以テ我ガ隱語ヲ解カ
 シ。六 我ガ患難ノ日我ヲ迫害スル者ノ惡我ヲ環ル時我何ゾ
 懼レン。七 己ノ力ヲ恃ミ其財ノ多キニ誇ル者ヨ、八 人敢テ其
 兄弟ヲ贖フ能ハズ彼ノ爲ニ神ニ償ヲナス能ハズ、九 其靈ヲ
 贖フ價ハ貴シ、十 人常ニ存シテ墓ヲ見ザルコト、世世之ナカ
 ラン。十一 人皆見ル智者モ死シ愚者モ無智者モ滅ビテ其財ヲ
 他人ニ遺ズ。十二 彼等思ヘラク其家ハ永ク存シ其住所ハ世世

ニ存^{ソシ}セシ、彼等^{カレラ}己^{オレ}ノ名^ナヲ以^{モッ}テ其地^チニ名^ナヅク。^{十三}惟人^トハ貴^クギニ止^トルヲ得^ズ、彼^{カレ}ハ亡^ホブル獸^ノ如^クナラン。^{十四}彼等^ノ道^ハ愚蒙^{ナリ}ナリ、然^レドモ其後^ノ人^ハ尙^ホ其意^ヲ是^トス。^{十五}彼等^ハ羊^ノ如^クク地獄^ニ閉^トサレ、死^ハ彼等^ヲ牧^セン、平旦^ニ義者^ハ彼等^ヲ主^トラン、彼等^ノ力^ハ竭^キ、墓^ハ彼等^ノ住所^トナラン。^{十六}惟神^ハ我^レヲ納^メントスル時、我^ガ靈^ヲ地獄^ノ權^{ヨリ}脱^レシメン。^{十七}人^{富^チ致^シ、其家倍榮^{ユル}時、爾懼^ルル母^レ、^{十八}蓋^レ彼死^{シテ}一切^ヲヲ描^ヘズ、其榮^ハ彼^ニ件^ハザラン。^{十九}彼存^命ノ時、其靈^ヲ樂^マセ、且^人爾^ガ自^ラ満足^{スル}ヲ見^テ、爾^ヲ讚^ムレドモ、^{二十}彼^ハ永^ク光^ヲ觀^{ザル}其列祖^ノ處^ニ往^{カン}。^{二十一}人^ノ貴^クシテ無^智ナ}

ルハ、亡^ホブル獸^ノ如^シ。

光榮讚詞

第四十九聖詠

アサフノ詠

一 諸神^ノ神主^ハ言^ヲ出^{シテ}地^ヲ召^ス、日^ノ出^{ヅル}處^{ヨリ}日^ノ入^ル處^ニ至^ル。^二神^ハシオン^{即極}メテ美^{シキ}處^{ヨリ}顯^ル、^三我^ガ神^來ル、彼^ハ默^{サズ}、其前^ニ燬^キ盡^ス火^{アリ}、其四^周ニ烈^{シキ}風^{アリ}。^四彼^ハ上^{ヨリ}天^地ヲ呼^ブ、其民^ヲ判^{カン}爲^ナリ、^五日^フ、我^ノ聖者^祭ヲ以^テ我^ト約^ヲ結^ビシ者^ヲ我^ガ前^ニ集^メヨ。^六諸天^ハ神^ノ義^ヲ唱^{ヘン}、蓋^此ノ審判者^ハ神^{ナリ}。^七

吾ガ民ヨ、聽ケ、我言ハシ、イブライリヨ、我證ヲ以テ爾ヲ責メ
 ン、我ハ神爾ノ神ナリ。我爾ノ祭ノ爲ニ爾ヲ譴メントスル
 ニ非ズ、爾ノ燔祭ハ常ニ我が前ニ在リ。我犢ヲ爾ノ家ヨリ、
 或ハ山羊ヲ爾ノ牢ヨリ受ケザラン。蓋林中ノ諸獸ト千山
 ノ諸畜ト皆我ニ屬ス、我山ノ悉クノ禽ヲ知ル、野ノ獸モ我
 ガ前ニ在リ。我縱令飢ウトモ、爾ニ告ゲザラン、蓋世界ト之
 ニ滿ツル者ト皆我ニ屬ス。我豈ニ牡牛ノ肉ヲ食ヒ、或ハ山
 羊ノ血ヲ飲マンヤ。讚美ヲ以テ神ニ獻ゼヨ、爾ノ誓ヲ至上
 者ニ償ヘ、憂ノ日ニ我ヲ呼ベ、我爾ヲ援ケン、爾乃我ヲ讚榮
 セン。神罪人ニ謂フ、爾何爲レゾ、我が律ヲ傳ヘ、我が約ヲ爾

ノ口ニ執リテ、自ラ我ノ訓ヲ疾ミ、我ノ言ヲ爾ノ後ニ棄ツ
 ル、爾盜賊ヲ見レバ之ニ與シ、姦淫者ニ遇ヘバ之ト偕ニス、
 爾ノ口ヲ惡言ノ爲ニ啓キ、爾ノ舌ハ譌ヲ編ム、爾ハ坐シ
 テ兄弟ヲ誹リ、爾ノ母ノ子ヲ讒ス、爾既ニ此ヲ行ヒ、我默セ
 リ、爾ハ我モ亦爾ノ如シト思ヘリ、我爾ヲ譴メ、爾ノ罪ヲ爾ガ
 目ノ前ニ置カン。神ヲ忘ルル者ヨ、此ヲ悟レ、否ズバ我奪ヒ
 テ、援クル者ナカラシ。讚美ヲ獻ズル者ハ我ヲ恭フ己ノ道
 ナ、慎ム者ハ、我彼ニ神ノ救ヲ顯サン。

第五十聖詠

一 伶長ニ歌ハシム、ダウドノ詠ニ、ダウドナルサワヤニ入りテ、後預言者ナリ

フシノ彼ニ來リシ時ニ此ヲ作レリ。

三 神ヨ、爾ノ大ナル憐ニ因リテ我ヲ憐ミ、爾ガ惠ノ多キニ因
 リテ我ノ不法ヲ抹シ給ヘ。四 屢我ヲ我ガ不法ヨリ洗ヒ、我ヲ
 我ガ罪ヨリ清メ給ヘ。五 蓋我ハ我ガ不法ヲ知ル、我ノ罪ハ常
 ニ我ガ前ニ在リ。六 我ハ爾獨爾ニ罪ヲ犯シ、惡ヲ爾ノ目ノ前
 ニ行ヘリ、爾ハ爾ノ審斷ニ義ニシテ、爾ノ裁判ニ公ナリ。七 視
 ヲ我ハ不法ニ於テ妊マレ、我ガ母ハ罪ニ於テ我ヲ生メリ。八
 視ヨ、爾ハ心ニ眞實ノアルヲ愛シ、我ガ衷ニ於テ智慧ヲ我ニ
 顯セリ。九 「イソプ」ヲ以テ我ニ沃ゲ、然セバ我潔クナラン、我ヲ
 滌ヘ、然セバ我雪ヨリ白クナラン。十 我ニ喜ト樂トヲ聞カセ

給ヘ、然セバ爾ニ折ラレシ骨ハ悦バン。十一 爾ノ顔ヲ我ガ罪ヨ
 リ避ケ、我ガ盡クノ不法ヲ抹シ給ヘ。十二 神ヨ、潔キ心ヲ我ニ造
 レ、正シキ靈ヲ我ノ衷ニ改メ給ヘ。十三 我ヲ爾ノ顔ヨリ逐フコ
 ト母レ、爾ノ聖神ヲ我ヨリ取り上グルコト母レ。十四 爾ガ救ノ
 喜ヲ我ニ還セ、主宰タル神ヲ以テ我ヲ固メ給ヘ。十五 我不法ノ
 者ニ爾ノ道ヲ教ヘン、不虔ノ者ハ爾ニ歸ラントス。十六 神ヨ、我
 ガ救ノ神ヨ、我ヲ血ヨリ救ヒ給ヘ、然セバ我ガ舌ハ爾ノ義ヲ
 讚メ揚ゲン。十七 主ヨ、我ガ唇ヲ啓ケ、然セバ我ガ口ハ爾ノ讚美
 ヲ揚ゲン。十八 蓋爾ハ祭ヲ欲セズ、欲セバ我之ヲ獻ラン、爾ハ燔
 祭ヲ喜バズ。十九 神ニ喜バルル祭ハ、痛悔ノ靈ナリ、痛悔シテ謙

遜ナル心ハ神ヨ爾輕ンシ給ハズ。主ヨ爾ノ惠ニ因リテ恩
 ナシオンニ垂レ、イエルサリムノ城垣ヲ建テ給ヘ、其時ニ
 爾義ノ祭獻物ト燔祭トヲ喜ビ饗ケン、其時ニ人人爾ノ祭壇
 ニ饋ヲ奠ヘントス。

光榮讚詞

第五十一聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。ダワドノ教訓ニイドメヤ人ドイグ來リテサウルニ告
 ゲテ、ダワドアワメレフノ家ニ至レリト、言ヒシ後ニ此ヲ作レリ。

三 剛キ者ヨ、何爲レズ惡業ヲ以テ誇ル、神ノ惠ハ恒ニ我ト偕
 ニス。爾ノ舌ハ害ヲ計ル、譎ナル者ヨ、爾ノ舌ハ銳キ薙刀ノ

如シ。爾惡ヲ好ムコト善ニ逾エ、譎ヲ好ムコト眞實ヲ言フ
 ニ越ユ。譎ノ舌ヨ、爾ハ悉クノ害アル談ヲ好ム、此ガ爲ニ
 神ハ爾ヲ壞リテ殘スコトナク、爾ヲ除キ、爾ノ住所ヨリ、
 爾ノ根ヲ生ケル者ノ地ヨリ拔カン。義人ハ見テ懼レ、彼ヲ
 笑ヒテ云ハン、視ヨ、此ノ人ハ神ヲ以テ己ノ力トセズ、己ガ
 財ノ多キヲ恃ミテ、其惡業ニ固クナレリ。惟我ハ青キ橄欖
 ノ樹ノ神ノ家ニ在ルガ如シ、神ノ惠ヲ恃ミテ永遠ニ迄ラン。
 我爾ガ行ヒシ事ニ縁リテ、永遠ニ爾ヲ讚榮シ、爾ノ名ヲ恃
 マン、其爾ノ聖人ノ前ニ善ナレバナリ。

第五十二聖詠

一 俗長ニ箴ヲ以テ和セシム。ダワドノ教訓。
 二 無知ナル者ハ其心ニ神ナシト謂ヘリ。彼等ハ自ラ壞レ憎ムベキ。惡ヲ行ヘリ。善ヲ爲ス者ナシ。三 神ハ天ヨリ人ノ諸子ヲ臨ミ。或ハ智ノ明ニシテ。神ヲ求ムル者アリヤヲ見ント欲ス。四 皆迷ヒ。均シク無用ト爲レリ。善ヲ行フ者ナシ。一モ亦ナシ。五 不法ヲ行ヒ。餅ヲ食フ如ク我ガ民ヲ食ヒ。及ビ神ヲ呼バザル者。豈ニ悟ラズヤ。六 彼等ハ懼ナキ處ニ懼レン。蓋神ハ爾ヲ攻ムル者ノ骨ヲ散ラサシ。爾彼等ヲ辱シメン。神彼等ヲ棄テダレバナリ。七 誰カシオンヨリ救ヲイズライリニ與ヘン。神ガ其民ノ虜ヲ返サン時。イアコフハ喜ビ。イズライリハ樂

マン。

第五十三聖詠

一 俗長ニ琴ヲ彈キテ歌ハシム。ダワドノ教訓。二 ジスイ人來リテサウルニ告ゲテ。ダワド我等ノ處ニ匿ルルニ非ズヤト。言ヒシ後ニ此ヲ作レリ。
 三 神ヨ。爾ノ名ヲ以テ我ヲ救ヒ。爾ノ力ヲ以テ我ヲ判キ給ヘ。
 四 神ヨ。我が禱ヲ聽キ。我が口ノ言ヲ聆キ。納レ給ヘ。五 蓋外人ハ起テ我ヲ攻メ。強キ者ハ我が靈ヲ覓ム。彼等ハ神ヲ己ノ前ニ置カズ。六 視ヨ。神ハ我ノ援助ナリ。主ハ我が靈ヲ固メ給フ。七 彼ハ我が敵ニ其惡ヲ報イン。爾ノ眞實ヲ以テ彼等ヲ滅シ給ヘ。八 主ヨ。我心ヲ盡シテ。爾ニ祭ヲ獻ゲ。爾ノ名ヲ讚メ揚

ゲン其善ナルヲ以テナリ、九 蓋爾ハ我ヲ諸ノ艱難ヨリ救ヒ
給ヘリ、我ガ目ハ我ノ敵ヲ見タリ。

第五十四聖詠

一 伶長ニ琴ヲ彈キテ歌ハシム、ダウドノ教訓

ニ神ヨ、我ガ禱ヲ聆キ、我ガ願ヨリ匿ルル母レ。三 我ニ耳ヲ傾
ケテ我ニ聽キ給ヘ、我ハ悲ノ中ニ呻ヒ、四 敵ノ聲不虔者ノ責
ニ由リテ擾フ、蓋彼等ハ不法ヲ以テ我ヲ誣ヒ、怒ヲ以テ我ニ
仇ス。五 我ガ心ハ我ノ衷ニ慄キ、死ノ恐惶ハ我ニ及ベリ、六 驚
懼ト戰栗トハ我ニ臨ミ、恐惶ハ我ヲ圍メリ。七 我言ヘリ、孰カ
我ニ鴿ノ翼ヲ予フルアラシ、我飛ビ去リテ安ヲ獲ン、八 遠ク

離レテ野ニ居ラン、九 急ギテ旋風ト暴風トヲ避ケン。十 主ヨ、
彼等ヲ亂シ、其舌ヲ分ケヨ、蓋我ハ暴虐ト争競トナ城邑ノ中
ニ見ル、十一 彼等ハ晝夜其城垣ノ上ヲ繞ル、其中ニ毒惡ト患難
アリ、十二 殘害ハ其中ニアリ、詭詐ト誑騙トハ其衢ヲ離レズ。十三
我ヲ謗ル者ハ敵ニ非ズ、敵ナラバ我之ヲ忍バン、我ニ高ブル
者ハ我ガ仇ニ非ズ、仇ナラバ我之ヲ避ケン、十四 乃爾曾テ我ト
儔シキ者、我ノ友、我ノ近キ者タリ、十五 我ト親シキ談ヲ爲シシ
者、偕ニ神ノ宮ニ行キシ者タリ、十六 願ハクハ死ハ彼等ニ至ラ
シ、願ハクハ彼等ハ生キナガラ地獄ニ降ラン、惡事ハ其住所
ニ、其間ニ在レバナリ。十七 惟我神ニ籲バン、主乃我ヲ救ハン。十八

晚ト朝ト午ニ我祈リテ籲バン、彼乃我ノ聲ヲ聞カン、^{十九}我ガ
 靈ヲ我ヲ攻ムル者ヨリ平安ニ脱レシメン、彼等夥シケレバ
 ナリ。^{二十}神ハ聽カン、世ノ前ヨリ在ス者ハ彼等ヲ卑クセシ、蓋
 彼等ニ改新ナシ、彼等ハ神ヲ畏レズ、^三己ノ手ヲ彼等ト和睦
 スル者ニ伸ベ己ノ約ニ背ケリ、^三其口ハ膏ヨリ滑ラカニシ
 テ、其心ニ仇ヲ懷キ、其言ハ油ヨリ柔ラカニシテ、是レ白刃ナ
 リ。^三爾ノ重任ヲ主ニ負ハシメヨ、彼ハ爾ヲ扶ケン。彼ハ何時
 モ義人ニ撼クヲ容サザラン。^四神ヨ、爾ハ彼等ヲ滅ノ阱ニ陷
 レン、血ヲ流シ、貳ヲ行フ者ハ生キテ其日ノ半ニモ至ルヲ得
 ズ。主ヨ、惟我爾ヲ頼ム。

光榮讚詞

第八「カフズマ」

第五十五聖詠

一 伶長ニ歌ハシム、遠方ニ在ル無聲ノ鶴ノ事、ダワドフリヌヲヤ人ニグフ
 ニ執ヘラレシ時ニ此ヲ著セリ。

二 神ヨ、我ヲ憐ミ給ヘ、蓋人我ヲ吞マント欲シ、毎日我ヲ攻メ
 テ我ニ逼ル。^三至上者ヨ、我が敵ハ毎日我ヲ吞マント覓ム、蓋
 起ナテ我ヲ攻ムル者多シ。^四我が恐懼ノ時ニハ、我爾ヲ恃ム。
 五 我神ニ於テ其言ヲ讚メ揚ゲン、我神ヲ恃ミテ懼レズ、肉身
 我ニ何ナカ爲サン。^六彼等毎日我が言ヲ曲ゲ、其思フ所ハ皆

我ヲ害セントス、七 彼等ハ聚リ潛ミテ、我ガ踵ヲ伺ヒ、我ガ靈ヲ捉ヘント欲ス。八 彼等豈ニ其不義ノ報ヲ脱レンヤ。神ヨ、爾ノ怒ヲ以テ諸民ヲ仆シ給ヘ。九 我ノ流離ハ、爾之ヲ數ヘタリ、我ガ涙ヲ、爾ノ器ニ納レヨ、此レ爾ノ書ニ録セルニ非ズヤ。十 我爾ニ籲ブ時、我ガ敵ハ退ク、此ヲ以テ我神ガ我ヲ助クルヲ知ル。十一 我神ニ於テ其言ヲ讚メ揚ゲン、我主ニ於テ其言ヲ讚メ揚ゲン。十二 我神ヲ恃ミテ懼レズ、人我ニ何ヲカ爲サン。十三 神ヨ、爾ニ發セシ誓ハ、我ニ在リ、我讚美ヲ以テ爾ニ償ハン。十四 蓋爾ハ、我ガ靈ヲ死ヨリ、我ガ目ヲ涙ヨリ、我ガ足ヲ躓ヨリ救ヒ給ヘリ、我ガ神ノ顔ノ前、生ケル者ノ光ノ内ニ行カン爲ナリ。

第五十六聖詠

一 伶長ニ歌ハシム、滅ス母レダワドサウルヲ避ケテ洞ニ匿レシ時ニ此ヲ著セリ。

ニ 神ヨ、我ヲ憐ミ、我ヲ憐ミ給ヘ、蓋我ガ靈爾ヲ恃ム、我爾ガ翼ノ蔭ニ蔽ハレテ患難ノ過グルヲ待タン。三 我至上ノ神、恩ヲ我ニ施ス神ニ呼バン、四 彼ハ天ヨリ遣シテ我ヲ救ハン、我ヲ吞マント覓ムル者ヲ辱シメン、神ハ其慈憐ト其眞實トヲ遣サン。五 我ガ靈ハ、獅ノ中ニ在リ、我ハ焰ヲ噴ク者ノ中ニ臥シ、其齒ハ矛及ビ矢、其舌ハ利キ、劔ナル人ノ子ノ中ニ臥ス。六 神

ヨ、願ハクハ爾ハ諸天ノ上ニ舉ゲラレ、爾ノ光榮ハ全地ヲ蔽
 ハン。七 彼等ハ我が足ノ爲ニ網ヲ設ケタリ、我が靈ハ弱レリ、
 彼等ハ我が前ニ阱ヲ掘リテ、自ラ其中ニ陷レリ。八 我が心備
 レリ、神ヨ、我が心備レリ、我歌ヒテ讚榮セン。九 我が讚榮興キ
 ヨ、我が琴瑟興キヨ、我夙ニ興キントス。十 主ヨ、我爾ヲ諸民ノ
 中ニ讚榮シ、爾ヲ諸族ノ中ニ讚頌セン。十一 蓋爾ノ慈憐ハ大ニ
 シテ天ニ戻リ、爾ノ眞實ハ雲ニ戻ル。十二 神ヨ、願ハクハ爾ハ諸
 天ノ上ニ舉ゲラレ、爾ノ光榮ハ全地ヲ蔽ハン。

第五十七聖詠

一 俗長ニ歌ハシム、滅ス母レ、ダワド此ヲ著セリ。

二 裁判者ヨ、爾等誠ニ義ヲ言フカ、人ノ子ヨ、爾等正シク裁判
 スルカ。三 爾等ハ心ノ中ニ不法ヲ設ケ、爾等ノ手ノ地ニ行ヒ
 シ惡業ヲ權衡ニ置ク。四 惡人ハ生ルル時ヨリ道ヲ離レ、母ノ
 腹ヨリ迷ヒテ、謊ヲ言フ。五 彼等ノ毒ハ蛇ノ毒ノ如ク、聾ノ蝮
 ガ耳ヲ塞ギテ、六 妙術ニ尤モ巧ナル妙術者ノ聲ヲ聽カザル
 ガ如シ。七 神ヨ、其口ノ齒ヲ折ケ、主ヨ、獅ノ頤ヲ壞リ給ヘ。八 願
 ハクハ彼等ハ流水ノ如ク消エ、弓ヲ張り矢ヲ發ツ時、其自ラ
 折ルルガ如クナラン。九 願ハクハ彼等ハ化スル蝸牛ノ如ク
 消エ、墮胎ノ兒ノ如ク日ヲ見ザラン。十 爾等ノ釜未ダ棘ノ熱
 ヲ覺エザル先ニ、願ハクハ大風燃ユルト燃エ付カザルトナ

合セテ之ヲ散ラサン。義者ハ報ヲ見テ喜ビ、惡者ノ血ヲ以テ其足ヲ濯ハン。時ニ人云ハン、義者ニハ誠ニ果報アリ、故ニ審判チ地ニ行フ神アリ。

光榮讚詞

第五十八聖詠

一 伶長ニ歌ハシム滅ス母レサウル人ヲ遣シテダワドノ宅ヲ守リ之ヲ殺サント欲セシ時ニ、ダワド此ヲ作レリ。

二 我ガ神ヨ、我ヲ我ガ敵ヨリ援ケ、我ヲ攻ムル者ヨリ護リ給ヘ。三 我ヲ不法ヲ行フ者ヨリ援ケ、血ヲ流ス者ヨリ救ヒ給ヘ。四 蓋視ヨ、彼等ハ我ガ靈ヲ窺フ、主ヨ、強キ者聚リテ我ヲ攻ム、

我ガ愆ニ縁ルニ非ズ、我ガ罪ニ縁ルニ非ズ。我尤ナシト雖、彼等趨セ集リテ武具ヲ備フ、祈ル、我ヲ佑ケン爲ニ起テ之ヲ觀ヨ。六 主萬軍ノ神、イズライリノ神ヨ、起テ萬民ニ臨ミ、惡逆ナル不法者ノ一ヲモ恕ス母レ。七 彼等ハ暮ニ歸リ、犬ノ如ク哀號シテ城邑ヲ環ル。八 視ヨ、彼等ハ舌ヲ以テ謗ヲ吐ク、其口ニ劔アリ、蓋自ヲ思フ、誰カ之ヲ聽カント。九 惟主ヨ、爾彼等ヲ晒ハン、爾萬民ヲ辱シメン。十 力ハ彼等ニアリ、然レドモ我爾ニ趨リ附ク、蓋神ハ我ヲ護ル者ナリ。十一 我ガ神我ヲ憐ム者ハ我ニ先タン、神ハ我ニ我ガ敵ヲ見ルヲ得シメン。十二 主我等ノ盾ヨ、彼等ヲ殺ス母レ、恐ラクハ我ガ民法ヲ忘レン、爾ノ

權能ヲ以テ彼等ヲ散ラシ、彼等ヲ卑クセヨ。十三ノ言ハ其
 口ノ罪ナリ、願ハクハ彼等ハ出ス所ノ詛ト、誑トニ因リテ、其
 誇ヲ以テ、自ラ拘ハレン。十四ノ怒ヲ以テ、彼等ヲ散ラシ、之ヲ散ラ
 シテ、其無キニ至レ、人ヲシテ神ガイアコフヲ宰リテ、地ノ極
 ニ及ブヲ知ラシメヨ。十五ノ彼等暮ニ歸リ、犬ノ如ク哀號シテ、城
 邑ヲ環ルベシ、徘徊シテ食ヲ求メ、枵腹ニシテ夜ヲ終フベ
 シ。十七ノ惟我爾ノ能力ヲ歌ヒ、早朝ヨリ爾ノ慈憐ヲ述ベシ、蓋爾
 ハ我が患難ノ日ニ於テ、我ノ護佑我ノ避所タリキ。十八ノ我が能
 カヨ、我爾ヲ歌ハン、蓋神ハ我ヲ護ル者ナリ、我が神ハ我ヲ憐
 ム者ナリ。

第五十九聖詠

一 伶長ニ、スサン、エド、フノ樂器ヲ以テ歌ハシム。二 ダワドメソボタミヤノ
 シリヤ及ビツワンノシリヤヲ征セシ時、イオアフ歸途イドメヤ人一萬
 二千ヲ鹽谷ニ敗リシ後ニ、ダワド教學ノ爲ニ此ヲ著セリ。
 三 神ヨ、爾我等ヲ棄テ、爾我等ヲ敗リ、爾怒ヲ發セリ、祈ル、我等
 ニ向ヒ給ヘ。四 爾地ヲ震ハセテ、之ヲ裂ケリ、祈ル、其破ヲ補ヒ
 給ヘ、彼動ケバナリ。五 爾ハ爾ノ民ニ苦シキユトヲ嘗メシメ、
 我等ニ驚惶ノ酒ヲ飲マシメタリ。六 祈ル、爾ヲ畏ルル者ニ旗
 ナ賜ヒテ、彼等ニ眞實ノ爲ニ之ヲ舉ゲシメ、七 爾ノ愛スル者
 ニ援ヲ獲シメ給ヘ、爾ガ右ノ手ニテ救ヒテ、我ニ聽キ給ヘ。八

神ハ其聖所ニ於テ曰ヘリ、我勝タン、シヘムヲ分テ、ソクホフ
 ノ谷ヲ量ラン、九ガラアドハ我ニ屬シ、マナシヤハ我ニ屬ス、
 エフレムハ我が首ノ防固、イウダハ我ノ權柄ナリ、十モアフ
 ハ我ノ盤ナリ、エドムニ我が鞞ヲ舒ベシ。フィリステヤノ地ヨ、
 我ニ凱ヲ舉ゲヨ。十一孰カ我ヲ引キテ堅固ナル城邑ニ入レン、
 孰カ我ヲ導キテエドムニ至ラン、十二神ヨ、豈ニ爾ニ非ズヤ、神
 ヨ、我等ヲ棄テテ、我が軍ト共ニ出デザル者ヨ、十三祈ル、狹難ニ
 於テ我等ニ助ヲ昇ヘ給ヘ、人ノ護佑ハ虚シケレバナリ。十四神
 ト偕ニシテ我等力ヲ顯サン、彼ハ我が敵ヲ降サン。

第六十聖詠

一 伶長ニ琴ヲ彈キテ歌ハシム。ダワドノ詠。

ニ 神ヨ、我が籟ブヲ聽キ、我が祈ヲ聽キ納レ給ヘ。三 我心ノ憂
 悶ヲ以テ地ノ極ヨリ爾ニ呼ブ、我ヲ引キテ我が至ル能ハザ
 ル磐ニ升セ給ヘ。四 蓋爾ハ我ノ避所ナリ、爾ハ敵ヲ防グ堅固
 ナル戍樓ナリ。五 願ハクハ我永ク爾ノ住所ニ居リ、爾ガ翼ノ
 蔭ニ安ンゼン。六 蓋神ヨ、爾ハ我が誓ヲ聞キテ、我ニ爾ノ名ヲ
 懼ルル者ノ嗣業ヲ賜ヘリ。七 祈ル、王ノ日ニ日ヲ加ヘ、其年ヲ
 代代ニ延ベヨ。八 願ハクハ彼永ク神ノ前ニ居ラン、慈憐ト眞
 實トニ戒メテ彼ヲ護ラシメ給ヘ。九 然ラバ我日日我が誓ヲ
 償ヒテ、世世爾ノ名ニ歌ハン。

光榮讚詞

第六十一聖詠

一 イダフムノ俗長ニ歌ハシムダワドノ詠

二 我ガ靈唯神ニ在リテ安ズ、我ガ救ハ彼ニ由ル。三 唯彼ハ
 我ガ防固、我ガ救、我ガ避所ナリ、我復搖カザラン。四 爾等人ニ
 逼ルコト何ノ時ニ至ルカ、爾等仆サレン、爾等皆傾ケル牆ノ
 如ク、搖ケル籬ノ如ク仆サレン。五 彼等ハ高キヨリ彼ヲ落サ
 シ、コトヲ謀リテ詭ヲ用井、口ニハ祝福シ、心ノ中ニハ詛フ。六
 我ガ靈ヨ、唯神ニ在リテ安ンゼヨ、我ガ望ハ彼ニ在レバナリ。
 七 唯彼ハ我ガ防固、我ガ救、我ガ避所ナリ、我搖カザラン。八 我

ガ救ト我ガ榮トハ神ニアリ、我ガ力ノ防固、我ガ恃ハ神ニア
 リ。九 民ヨ、常ニ彼ヲ恃メ、爾ノ心ヲ彼ノ前ニ注ゲヨ、神ハ我等
 ノ避所ナリ。十 人ノ諸子ハ惟虚シ、人ノ諸子ハ譎ナリ、彼等ヲ
 權衡ニ置ケバ、皆共ニ空虚ヨリ輕シ。十一 強奪ヲ恃ム母レ、強掠
 ニ誇ル母レ、貨ノ増ス時之ニ心ヲ貼クル母レ。十二 神一次言ヘ
 リ、我二次之ヲ聽ケリ、即能力ハ神ニ在リ、十三 主ヨ、憐モ亦爾ニ
 在リ、蓋爾ハ各人ノ行フ所ニ依リテ之ニ報ユ。

第六十二聖詠

一 ダワドノ詠、イウデヤノ野ニ在リテ此ヲ作レリ。

二 神ヨ、爾ハ我ノ神ナリ、我曉ヨリ爾ヲ尋ヌ、我ガ靈ハ渴キテ

爾ヲ望ミ、我が身ハ空シクシテ燥ケル水ナキ地ニアリテ、痛ク爾ヲ慕フ、三爾ノ能力ト爾ノ光榮トヲ見ン爲ナリ、我が會テ爾ヲ聖所ニ觀シガ如シ、四蓋爾ノ愛憐ハ生命ニ愈ル。我が口爾ヲ讚美セン。五是クノ如ク我生ケル時爾ヲ崇メ讚メ、爾ノ名ニ依リテ我が手ヲ舉ゲン。六我が靈ノ飽カサルルコト脂油ヲ以テスルガ如ク、我が口歡ノ聲ニテ爾ヲ讚美ス、七楊ニテ爾ヲ記憶シ、夜更ニ爾ヲ思フ時ニ在リ。八蓋爾ハ我ノ扶助ナリ、爾ガ翼ノ蔭ニ於テ我欣バン、九我が靈ハ親シク爾ニ附キ、爾ノ右ノ手ハ我ヲ扶ク。十彼ノ我が靈ヲ害ハンコトヲ謀ル者ハ地ノ深キ處ニ降ラン、十一彼等刃ニ櫻リテ、狐ノ獲物

トナラン。十二惟王ハ神ノ爲ニ樂マン、凡ソ彼ヲ以テ誓フ者ハ譽ヲ得ン、蓋謊ヲ言フ者ノ口ハ塞ガレントス。

第六十三聖詠

一 伶長ニ歌ハシム、ダワドノ詠

ニ神ヨ、我が禱ノ時我が聲ヲ聽キ、我が生命ヲ敵ノ懼ヨリ護リ給ヘ。三我ヲ詭者ノ謀ヨリ、惡者ノ亂ヨリ匿シ給ヘ、四彼等ハ其舌ヲ劔ノ如ク礪ギ、其毒言ヲ弓ノ如ク張リテ、五隱ニ無玷ノ者ヲ射ント欲ス、彼等ハ忽之ヲ射テ懼レズ。六彼等ハ惡意ヲ定メ、隱ニ網ヲ設ケンコトヲ謀リテ謂ヘリ、誰カ之ヲ見ン、七彼等ハ不義ヲ尋子、屢探リテ、人ノ中情ト心ノ深キ處ト

ニ至ル。然レドモ神ハ矢ヲ以テ彼等ヲ射ン、彼等忽傷ツケ
 ラレン、彼等其舌ヲ以テ己ヲ害ハン、彼等ヲ見ル者ハ皆避
 ケン。衆人懼レテ神ノ功ヲ傳ヘ、其彼ノ爲ス所タルヲ知ラ
 ン。義人ハ主ノ爲ニ樂ミテ、彼ヲ恃マン、心ノ正シキ者ハ皆
 榮ヲ獲ン。

光榮讚詞

第九「カフズマ」

第六十四聖詠

一 俗長ニ歌ハシム。ダワドノ詠歌謠ノ爲。

ニ 神ニ讚頌ハシオンニ於テ爾ニ屬シ、盟ハイエルサリムニ

於テ爾ニ償ハレン。爾ハ祈禱ヲ聽ク、凡ノ肉身ハ爾ニ趨リ
 附ク。不法ノ行ハ我ニ勝テ、爾ハ我等ノ罪ヲ淨メン。爾ガ
 選ビ近ヅケテ、爾ノ庭ニ居ラシムル者ハ福ナリ。我等ハ爾ノ
 家、爾ノ聖殿ノ福ニ鑿キ足ラン。義判ニ於テ畏ル可キ者ヨ、
 神、我が救世主、地ノ四極ト遠ク海ニ居ル者トノ恃ヨ、其力
 ニテ山ヲ建テ、權能ヲ帶ブル者ヨ、海ノ騷、其波ノ聲、及ビ諸
 民ノ亂ヲ鎮ムル者ヨ、我等ニ聽キ給ヘ。地ノ極ニ居ル者ハ
 爾ノ休徵ヲ畏レン。爾ハ朝夕ヲ起シテ、爾ヲ讚榮セシメン。十
 爾地ニ臨ミテ、其渴ヲ止メ、豊ニ之ヲ富マシム、神ノ流ニハ水
 盈テ、爾穀物ヲ備フ、蓋此クノ如ク之ヲ作レリ。爾其吠ニ飲

マセ、其塊ヲ平ゲ、雨ノ滴ヲ以テ之ヲ柔ラゲ、祝福シテ芽ヲ出
 サシム。爾ノ恩澤ヲ以テ年ニ冠ラセ、爾ノ歩ニハ膏滴ル、
 卽郊邊ノ牧場ニ滴リ、丘ハ喜ヲ帶ブ、草原ハ獸ノ群ヲ衣谷
 ハ穀物ニテ蔽ハレ、歡ビ呼ビテ歌フ。

第六十五聖詠

伶長ニ歌ハシム歌

一 全地ヨ、神ニ歡ビテ呼ビ、其名ノ光榮ヲ歌ヒ、光榮ト讚美
 トナ彼ニ歸セヨ。三 神ニ謂フベシ、爾ハ其行事ニ於テ何ゾ畏
 ルベキ、爾ガ力ノ多キニ由リテ、爾ノ敵ハ爾ニ降ラン。四 至上
 者ヨ、願ハクハ全地ハ爾ニ叩拜シ、爾ヲ歌ヒ、爾ノ名ニ歌ハン。

五 來リテ、人ノ子ニ行フ所ニ於テ畏ルベキ神ノ行事ヲ視ヨ。
 六 彼ハ海ヲ變ジテ陸トナセリ、人歩ミテ河ヲ涉レリ、我等ハ
 彼處ニ在リテ、彼ノ爲ニ樂メリ。七 彼ハ己ノ能力ヲ以テ永ク
 宰リ、其目ハ諸民ヲ鑿ミル、叛逆ノ者ノ自ヲ詔ラザラン爲ナ
 リ。八 諸民ヨ、我が神ヲ讚揚シ、其讚美ヲ傳ヘヨ。九 彼ハ我等ノ
 靈ノ生命ヲ守リ、我等ノ足ニ躓クヲ免サザリキ。十 神ヨ、爾我
 等ヲ試ミ、銀ヲ鍊ルガ如ク、我等ヲ鍊リ給ヘリ。十一 爾我等ヲ網
 ニ引キ入レ、械ヲ我等ノ腰ニ加ヘ、人ヲ我等ノ首ノ上ニ置
 キタリ。我等ハ火ト水ト中ニ入り、而シテ爾我等ヲ引キ出
 シテ自由ヲ賜ヘリ。十二 我燔祭ヲ以テ、爾ノ家ニ入り、我ノ盟ヲ

爾ニ償^{ナシ}ハ^ン、^{十四}即我ガ憂^{ウレヒ}ノ時我ガ口^{クチ}ノ出^イシシ所^{トコロ}我ガ舌^{シタ}ノ言^イ
 ヒシ所^{トコロ}ノ者^{モノ}ナリ。^{十五}我肥^{ワケ}エタル燔^{ヤク}祭^{イハヒ}ヲ、^{十六}牡羊^{ウシヤ}ノ脂^{アブラ}ノ香^{カオリ}ト與^{トモ}ニ
 爾^{ナシ}ニ奉^{タテマツ}リ、^{十七}牡牛^{ウシ}ト牡^{オシ}山羊^{ヤマ}ト祭^{イハヒ}ニ獻^{イダシ}ゲン。^{十八}凡^{オホ}ソ神^{カミ}ヲ畏^{オソ}ルル
 者^{モノ}來^{キタ}リテ聽^キケ、^{十九}我爾等^{ワレナシガ}ニ彼^{カレ}ガ我^ワガ靈^{タマシ}ノ爲^{タメ}ニ行^{イダシ}ヒシ所^{トコロ}ヲ述^ナベ
 ン。^{二十}我曾^{ナシ}テ我^ワガ口^{クチ}ヲ以^{モリ}テ彼^{カレ}ニ呼^ヨビ、^{二十一}我^ワガ舌^{シタ}ヲ以^{モリ}テ彼^{カレ}ヲ讚^{サシ}揚^ウ
 セリ。^{二十二}若^モシ我^ワガ心^{ココロ}ニ不^フ法^フノアルヲ見^ミシナラバ、^{二十三}主^{シユ}ハ我^ワニ
 聽^キカザリシナラン。^{二十四}然^{シカ}レドモ神^{カミ}ハ已^スニ聽^キキ、^{二十五}我^ワガ禱^{イハヒ}ノ聲^{コエ}ヲ
 聽^キキ、^{二十六}納^イレ給^{タマ}ヘリ。^{二十七}崇^ホメ讚^ホメラルル哉^カ神^{カミ}、^{二十八}我^ワガ祈^{イハヒ}禱^{イハヒ}ヲ却^シケズ、
 其^{ソノ}憐^{アハレ}ヲ我^ワヨリ離^ナサザリシ者^{モノ}ヤ。

第六十六聖詠

一 伶長ニ琴ヲ彈キテ歌ハシム。詠歌。

ニ神^{カミ}ヨ、^一我等^{ワレガ}ヲ憐^{アハレ}ミ、^二我等^{ワレガ}ニ福^{フク}ヲ降^タシ、^三爾^{ナシ}ノ顔^{カハ}ヲ以^{モリ}テ我^ワ等^ガヲ照^ス
 シ給^{タマ}ヘ、^四爾^{ナシ}ノ途^{ミチ}ノ地^チニ知^シラレ、^五爾^{ナシ}ノ救^{スクヒ}ノ萬^{マン}民^{ミン}ノ中^{ナカ}ニ知^シラレ
 ン爲^{タメ}ナリ。^六神^{カミ}ヨ、^七願^{ネガ}ハクハ諸^{シヨ}民^{ミン}爾^{ナシ}ヲ讚^{サシ}揚^ウシ、^八諸^{シヨ}民^{ミン}悉^{シトク}ク爾^{ナシ}ヲ讚^{サシ}
 揚^ウセン。^九願^{ネガ}ハクハ諸^{シヨ}族^{ゾク}樂^{ラク}ミ歡^{ヨロコ}バン、^十蓋^{フシ}爾^{ナシ}ハ義^ギヲ以^{モリ}テ諸^{シヨ}民^{ミン}ヲ
 審^シ判^{バン}シ、^{十一}地^チ上^{ジヤウ}ノ諸^{シヨ}族^{ゾク}ヲ治^チム。^{十二}神^{カミ}ヨ、^{十三}願^{ネガ}ハクハ諸^{シヨ}民^{ミン}爾^{ナシ}ヲ讚^{サシ}
 諸^{シヨ}民^{ミン}悉^{シトク}ク爾^{ナシ}ヲ讚^{サシ}揚^ウセン。^{十四}地^チハ其^{ソノ}果^ミヲ出^イセリ、^{十五}願^{ネガ}ハクハ神^{カミ}我^ワ
 ガ神^{カミ}ハ我^ワ等^ガニ福^{フク}ヲ降^タサン。^{十六}願^{ネガ}ハクハ神^{カミ}ハ我^ワ等^ガニ福^{フク}ヲ降^タシ、
 地^チノ極^{キョク}ハ悉^{シトク}ク彼^{カレ}ヲ畏^{オソ}レン。

光榮讚詞

第六十七聖詠

一 俗長ニ歌ハシム。ダワドノ詠歌。

神ハ興キ、其仇ハ散ルベシ、彼ヲ惡ム者ハ其顔ヨリ逃グベシ。
 煙ノ散ルガ如ク、斯ク惡人等ハ神ノ顔ニ因リテ亡ブベシ。
 融クルガ如ク、斯ク惡人等ハ神ノ顔ニ因リテ亡ブベシ。
 義人等ハ樂ミ、神ノ前ニ欣ビ、且欣ビテ祝フベシ。我等ノ神
 ニ歌ヒ、其名ニ歌ヒ、諸天ヲ行ク者ヲ崇メ讚メヨ、其名ヲ主ト
 曰フ、彼ノ顔ノ前ニ欣ベ。孤子ノ父寡婦ノ審判者ナル神ハ、
 其聖ナル住居ニ在リ。神ハ孤獨ノ者ヲ家ニ入レ、囚者ノ鎖
 ナ釋ク、惟逆フ者ハ炎野ニ遺テラル。神ヨ、爾ガ爾ノ民ニ先

ダナテ出デシ時、爾ガ野ヲ行キシ時、地ハ震ヒ、天モ神ノ顔
 ニ因リテ融ケ、此ノシナイモ神、イズライリノ神ノ顔ニ因リ
 テ融ケタリ。神ヨ、爾ハ甘霖ヲ爾ノ嗣業ニ注ギ、其勞ニ依リ
 テ弱ル時、爾之ヲ固メ給ヘリ。爾ノ民ハ彼處ニ居リタリ、神
 ヨ、爾ハ仁慈ニ依リテ、貧シキ者ノ爲ニ備ヲナセリ。主ハ言
 ナ賜ハン、之ヲ傳フル女甚多シ。軍旅ノ諸王ハ走り走ル、只
 家ニ坐スル婦ハ獲物ヲ分ツ。爾等各其疆ニ安ズルヲ得テ、
 恰モ鴿ガ其翼ヲ銀ニテ蔽ハレ、羽ヲ純金ニテ蔽ハレタル如
 クナレリ。全能者此ノ地ノ諸王ヲ散ラシシ時、地ハ白マリ
 シユト、セルモンノ雪ノ如シ。ワサンノ山ハ神ノ山、ワサン

ノ山ハ高キ山ナリ。諸ノ高キ山ヨ、爾等何爲レゾ神ガ居ラ
 ンヲ欲シ、主ガ永ク住マントスル山ヲ嫉ミ視ル。神ノ兵車
 ハ萬萬千干、主ハ其中ニ、シナイノ聖所ニ在リ。爾ハ高キニ
 登リ、擄者ヲ擄ニシ、人人ノ爲ニ獻物ヲ享ケ、逆フ者ニモ主神
 ニ居ルベキヲ得シム。主ハ日日ニ崇メ讃メラル。神ハ我等
 ニ重荷ヲ負ハスレドモ、亦我等ヲ救ヒ給フ。神ハ我等ノ爲
 ニ救ノ神ナリ、死ノ門ハ主全能者ノ權ニ在リ。神ハ其敵ノ
 首、己ノ不法ニ溺ルル者ノ髮多キ頂ヲ摧カン。主言ヘリ、ワ
 サシヨリ回シ、海ノ深水ヨリ描へ出サン、爾ニ爾ノ足ヲ、爾
 ノ犬ニ其舌ヲ敵ノ血ニ浸サシメン爲ナリ。神ヨ、爾ノ行ク

ヲ見、我が神、我が王ノ聖所ニ行クヲ見タリ。歌フ者ハ前シ
 シ、樂器ヲ鳴ラス者ハ後ニ從ヒ、童女ハ鼓ヲ持テテ其間ニ在
 リキ。イズライリノ源ヨリ出ヅル者ヨ、教會ニ於テ主神ヲ
 崇メ讃メヨ。彼處ニハ小ナルヲニアミン、彼等ノ侯タルア
 リ。イウダノ諸侯、彼等ノ主宰タルアリ、又ザウロンノ諸侯、子
 フリムノ諸侯アリ。爾ノ神ハ爾ニ力ヲ賜フヲ預定セリ。神
 ヨ、爾我等ノ爲ニ行ヒシ事ヲ固メヨ。イエルサリムニ在ル
 爾ノ殿ノ爲ニ、諸王ハ獻物ヲ爾ニ奉ラン。爾輩ノ間ノ猛獸
 ナ制シ、銀塊ヲ以テ伐レル諸民ノ憤ノ中ノ牡牛ノ群ヲ制シ、
 戰ヲ好メル諸民ヲ散ラシ給へ。公卿ハエギペトヨリ來リ、

エフナビヤハ其手ヲ舉ゲテ神ニ向ハン。地上ノ諸國ヨ、神
 ニ歌ヒ、^{三四}世世諸天ノ天ヲ行ク主ヲ讚メ歌ヘ。視ヨ、彼ハ其聲
 ニ力ノ聲ヲ與フ。^{三五}光榮ヲ神ニ歸セヨ、其威嚴ハイズライリ
 ノ上ニ在リ、其能力ハ雲ニ在リ。^{三六}神ヨ、爾ハ爾ノ聖所ニ於テ
 嚴ナリ。イズライリノ神ハ其民ニ能ト固トヲ賜フ。神ハ崇メ
 讚メラル。

光榮讚詞

第六十八聖詠

一 伶長ニ、ソサンニムノ樂器ヲ以テ歌ハシム。ダウドノ詠。
 二 神ヨ、我ヲ救ヒ給ヘ、蓋水ハ我が靈ニマデ至レリ。三 我深キ

泥ニ溺レテ、立ツ處ナシ、我深キ水ニ入リテ、其ノ急瀨ハ我ヲ
 流ス。^四我ハ籲ビテ倦ミ、我が喉ハ枯レ、我が目ハ我が神ヲ望
 ミテ疲レタリ。^五故ナクシテ我ヲ疾ム者ハ我が首ノ髮ヨリ
 モ多ク、我が敵、不義ヲ以テ我ヲ迫ムル者ハ益強シ、我が奪ハ
 ザル所ノ者ハ、我ニ之ヲ償ハシム。^六神ヨ、爾ハ我が無智ナル
 ナ知ル、我ノ罪ハ爾ニ隠ルルナシ。^七主、萬軍ノ神ヨ、願ハクハ
 凡ソ爾ヲ恃ム者ハ我ニ因リテ羞テ得ザラン。イズライリノ
 神ヨ、願ハクハ爾ヲ尋ヌル者ハ我ニ因リテ辱テ得ザラン。^八
 蓋我爾ノ爲ニ侮テ負ヒ辱ハ我が面ヲ蔽フ。^九我我ガ兄弟ニ
 ハ疎キ者トナリ、我が母子ニハ外人トナレリ。^十蓋爾ガ家

ニ於ケル熱心ハ我ヲ蝕ミ、爾ヲ謗ル、謗ハ我ニ墜ツ、我靈ニ
 齋シテ泣ク、彼等此ヲ以テ我ノ辱トナス、我麻ヲ衣テ衣服
 三易フ、乃彼等ノ諺トナル、門ノ傍ニ坐スル者ハ我ヲ評シ、
 酒ヲ飲ム者ハ歌ヲ以テ我ヲ歌フ、主ヨ、惟我祈禱ヲ以テ爾
 ニ赴ク、神ヨ、爾ガ喜ブ時ニ於テ、爾ノ大仁慈ニ依リ、爾ガ救ノ
 誠ヲ以テ我ニ聞キ給ヘ、我ヲ泥ノ中ヨリ引キ出シテ、我ノ
 溺ルルヲ容ス、母レ、我ヲ疾ム者及ビ深キ水ヨリ免ルルヲ得
 シメ給ヘ、急瀨ニ我ヲ流サシムル母レ、淵ニ我ヲ吞マシム
 ル母レ、大壑ニ其口ヲ我ガ上ニ閉サシムル母レ、主ヨ、我ニ
 聆キ給ヘ、爾ノ憐ハ善ナレバナリ、爾ガ恵ノ多キニ因リテ、我

ナ願ミヨ、爾ノ顔ヲ爾ノ僕ニ匿ス、母レ、我哀メバナリ、速ニ
 我ニ聽キ給ヘ、我ガ靈ニ近ヅキテ、之ヲ援ケヨ、我ガ敵ニ縁
 リテ、我ヲ救ヒ給ヘ、爾ハ我ガ受クル所ノ侮ト恥ト辱トヲ
 知レリ、我ノ敵ハ悉ク爾ノ前ニ在リ、侮ハ我ノ心ヲ裂キ、我
 ガ疲ハ極レリ、我憐憫ヲ望メドモ無シ、慰安者ヲ望メドモ得
 ザリキ、彼等膽ヲ以テ我ニ食マセ、我ガ渴ケル時、醯ヲ以テ
 我ニ飲マシメタリ、願ハクハ彼等ノ筵ハ其網トナリ、彼等
 ガ平安ノ席ハ其機檻トナラン、願ハクハ彼等ノ目ハ昏ミ
 テ見ルヲ得ザラン、彼等ノ腰ヲ永ク癱セ、爾ノ忿恚ヲ彼等
 ニ注ギ、爾ガ怒ノ焰ニ彼等ヲ圍マシメヨ、願ハクハ彼等ノ

住所ハ虚シクナリ、彼等ノ幕ニ居ル者ナカラシム。蓋爾ガ擊
 ナシ者ハ彼等之ヲ迫メ、爾ガ傷ツケシ者ノ苦ハ彼等之ヲ益
 ス。彼等ノ不法ニ不法ヲ加ヘ、彼等ヲ爾ノ義ニ入ラシムル
 母レ。願ハクハ彼等ハ生命ノ記録ヨリ抹サレ、義人ト共ニ
 記サレザラン。我貧シク且苦メリ、神ヨ、願ハクハ爾ノ助ハ
 我ヲ起サシム。我歌ヲ以テ我が神ノ名ヲ讚榮シ、頌ヲ以テ彼
 ナ讚揚セン、此レ主ニ悦バルルハ、牛及ビ角ト蹄トアル犢
 ニ逾ラン。苦シム者ハ之ヲ見テ悦バン。神ヲ尋ヌル者ヨ、爾
 等ノ心ハ活キン、蓋主ハ貧シキ者ニ聽キ、其囚人ヲ輕ンジ
 給ハズ。願ハクハ天及ビ地、海及ビ凡ソ其中ニ動ク者ハ彼

ナ讚美セン、蓋神ハシオンヲ救ヒ、イウダノ諸邑ヲ建テン、
 其民ハ彼處ニ住ヒテ之ヲ嗣ガン、彼ガ諸僕ノ裔ハ彼處ニ
 居テ定メ、彼ノ名ヲ愛スル者ハ其中ニ住ハン。

第六十九聖詠

一 伶長ニ歌ハシム。ダワドノ詠、記念ノ爲ニ此ヲ作レリ。

ニ 神ヨ、速ニ我ヲ救ヘ、主ヨ、速ニ我ヲ助ケ給ヘ。我が靈ヲ求
 ムル者ハ、願ハクハ恥ナ得テ辱ヲ受ケン。禍ヲ我ニ望ム者ハ、
 願ハクハ退ケラレテ嘲ケラレン。我ニ向ヒテ嘻嘻ト云フ
 者ハ、其我ヲ辱シムルニ因リテ、願ハクハ退ケラレン。凡ソ
 爾ヲ求ムル者ハ、願ハクハ爾ノ爲ニ喜ビ樂マン。爾ノ救ヲ愛

スル者ハ願ハクハ常ニ神ハ大ナリト云ハン。我ハ貧シクシテ乏シ、神ヨ速ニ我ニ格リ給ヘ、爾ハ我ノ助ナリ、我ヲ救フ者ナリ、主ヨ遅ハル母レ。

光榮讚詞

第十「カフイズマ」

第七十聖詠

一 主ヨ我爾ヲ恃ム、願ハクハ我世世ニ羞テ得ザラン。ニ 爾ノ義ニ縁リテ我ヲ援ケ、我ヲ免レシメ、爾ノ耳ヲ我ニ傾ケテ我ヲ救ヒ給ヘ。三 我ガ爲ニ堅固ナル避所トナリテ、我ニ常ニ隠ルルヲ得シメ給ヘ、爾我ヲ救ハンコトヲ命ゼリ、蓋爾ハ我ガ

防固、我ガ能力ナリ。四 我ガ神ヨ我ヲ惡者ノ手ヨリ、不法者及ビ迫害者ノ手ヨリ救ヒ給ヘ。五 蓋主神ヨ爾ハ我ノ望ナリ、我ガ幼キヨリ我ノ恃ナリ。六 我娠マル時ヨリ爾ニ護ラレ、爾我ヲ母ノ腹ヨリ出セリ、我爾ヲ讚メ揚ゲテ息メザラン。七 多クノ者ノ爲ニ我奇怪ノ如キ者トナレリ、然レドモ爾ハ我ノ堅キ望ナリ。八 願ハクハ我ガ口ハ讚美ニ滿テラレテ、我爾ノ光榮ヲ歌ヒ、日日ニ爾ノ威嚴ヲ歌ハン。九 我ガ老ニル時我ヲ棄ツル母レ、我ガ力衰フル時我ヲ遺ス母レ。十 蓋我ガ敵ハ我ヲ論ジ、我ガ靈ヲ伺フ者ハ相謀リテ、云フ神ハ彼ヲ棄テタリ、追ヒテ彼ヲ拘ヘヨ、救フ者ナケレバナリ。十一 神ヨ我ニ遠ザ

カル母レ、我が神ヨ、速ニ我ヲ佑ケ給ヘ。我ガ靈ニ仇スル者ハ、願ハクハ辱シメラレテ消エシ、我ヲ害セント謀ル者ハ、願ハクハ辱ト侮トナ被ラン。唯我常ニ爾ヲ恃ミ、倍爾ヲ讚メ揚ゲン。我ガ口ハ爾ノ義ヲ傳ヘ、日日ニ爾ノ恩ヲ傳ヘン、蓋我其數ヲ知ラズ。我主神ノ能力ヲ思ヒ、爾ノ義獨爾ノ義ヲ記憶セン。神ヨ、爾ハ我が幼キヨリ我ヲ誨ヘ給ヘリ、我今ニ至ルマデ爾ノ奇迹ヲ傳フ。神ヨ、歳老イ髮白キマデ我ヲ棄テズシテ、我が爾ノ能力ヲ此ノ世ニ、爾ノ權能ヲ凡ソ將來ノ者ニ傳フルニ迨ベ。神ヨ、爾ノ義ハ極メテ高シ、爾大ナル事ヲ行ヘリ、神ヨ、孰カ爾ニ比ブルヲ得ン。爾ハ多ク且厲シキ

苦難ヲ我ニ遣セリ、然レドモ復我ヲ生カシ、復我ヲ地ノ淵ヨリ引キ出セリ。爾我ヲ舉ゲ、我ヲ慰メ、我ヲ地ノ淵ヨリ引キ出セリ。我が神ヨ、我琴ヲ以テ爾ト爾ノ眞實トヲ讚榮セン、イズライリノ聖ナル者ヨ、我瑟ヲ以テ爾ヲ讚頌セン。我爾ニ歌フ時、我が口ハ喜ビ、爾ガ救ヒシ我が靈モ喜ブ。我が舌ハ日日ニ爾ノ義ヲ傳ヘン、蓋我ヲ害セント謀ル者ハ、恥ヲ被リ、辱ヲ受ケタリ。

第七十一聖詠

ンロモンノ事(ダウドノ詠)

一 神ヨ、爾ノ裁判ヲ王ニ賜ヒ、爾ノ義ヲ王ノ子ニ賜ヘ、ニ 裁判

ノ時彼ニ義ヲ以テ爾ノ民ト爾ノ貧シキ者トヲ判カシメヨ。
 三 願ハクハ山ハ民ニ平安ヲ施シ、邱ハ義ヲ施サン、四 願ハク
 ハ彼ハ民ノ貧シキ者ヲ判キ、乏シキ者ノ子ヲ救ヒ、暴虐者ヲ
 抑ヘン。五 日月ノ在ル間、人人爾ヲ世世ニ畏レン。六 彼ハ芟リ
 タル草場ニ降ル雨ノ如ク、土ヲ潤ス、雨滴ノ如ク降ラン。七 彼
 ノ日ニハ義人榮エ、多クノ平安アリテ、月ノ畢ルニ至ラン。八
 彼ハ宰ルユト海ヨリ海ニ至リ、河ヨリ地ノ極ニ至ラン。九 曠
 野ニ居ル者ハ彼ノ前ニ俯伏シ、彼ノ敵ハ塵ヲ舐メン。十 フル
 シスト島島トノ諸王ハ貢ヲ彼ニ獻ゲ、アラワヤトサワトノ
 諸王ハ禮物ヲ奉ラン。十一 列王彼ニ伏拜シ、萬民彼ニ奉事セン、

十二 蓋彼ハ貧シキ者ト呼ブ者ト苦メラレテ助ナキ者トヲ援
 ケン。十三 彼ハ貧シキ者ト乏シキ者トヲ憐ミ、乏シキ者ノ靈ヲ
 救ハン。十四 其靈ヲ詭詐ト暴虐ヨリ援ケン、其血ハ彼ノ目ノ前
 ニ寶トナラン。十五 彼ハ生活セン、人人アラワヤノ金ヲ以テ彼
 ニ饋リ、恒ニ彼ノ爲ニ祈禱シ、日日ニ彼ヲ崇メ讚メン。十六 地ニ
 ハ穀物豊ナラン、山ノ巔ニハ其穂ノ搖クコトリワンノ林ノ
 如ク、城邑ニハ人ノ殖ユルコト地ノ草ノ如クナラン。十七 彼ノ
 名ハ崇メ讚メラレテ世世ニ至ラン、日ノ在ル間ハ彼ノ名傳
 ハラン、地上ノ萬族ハ彼ニ緣リテ福ヲ獲萬民ハ彼ヲ稱讚セ
 ン。十八 主神、イブライリノ神、獨奇跡ヲ行フ者ハ崇メ讚メラル、

十九カレ 彼ノ光榮ノ名モ世世ニ崇メ讚メラル、全地ハ彼ノ光榮ニ
滿テヌレシヨアミン、アミン。

光榮讚詞

イエセイノ子ダワドノ祈禱畢レリ。

第七十二聖詠

アサフノ詠

一 神ハ何ゾイズライリ人ニ心ノ淨キ者ニ仁慈ナル。ニ唯我
ハ我が足幾ンド蹶キ、我が歩殆シンド失ヘリ。三 我惡者ソ安樂
ヲ見テ、狂妄ノ者ヲ嫉メリ。四 蓋彼等ハ死ニ至ルマデ苦ナク、
其力モ健ナリ。五 彼等ハ人ノ苦勞ニ與ラズ、人ト偕ニ擊タレ

ズ。六 故ニ驕慢ハ彼等ヲ環ルユト首飾ノ如ク、強暴ハ彼等ヲ
纏フコト衣ノ如シ。七 其目ハ其肥エタルニ因リテ出デ、其思
ハ心ノ中ニ徨フ。八 嘲リテ息メズ、惡ヲ懷キテ、讒言ヲ敷キ、高
ブリテ言フ。九 其口ヲ天ニ騰ゲ、其舌ハ地ニ往來ス。十 故ニ主
ノ民モ彼處ニ向ヒ、滿テタル器ヨリ水ヲ飲ミテ。十一 云フ、神ハ
如何ニシテ知ラン、至上者ニ知ルコトアルカ。十二 視ヨ、此ノ惡
者ハ斯ノ世ニ安樂シテ、其財ヲ増ス。十三 我ハ謂ヘリ、我豈ニ徒
ニ我が心ヲ淨メ、我が手ヲ無罪ノ中ニ盪ヒ。十四 毎日傷ヲ受ケ、
毎朝責ヲ被リシニ非ズヤ。十五 然レドモ我若シ此クノ如ク計
ラント云ハバ、我爾ノ諸子ノ族ノ前ニ罪ヲ得ン。十六 我思ヘリ、

如何ニシテ之ヲ悟ラン、唯是レ我ガ目ノ前ニ難クシテ、我
 ガ神ノ聖所ニ入りテ、彼等ノ終ヲ悟ルニ迨ベリ。然リ、爾彼
 等ヲ滑ナル途ニ立テテ、彼等ヲ淵ニ陥ル。何ゾ彼等ハ遽ニ
 壞レ、消エ、懼ニ依リテ滅ビタル。夢ノ覺ムルガ如ク、主ヨ、爾
 彼等ヲ覺マシテ、其想像ヲ消サン。我ガ心ノ沸キ、我ガ中情
 ノ裂クル時、我無智ニシテ悟ルナク、畜ノ如ク、爾ノ前ニ在
 リキ。然レドモ我ハ常ニ爾ト偕ニシ、爾ハ我ガ右ノ手ヲ執
 ル、爾ノ訓諭ニテ我ヲ導キ、後我ヲ光榮ニ納レン。天ニハ
 我ニ誰カアル、地ニモ爾ト偕ニセバ願フ所ナシ。我ガ身ト
 我ガ心トハ弱レリ、神ハ我ガ心ノ固ナリ、世世ニ我ノ分ナリ。

蓋視ヨ、爾ニ遠ザカル者ハ亡ビ、凡ソ爾ニ離ルル者ハ爾之
 ナ滅ス。我ニ在リテハ神ニ近ヅクハ善シ。我主神ニ我ガ恃
 ナ負ハセタリ、爾ノ悉クノ行爲ヲシオンノ女ノ門ノ内ニ傳
 ヘン爲ナリ。

第七十三聖詠

アサフノ教訓

一 神ヨ、何爲レゾ永ク我等ヲ棄テ、爾ノ怒ハ爾ガ草苑ノ羊ニ
 燃エタル。爾ガ古ヨリ獲タル會贖ヒテ、爾ガ嗣業ノ柄トナ
 シシ者、即爾ガ居ル所ノ此ノシオン山ヲ記憶セヨ。爾ノ足
 ナ歴代ノ廢址ニ動かセ、敵ハ聖所ニ於テ悉ク毀テリ。爾ノ

敵ハ爾ノ會ノ中ニ吼エ我ガ幟ニ代ヘテ己ノ記號ヲ樹テタ
 リ。五 己ヲ顯ハスコト、高ク斧ヲ舉ゲテ交リタル樹ノ枝ヲ伐
 ラントスル者ノ如クセリ。六 今彼等ハ斧ヲ以テ、鋏ヲ以テ、一
 時ニ其悉クノ彫刻ヲ毀テリ。七 爾ノ聖所ヲ火ニ付シ、全ク爾
 ノ名ノ住所ヲ汚セリ。八 其心ニ謂ヘリ、全ク彼等ヲ壞ラント、
 遂ニ地上ニアル神ノ會ノ處ヲ盡ク焚ケリ。九 我等ハ我ガ幟
 ナ見ズ、預言者己ニナシ、我等ノ中誰モ此クノ如キコトノ何
 ノ時ニ至ラントスルヲ知ル者ナシ。十 神ヨ、敵ノ謗ルコト何
 ノ時ニ至ランカ、豈ニ仇ハ永ク爾ノ名ヲ侮ランヤ。十一 爾胡爲
 レゾ、爾ノ手、爾ノ右ノ手ヲ避クル、爾ガ懷ノ中ヨリ、彼等ヲ擊

テ給ヘ。十二 神、我ガ古世ヨリノ王、救テ地ノ中ニ作ス者ヨ、十三 爾
 ハ己ノ力ヲ以テ海ヲ裂キ、爾ハ蛇ノ首ヲ水ノ中ニ碎ケリ。十四
 爾ハ鱷ノ首ヲ碎キ、之ヲ曠野ノ人ニ予ヘテ食トナセリ。十五 爾
 ハ泉ト流トチ截リ出シ、爾ハ大ナル河ヲ涸セリ。十六 晝ハ爾ニ
 屬シ、夜モ爾ニ屬ス、爾ハ諸ノ光ト日トチ備ヘタリ。十七 爾ハ地
 ノ悉クノ界ヲ立テ、夏ト冬トチ設ケタリ。十八 記憶セヨ、敵ハ主
 ナ謗リ、無智ノ民ハ爾ノ名ヲ侮ル。十九 爾ガ班鳩ノ靈ヲ野獸ニ
 投ズル母レ、永ク爾ガ貧シキ者ノ會ヲ忘ルル母レ。二十 爾ノ約
 ナ願ミヨ、蓋凡ソ地ノ暗キ處ハ強暴ノ住所ニ充テラレタリ。
 二十一 爾ノ約
 三 迫害セラレシ者ニ羞テ得テ歸ラシムル母レ、願ハクハ貧

シキ者ト乏シキ者トハ爾ノ名ヲ讚メ揚ゲン。神ヨ起キテ、爾ノ事ヲ衛レ、無智ノ者ガ日日ニ爾ヲ謗ルヲ記憶セヨ、爾ガ敵ノ聲ヲ忘ルル母レ爾ニ逆フ者ノ譁擾ハ起リテ息マズ。

光榮讚詞

第七十四聖詠

一 俗長ニ歌ハシム滅ス母レアサフノ詠歌

ニ 神ヨ我等爾ヲ讚榮シ、爾ヲ讚榮ス、蓋爾ノ名ハ近シ、爾ノ奇迹ハ之ヲ示ス。三 ○我時ヲ擇ビテ、義ヲ以テ審判ヲ行ハン。四 地ト此ニ居ル者ト皆撼ク、我其柱ヲ堅固ニセシ。五 我無智ノ者ニ謂フ、無智ヲ行フ母レ、惡者ニ謂フ、角ヲ舉グル母レ、六

高ク爾ノ角ヲ舉グル母レ、頑ニ神ノ事ヲ言フ母レ、蓋高クスルハ東ニ由ルニ非ズ、西ニ由ルニ非ズ、曠野ニ由ルニ非ズ、乃神ハ審判者ニシテ、彼ヲ卑クシ、此ヲ升ス。九 蓋爵ハ主ノ手ニ在リ、混アル酒ハ其内ニ沸キ、彼ハ之ヨリ斟ム、地ノ悉クノ惡者ハ其滓ヲモ榨リテ之ヲ飲マン。十 唯我永ク傳ヘテ、イアコフノ神ヲ歌ヒ頌メン、十一 惡者ノ角ハ我悉ク之ヲ折ラン、義者ノ角ハ舉ゲラレン。

第七十五聖詠

一 俗長ニ琴ヲ彈キテ歌ハシムアサフノ詠歌

ニ 神ハイウデヤニ知ラレ、其名ハイズライリニ大ナリ。三 其

住所ハサリムニ在リ、其居所ハシホシニ在リキ。彼ハ彼處ニ於テ弓ノ矢ト盾ト劍ト戰トテ壞レリ。爾ハ光榮ナリ、爾ノ能力ハ掠者ノ山ニ勝ル。心ノ剛キ者ハ獲物トナリ、其寢ヲ以テ寢テダリ、力ノ壯ナル人ハ皆其手ヲ尋テ得ザリキ。イアユフノ神ヨ、爾ノ恐嚇ニ因リテ車モ馬モ眠ニ就ケリ。爾ハ畏ルベシ、爾ガ怒ノ時孰カ爾ガ顔ノ前ニ立タシ。爾ハ天ヨリ審判ヲ告ゲシニ、地ハ懼レテ鎮レリ。此レ神ガ審判ノ爲ニ起キテ、凡ソ地ニ迫害セラルル者ヲ救ハン時ニ在リ。人ノ怒モ爾ノ光榮ニ歸セン、怒ノ餘ハ爾之ヲ止メシ。主爾等ノ神ニ誓テ作シテ償ヘヨ、凡ソ彼ヲ繞ル人ハ畏ルベシ。

キ者ニ禮物ヲ獻グベシ。彼ハ牧伯ノ氣ヲ抑フ、彼ハ地ノ諸王ノ爲ニ畏ルベシ。

第七十六聖詠

イガフムノ伶長ニ歌ハシム、アサフノ詠

ニ我ガ聲神ニ向フ、我彼ニ呼バン、我ガ聲神ニ向フ、彼我ニ聆ガシ。我憂ノ日ニ主ヲ尋ヌ、我ガ手ハ夜中伸ビテ下ラズ、我が靈ハ慰テ辭ム。我神ヲ記憶シテ戰キ、之ヲ想ヒテ我ガ靈弱ル。爾我ニ日ヲ閉ヅルヲ許サズ、我顛ヒテ言フ能ハズ。我古ノ日、過ギ去リシ世ノ年ヲ思ヒ、我ガ夜間ノ歌ヲ記憶シ、我ガ心ト謀リ、我ガ靈ハ尋ヌ、豈ニ主ハ永ク棄テテ復恩

ナ加ヘザルカ、九 豈ニ其憐ハ永ク息ミテ、其言世世ニ絶エシ
 カ、十 豈ニ神ハ憐ムコトヲ忘レシカ、豈ニ怒ヲ以テ其仁慈ヲ
 塞ギシカ。十一 我謂ヘリ、是レ我ノ憂ナリ、至上者ノ右ノ手ノ變
 易ナリ。十二 我主ノ作爲ヲ記憶シ、爾ガ古ノ奇迹ヲ記憶セン、十三
 我爾ガ悉クノ作爲ヲ思ヒ、爾ノ大ナル行ヲ考ヘン。十四 神ヨ、爾
 ノ途ハ聖ナリ。何ノ神カ我ガ神ノ如ク大ナル、十五 爾ハ奇迹ヲ
 行フ神ナリ、爾ハ己ノ能力ヲ諸民ノ中ニ顯セリ、十六 爾ハ臂ヲ
 以テ爾ノ民イアユフ及ビイオシフノ諸子ヲ援ケ給ヘリ。十七
 神ヨ、水ハ爾ヲ見、水ハ爾ヲ見テ懼レ、淵ハ戰ケリ。十八 雲ハ水ヲ
 注ギ、黒雲ハ雷ヲ出シ、爾ノ矢ハ飛ベリ。十九 爾ノ雷ノ聲ハ穹蒼

ニアリ、電ハ世界ニ閃キ、地ハ動キテ震ヘリ。二十 爾ノ途ハ海ニ
 アリ、爾ノ徑ハ大水ニアリ、爾ノ蹟ハ測リ可シ。二十一 爾ハモイセ
 イトアアロントノ手ヲ以テ、爾ノ民ヲ羊ノ群ノ如ク導キ給
 ヘリ。

光榮讚詞

第十一「カフズマ」

第七十七聖詠

アサフノ教訓

一 我ガ民ヨ、我ガ法ヲ聽キ、爾ノ耳ヲ我ガ口ノ言ニ傾ケヨ。二
 我口ヲ啓キテ、譬ヲ言ヒ、古ヨリノ隱語ヲ述ベン。三 我等ガ聞

キシ所知リシ所我ガ列祖ガ我等ニ傳ヘシ所ヲ、^四其子孫ニ
 隱サズシテ、主ノ光榮ト其權能ト其行ヒシ奇跡トヲ後世ニ
 宣ベシ。^五 彼ハ證詞ナイアコフノ中ニ立テ、律法ナイズライ
 リノ中ニ置キテ、我ガ列祖ニ之ヲ其諸子ニ傳ヘンコトヲ命
 シタリ。^六 將來ノ世、即生レントスル諸子ガ此ヲ識リ、其期ニ
 及ビテ之ヲ亦其諸子ニ傳ヘン爲、^七 彼等ガ己ノ望ヲ神ニ負
 ハセ、神ノ作爲ヲ忘レズ、彼ノ誠ヲ守リテ、^八 己ノ列祖、即頑固
 叛逆ノ世、其心修ラズ、其靈神ニ忠ナラザル者ニ效ハザラン
 爲ナリ。^九 エフレムノ諸子、武具ヲ備ヘ弓ヲ挽ク者ハ、戰ノ日
 ニ退ケリ。^十 彼等ハ神ノ約ヲ守ラズ、其法ヲ行フヲ辭ミ、^{十一} 其

作爲ト其顯シシ奇跡トヲ忘レタリ。^{十二} 神ハ奇跡ヲ彼等ガ列
 祖ノ目ノ前ニエギベトノ地ニ、ツアソノ野ニ行ヘリ、^{十三} 海ヲ
 分ナテ、彼等ニ此ヲ過ラシメ、水ヲ壁ノ如ク立テタリ、^{十四} 晝ハ
 雲ヲ以テ、彼等ヲ導キ、終夜火ノ光ヲ以テ導ケリ、^{十五} 石ヲ野ニ
 裂キ、^{十六} 彼等ニ飲マシメシコト大ナル淵ヨリスルガ如シ、^{十六} 磐
 ヲリ流ヲ出シ、水ハ河ノ如ク流レタリ。^{十七} 然レドモ、彼等ハ仍
 其前ニ罪ヲ行ヒ、至上者ヲ野ニ慍ラセタリ。^{十八} 心ノ中ニ神ヲ
 試ミ、己ノ意ニ適スル食ヲ求メタリ、^{十九} 神ヲ侮リテ曰ヘリ、神
 豈ニ筵ヲ野ニ設クルヲ得ンヤ、^{二十} 視ヨ、彼石ヲ撃テ、水出デ、
 川流レタリ、^{二十一} 彼猶能ク餅ヲ與フルカ、能ク己ノ民ニ肉ヲ備フ

ルカ。主ハ之ヲ聞キテ怒ヲ發シ、火ハイアユフニ燃エ、怒ハ
 イズライリニ動ケリ、其神ヲ信セズ、彼ノ救ヲ恃マザリシ
 ニ縁ル。彼ハ上ナル雲ニ命ジ、天ノ門ヲ開キ、マシナシテ雨
 ラシテ、彼等ノ食トナシ、天ノ糧ヲ、彼等ニ予ヘタリ。人ハ天
 使ノ糧ヲ食ヘリ、神ハ食ヲ遣シテ、彼等ニ飽カシメタリ。彼
 ハ東風ヲ天ニ起シ、己ノ能力ヲ以テ南風ヲ引キ至ラシメテ、
 彼等ニ肉ヲ雨ラスコト塵ノ如ク、飛鳥ヲ雨ラスコト海ノ
 砂ノ如シ、之ヲ其營中ニ、其住所ノ四周ニ墜セリ、彼等ハ
 食ヒテ、蹙キ足レリ、神ハ、彼等ニ其願フ所ヲ予ヘタリ。唯彼
 等ノ慾未ダ去ラズ、食ノ尙其口ニアル時、神ノ怒ハ、彼等ニ

臨ミテ、其肥エタル者ヲ戮シ、イズライリノ少キ者ヲ仆セリ。
 然レドモ、彼等仍罪ヲ犯シ、其奇迹ヲ信ゼザリキ。故ニ神
 ハ、彼等ノ日ヲ空虚ニ、其歳ヲ惶擾ニ終ヘシメタリ。神ガ彼
 等ヲ戮ス時、彼等ハ神ヲ尋テ、之ニ向ヒ、早朝ヨリ之ニ趨リ
 附キ、神ハ、彼等ノ避所、至上ノ神ハ、彼等ヲ援クル者ナルヲ
 記憶シ、其口ヲ以テ、彼ニ誦ヒ、其舌ヲ以テ、彼ノ前ニ譎レリ、
 唯其心、彼ノ前ニ正シカラズ、彼等ハ神ノ約ニ誠ナラザリ
 キ。然レドモ、慈憐ナル神ハ、罪ヲ赦シテ、彼等ヲ滅サズ、屢其
 怒ヲ轉シテ、其悉クノ憤ヲ起サザリキ。神ハ、彼等ガ肉身ニ
 シテ、去リテ返ラザル氣ナルヲ記念セリ。彼等ハ、幾次カ彼

ナ曠野ニ憂ヒシメ、彼ヲ荒地ニ慍ラセタリ。復新ニ神ヲ試
 ミ、イズライリノ聖ナル者ヲ犯セリ、其手、其彼等ヲ苦難ヨ
 リ救ヒシ日ヲ憶ハザリキ、即神ガ其休徵ヲエギベトニ、其
 奇迹ヲツアンノ野ニ行ヒシ日ナリ。彼等ノ河ト流トテ血
 ニ變シテ、之ヲ飲ム能ハザラシメタリ。蟲ヲ遣シテ彼等ヲ
 蝥サシメ、蛙ヲ遣シテ彼等ヲ害セシメタリ。彼等ガ地ノ産
 スル所ヲ螟蛉ニ與ヘ、其苦勞ヲ蝗ニ與ヘタリ。穀ヲ以テ彼
 等ノ葡萄ヲ壞リ、雹ヲ以テ其無花果ヲ壞レリ。彼等ノ家畜
 ナ穀ニ付シ、其牧群ヲ電ニ付セリ。彼等ニ己ノ怒ノ焰憤ト
 恨ト禍ト、惡使者ノ群ヲ遣セリ。己ノ怒ノ爲ニ途ヲ平ニシ、

彼等ノ靈ヲ死ヨリ護ラズ、其家畜ヲ疫病ニ付セリ。凡ソエ
 ギベトノ首生ノ者ハムノ幕ノ力ノ始ナル者ヲ撃テリ。是
 ニ於テ其民ヲ羊ノ如ク引キ、之ヲ牧群ノ如ク野ニテ引ケリ、
 安然ニ之ヲ引キテ、彼等懼ルルナシ、彼等ノ敵ハ海之ヲ覆
 ヘリ。彼等ヲ引キテ其聖ナル界、即其右ノ手ノ獲シ所ノ此
 ノ山ニ至レリ。諸民ヲ彼等ノ面ヨリ逐ヒ、其地ヲ分テ、彼
 等ノ業トナシ、イズライリノ支派ヲ其幕ニ居ラシメタリ。
 然レドモ彼等ハ猶至上ノ神ヲ試ミテ、之ヲ憂ヒシメ、其律ヲ
 守ラズ、彼等ノ先祖ノ如ク離レテ叛キ、歪ヘル弓ノ如ク翻
 ヘレリ。崇邱ヲ以テ彼ヲ憂ヒシメ、偶像ヲ以テ彼ノ嫉妒ヲ

起トキセリ。五九カ神聞キキキテ怒イカリヲ發ツクシ、大オホニイブライリヲ憤イカリホレリ、六十一
 〓ロムノ住所スヘ即彼ガ人人ノ間ニ居アワリシ所ノ幕アツヲ棄ステ、六十二ソノ其力
 ヲ俘トリニセシメ、其光榮クラウヲ敵ノ手ニ與アタへ、六十三ソノ其民ヲ劔ツルギニ付ツカシ、其
 業ニ怒イカリヲ發ツクセリ。六十四カレ彼等ノ少者ハ、火ヒ之ヲ嚙カミ、彼等ノ處女ハ、
 人其爲ニ婚姻コンインノ歌ウタヲ歌ウタハズ、六十五カレ彼等ノ司祭ハ劔ツルギニ仆タレ、彼等
 ノ寡婦ハ泣ナカザリキ。六十六カ然レドモ主ハ寢イヌル者ノ覺サムルガ
 如ク興オキキ、英雄ユウユウノ酒サケニ勵カマサルルガ如ク起タテ、六十七カレ彼等ノ敵
 ヲ後ヨリ撃ウテ、永ク之ヲ辱ハシメタリ。六十八カ又イオシフノ幕アツヲ
 棄ステ、エフレムノ支派ハヲ選エラバズ、六十九カ乃イウダノ支派ハ、其愛スル
 所トコロノシオン山サンヲ擇エラベリ。七十カ其聖所キヨイノヲ建タテシユト天ノ如ク、永

ク此コレヲ固カタメシユト地チノ如シ。七十一カ其僕ボクダウダウヲ選エラビテ、之コレヲ羊ヒツジ
 ノ牢ウラヨリ取トリリ、七十二カ乳チヲ哺マスル羊ヨリ牽ヒキ來キリテ、其民ソノイア
 ヲフ、其業ソノイブライリヲ牧ボクセシメタリ。七十二カレ彼ハ淨キヨキ心ココロヲ以モッテ
 之コレヲ牧ボクシ、智チナル手テヲ以モッテ之コレヲ導イダシケリ。

光榮讚詞

第七十八聖詠

アサフノ詠

一 神カミヨ、異邦イノ人ヒト爾ナニノ業サセニ入イリ、爾ナニノ聖殿キヨイノヲ汚ケガシ、イエイエルサリム
 ヲ廢ヤシ址アトナシ、ニ爾ナニガ諸僕シヨボクノ尸シカバチヲ天テンノ鳥トリニ昇アテ、食シヨクトナシ、
 爾ナニガ聖者キヨキノ肉ニクヲ地チノ獸ケモノニ昇アテ、彼等カレノ血チヲ水ミヅノ如クイイエ

ルサリムノ四周ニ流セリ、彼等ヲ葬ル者ナカリキ。我等ハ
 我が隣ニ笑ハレ、我等ヲ環ル者ニ侮ラレ、辱シムラルル者ト
 ナレリ。主ヨ、爾息メズシテ怒リ、爾ガ嫉妬ノ火ノ如ク燃ユ
 ルハ何ノ時ニ至ルカ。爾ノ怒ヲ識ラザル諸民、爾ノ名
 ナ呼バザル諸國ニ注ギ給ヘ、蓋彼等ハイアコフヲ食ヒ、其
 住所ヲ荒セリ。我等ニ對ヒテ我が先祖ノ罪ヲ記憶スル母
 レ、願ハクハ爾ノ慈憐ハ速ニ我等ヲ迎ヘン、我等甚衰ヘタレ
 バナリ。神、我等ノ救主ヨ、爾ノ名ノ光榮ニ因リテ我等ヲ助
 ケ給ヘ、爾ノ名ニ因リテ我等ヲ救ヒ、我等ノ罪ヲ赦シ給ヘ。十
 何爲レゾ異邦人ハ、彼等ノ神ハ安ニ在ルト云ハン、願ハクハ

爾ノ諸僕ノ流サレシ血ニ報ユルハ、異邦人我が目ノ前ニ於
 テ之ヲ識ラン。願ハクハ囚人ノ嘆ハ、爾ガ顔ノ前ニ至ラン、
 爾ガ臂ノ力ヲ以テ死ニ定メラレシ者ヲ護リ給ヘ。主ヨ、我
 ガ隣ガ爾ヲ誇リタル誇ハ、之ヲ七倍シテ其懷ニ返シ給ヘ。十三
 唯我等爾ノ民、爾ガ草苑ノ羊ハ永ク爾ヲ讚榮シ、世世ニ爾ノ
 讚美ヲ宣ベシ。

第七十九聖詠

一 伶長ニ、ソサンニム、エドフノ樂器ヲ以テ歌ハシム。アサラノ詠
 ニ
 イズライリノ牧者ヨ、耳ヲ傾ケヨ、イオシフヲ羊ノ如ク導
 ク者、ヘルワムニ坐スル者ヨ、已テ顯セ。三 エ、ソレムトワニア

ミントマナシヤトノ前ニ爾ノ力ヲ興シ、來リテ我等ヲ救ヒ
 給ヘ。神ヨ、我等ヲ起シ給ヘ、願ハクハ爾ノ顔ハ光リ、我等ハ
 救ハレン。主萬軍ノ神ヨ、爾ノ民ノ禱ヲ怒ルハ何少時ニ至
 ルカ。爾彼等ニ涙ノ餅ヲ食ハシメ、彼等ニ涙ヲ飲マシメシ
 コト孔多シ。爾我等ヲ隣ノ争ノ端トナシ、我が敵ハ我等ヲ
 嘲ル。萬軍ノ神ヨ、我等ヲ起シ給ヘ、願ハクハ爾ノ顔ハ光リ、
 我等ハ救ハレン。爾ハエギペトヨリ葡萄ノ樹ヲ移シ、諸民
 ナ逐ヒ出シテ之ヲ植エ付ケタリ、爾ハ之ガ爲ニ土ヲ闢キ、
 其根ヲ固メタリ、彼ハ地ニ蔓レリ。其蔭ハ諸山ヲ蔽ヘリ、其
 枝ハ神ノ栢香木ノ如シ、彼ハ其枝ヲ海マデ展バシ、其芽ヲ

河マデ展バセリ。爾ハ何爲レゾ其藩ヲ毀テ、凡ソ路ヲ過グ
 ル者ニ之ヲ摘マシムル。林ノ豕ハ之ヲ掘リ、野ノ獸ハ之ヲ
 食ム。萬軍ノ神ヨ、面ヲ返シ、天ヨリ臨ミ觀テ、斯ノ葡萄園ニ
 降り、爾ガ右ノ手ヲ植エ付ケシ者ト、爾ガ己ノ爲ニ定メシ
 芽トヲ護リ給ヘ。彼ハ己ニ火ニ焚カレ、己ニ伐ラレタリ、爾
 ガ顔ノ恐嚇ニ因リテ亡ビシ。願ハクハ爾ノ手ハ爾ガ右ノ
 手ノ人ノ上、爾ガ己ノ爲ニ定メシ人ノ子ノ上ニ在ラン。我
 等モ爾ヨリ離レザラン、我等ヲ生カシ給ヘ、然セバ我等爾ノ
 名ヲ呼バン。主萬軍ノ神ヨ、我等ヲ起シ給ヘ、願ハクハ爾ノ
 顔ハ光リ、我等ハ救ハレン。

第八十聖詠

一 伶長ニゲフノ樂器ヲ以テ歌ハシム。アサフノ詠。

二 歡ビテ神我等ノ防固ニ歌ヒ、イアユフノ神ニ呼ビ、三 歌ヲ
 執リ、鼓ト佳琴ト瑟トヲ與ヘヨ、四 角ヲ新月、即定レル時、我が
 祭ノ日ニ吹ケ、五 蓋是レイヅライリノ爲ニ法ナリ、イアユフ
 六 神ヨリスル律ナリ。神之ヲイオシフガエギベトノ地ヨ
 七 リ出ヅル時ニ、彼ノ爲ニ證トシテ立テタリ。彼ハ彼處ニ在リ
 八 テ未ダ知ラザル舌ノ聲ヲ聽ケリ、云ク、我其肩ヨリ重荷ヲ
 九 卸シ、其手ヲ筐筥ヨリ免レシメタリ。患難ノ時、爾我ヲ呼ビ
 十 シニ、我爾ヲ救ヘリ、我雷ノ中ヨリ、爾ニ聆キ、メリワフ水ノ傍

九 ニテ爾ヲ試ミタリ。我が民ヨ、聽ケ、我爾ニ證セン、嗚呼、イヅ
 十 ライリヨ、願ハクハ爾我ニ聽カン。爾ニ他ノ神アルベカラ
 十一 ズ、異邦ノ神ヲ拜ム母レ。我ハ主、爾ノ神、爾ヲエギベトノ地
 十二 ヨリ引キ出シシ者ナリ、爾ノ口ヲ開ケ、我之ヲ滿テシ。然レ
 十三 ドモ、我が民ハ我が聲ヲ聽カズ、イヅライリハ我ニ從ハザリ
 十四 キ、故ニ我彼等ヲ其心ノ剛愎ニ任セ、其謀ニ循ヒテ行クヲ
 十五 免セリ。嗚呼、若シ我が民我ニ聽キ、イヅライリ、我が途ヲ行
 十六 カバ、則我速ニ彼等ノ敵ヲ抑ヘ、我が手ヲ彼等ヲ攻ムル者
 十七 ニ轉ゼシ、主ヲ疾ム者ハ、彼等ニ服事シ、彼等ノ安寧ハ永ク
 十八 續カン、我嘉麥ヲ以テ彼等ヲ育ヒ、蜜ヲ磬ヨリ出シテ、彼等

夫飽カシメン。

光榮讚詞

第八十一聖詠

アサフノ詠

一 神ハ諸神ノ會ニ立テ、諸神ノ中ニ裁判ヲ行ヘリ、ニ爾等義
 ナ以テ裁判セズ、惡者ノ意ヲ邀フルコト何ノ時ニ至ルカ。三
 貧シキ者ト孤ノ爲ニ裁判ヲ行ヘ、窮メラルル者ト乏シキ者
 ニ義ヲ施セ、四 乏シキ者ト貧シキ者ヲ扶ケ、之ヲ惡者ノ手ヨ
 リ拔ケ。五 彼等ハ知ラズ、悟ラズシテ、闇冥ヲ行ク、地ノ基皆震
 フ。六 我曰ヘリ、爾等神ナリ、爾等皆至上者ノ子ナリ、七 然レド

モ爾等人ノ如ク死シ、諸侯ノ一ノ如ク仆レン。八 神ヨ起キテ
 地ヲ裁判セヨ、爾萬民ヲ繼ガントスレバナリ。

第八十二聖詠

一 歌アサフノ詠

二 神ヨ黙ス母レ言ヲ出サザル母レ、神ヨ靜ナル母レ、三 蓋視
 ヲ爾ノ敵ハ騷ギ、爾ヲ疾ム者ハ首ヲ昂ゲタリ。四 彼等ハ爾ノ
 民ニ向ヒテ奸ナル計畫ヲ爲シ、爾ニ護ラルル者ニ向ヒテ謀
 ル。五 彼等言ヘリ、往キテ之ヲ諸民ノ中ニ滅シテ、イズライリ
 ノ名ノ復記憶セララルコトナカラシメン。六 彼等心ヲ一ニ
 シテ相謀リ、爾ニ向ヒテ約ヲ結ベリ、七 卽エドムノ住所トイ

ズマイル人モアフトアガリ人ゲワルトアンモントアマ
 リク、フリステヤ人トテ、ルノ民是ナリ。アスルモ彼等ニ會
 セリ、此等ロトノ子孫ノ臂トナレリ。求ム、彼等ニ行フコト、
 マデアム及ビシサラトイアワントニ、モソソノ流ノ傍ニ行
 ヒシ如クセヨ。此ノ輩アエンドルニ滅サレテ、地ノ糞土ト
 ナレリ。彼等ノ牧伯ヲ待ツコト、オリフトシフトヲ待ナシ
 如クセヨ、彼等ノ悉クノ將帥ヲ待ツコト、ゼワイトサルマン
 トヲ待ナシ如クセヨ。此ノ輩曾テ云ヘリ、神ノ住所ヲ奪ヒ
 テ、我が業ト爲サント。我が神ヨ、願ハクハ、彼等ハ塵ノ旋風
 ニ於ケルガ如ク、葉ノ風前ニ於ケルガ如クナラン。火ノ林

ヲ焚クガ如ク、燄ノ山ヲ焦スガ如ク、斯ク爾ノ暴風ヲ以テ
 之ヲ逐ヒ、爾ノ旋風ヲ以テ之ヲ亂シ給ヘ。主ヨ、羞テ、彼等ノ
 面ニ盈テテ、彼等ニ爾ノ名ヲ求メシメヨ。願ハクハ、彼等永
 ク羞テ被リテ亂サレン、辱シメラレテ滅ビン。願ハクハ、爾
 獨主ト稱ヘラルル者ハ、全地ノ至上者ナルヲ知ラン。

第八十三聖詠

一 伶長ニダフノ樂器ヲ以テ歌ハシム。コレイノ諸子ノ詠。

ニ 萬軍ノ主ヨ、爾ノ住所ハ何ゾ愛スベキ。我が靈ハ厚ク慕
 ビテ、主ノ庭ヲ望ミ、我が心、我が身ハ生活ノ神ニ馳ス。萬軍
 ノ主、我が王、我が神ヨ、雀モ己ノ宿ヲ獲、燕モ己ノ巢ヲ獲テ、雛

ナ爾ガ祭壇ノ傍ニ置ク。五 爾ノ家ニ住ム者ハ福ナリ、彼等ハ
 常ニ爾ヲ讚メ揚ゲン。六 カヲ爾ニ恃ミ、心ノ路ヲ爾ニ向クル
 人ハ福ナリ。七 彼等ハ涙ノ谷ヲ過リテ、其中ニ泉ヲ得、雨ハ降
 福ニテ之ヲ覆フ。八 彼等ハ力ヨリ力ニ進ミ、シオンニ於テ神
 ノ前ニ顯ル。九 主、萬軍ノ神ヨ、我が禱ヲ聽ケ、イアコフノ神ヨ、
 聽キ納レ給ヘ。十 神、我等ヲ衛ル主ヨ、俯シテ爾ガ膏ツケラレ
 シ者ノ面ヲ視ヨ。十一 蓋一日爾ノ庭ニ在ルハ千日ニ勝ル、我惡
 者ノ幕ニ住マンヨリハ、寧神ノ家ノ闕ノ側ニ居ラン。十二 蓋主
 神ハ日ナリ、盾ナリ、主ハ恩寵ト光榮トヲ賜フ、行ノ玷ナキ者
 ヨリ幸福ヲ奪ハズ。十三 萬軍ノ主ヨ、爾ヲ恃ム人ハ福ナリ。

第八十四聖詠

一 伶長ニ歌ハシム、コレイノ諸子ノ詠

ニ 主ヨ、爾ハ已ニ憐ヲ爾ノ地ニ施シ、イアコフノ俘ヲ歸セリ、
 三 爾ノ民ノ不法ヲ赦シ、其凡テノ罪ヲ掩ヒ、四 爾ガ悉クノ忿
 ナ罷メ、爾ガ怒ノ烈シキヲ除キ給ヘリ。五 我が救ノ神ヨ、我等
 ナ起シ、爾ガ我等ニ於ケル憤ヲ釋キ給ヘ。六 豈ニ永ク我等ヲ
 忿リ、爾ノ怒ヲ世世ニ伸ベントスルカ、七 豈ニ新ニ我等ヲ活
 カシテ、爾ノ民ニ爾ノ事ヲ悦バシメザラントスルカ。八 主ヨ、
 爾ノ憐ヲ我等ニ顯シ、爾ノ救ヲ我等ニ施シ給ヘ。九 我ハ主神
 ノ言ハントスル所ヲ聽カン、彼ハ平安ヲ其民ト其選ビシ者

ニ謂ハシ、唯願ハクハ彼等ハ再無智ニ陥ラザラン。此クノ
 如ク彼ノ救ハ彼ヲ畏ルル者ニ邇シ、光榮ノ我が地ニ居ラシ
 爲ナリ。慈憐ト眞實ト相交リ、義ト和平ト相接吻セン。眞
 實ハ地ヨリ出デ、義ハ天ヨリ臨マン、主ハ幸福ヲ與ヘ、我が
 地ハ其果ヲ與ヘン、義ハ彼ノ前ニ行キ、其足ヲ路ニ立テン。

光榮讚詞

第十一「カフズマ」

第八十五聖詠

ダワドノ祈禱

一 主ヨ、爾ノ耳ヲ傾ケテ我ニ聽キ給ヘ、我乏シクシテ貧シケ

レバナナリ。我が靈ヲ護レ、我爾ノ前ニ愼メバナナリ、我が神ヨ、
 爾ヲ恃メル爾ノ僕ヲ救ヒ給ヘ。主ヨ、我ヲ憐メ、我日日ニ爾
 ニ呼ベバナナリ。爾ノ僕ノ靈ヲ樂マシメ給ヘ、主ヨ、我が靈ヲ
 爾ニ擧グレバナナリ。蓋主ヨ、爾ハ仁慈憐ニシテ、凡ソ爾ヲ
 呼ブ者ニ洪恩ナリ。主ヨ、我が禱ヲ聽キ、我が願ノ聲ヲ聆キ
 納レ給ヘ。我が憂ノ日ニ爾ニ呼ブ、爾我ニ聽カシトスレバ
 ナリ。主ヨ、諸神ノ中爾ニ如ク者ナク、爾ノ作爲ニ如クハナ
 シ。主ヨ、爾ニ造ラレシ萬民ハ來リテ爾ノ前ニ伏拜シ、爾ノ
 名ヲ讚榮セン。蓋爾ハ大ニシテ、奇蹟ヲ行フ、爾神ヨ、獨爾ヲ
 リ。主ヨ、我ヲ爾ノ路ニ導キ給ヘ、然セバ我爾ノ眞理ニ行カ

シ、我ガ心ヲ爾ノ名ヲ畏ルル畏ニ固メ給ヘ。主我ガ神ヨ、我心ヲ盡シテ爾ヲ讚美シ、永ク爾ノ名ヲ讚榮セン、蓋我ニ於ケル爾ノ憐ハ大ナリ、爾ハ我が靈ヲ甚ト深キ地獄ヨリ援ケ給ヘリ。神ヨ、驕ル者ハ起テ我ヲ攻メ、暴虐者ノ黨ハ我が靈ヲ尋ヌ、彼等ハ爾ヲ己ノ前ニ置カズ。然レドモ爾主宏慈ニシテ矜恤寛忍ニシテ洪恩眞實ナル神ヨ、我ヲ願ミ、我ヲ憐ミ、爾ノ力ヲ爾ノ僕ニ賜ヒ、爾ノ婢ノ子ヲ救ヒ給ヘ。恩ノ徴ヲ我ニ顯シ給ヘ、我ヲ疾ム者ハ之ヲ見テ爲ニ愧ヲ得ジ、爾主ヨ、我ヲ助ケ、我ヲ慰メ給ヒシニ因ル。

第八十六聖詠

一、コロンネノ諸子ノ詠歌

二、彼ノ基ハ聖山ニ在リ、主ハシオンノ門ヲ愛スルユト、イアユフノ悉クノ住所ニ愈レリ。神ノ城邑ヨ、光榮ノ事ハ爾ニ於テ傳ヘラル。我ヲ知ル者ニハ、我ヲアフトワフ、ロントノ事ヲ示サン、視ヨ、フリス、ステヤ人、及ビテルトエフ、オピヤト此ニアリ、人云ハシオン、某彼處ニ生レタリ。シオンニ至リテハ云ハン、此ノ人彼ノ人、其中ニ生レタリ、至上者親ラ彼ヲ堅固ニセリ。主ハ諸民ノ記録ニ記サン、此ノ人其中ニ生レタリ。歌フ者モ樂ヲ作ス者モ、凡ソ我が泉ハ皆爾ニアリ。

第八十七聖詠

一 歌、コレイノ諸子ノ詠、伶長ニマハラフヲ以テ歌ハシム。エズラノ裔エマ
ンノ教訓。

ニ 主我ガ救ノ神ヨ、我晝夜爾ノ前ニ呼ブ、願ハクハ我ガ禱
ハ爾ガ顔ノ前ニ至ラン、爾ノ耳ヲ我ガ願ニ傾ケヨ、蓋我ガ
靈ハ苦難ニ飽キ、我ガ生命ハ地獄ニ近ツケリ。我ハ墓ニ入
ル者ト等シクナリ、力ナキ人ノ如クナレリ、死人ノ中ニ投
ゲラレテ、猶殺サレテ柩ニ臥シ、爾ニ復記憶セラレズ、爾ノ手
ヨリ絶タレシ者ノ如シ。爾我ヲ深キ坎ニ闇冥ニ淵ニ置ケ
リ。爾ノ憤ハ重ク我ニ加ハリ、爾ノ波ヲ傾ケテ我ヲ撃テリ。
九 爾我ガ識ル所ノ者ヲ我ヨリ遠ザケ、我ヲ彼等ノ惡ムベキ

者トナセリ、我閉サレテ出ヅルヲ得ズ。我ガ目ハ愁苦ニ因
リテ痛ク疲レタリ、主ヨ、我終日爾ヲ呼ビ、手ヲ伸ベテ爾ニ向
ヘリ。爾豈ニ死セシ者ニ奇跡ヲ施サンヤ、死セシ者豈ニ起
サテ爾ヲ讚揚センヤ、爾ノ憐ハ墓ノ中ニ爾ノ眞ハ腐敗ノ
地ニ、豈ニ傳ヘラレンヤ、爾ノ奇跡ハ闇冥ニ、爾ノ義ハ遺忘
ノ地ニ、豈ニ識ラレンヤ。主ヨ、我爾ニ呼ブ、我ノ禱ハ晨ニ爾
ノ前ニ在リ。主ヨ、爾ハ何爲レゾ、我ガ靈ヲ棄テ、爾ノ顔ヲ我
ニ隠シ給フ。我少キヨリ禍ニ遭ヒ、幾ド消エ亡セントシ、爾
ノ恐嚇ヲ受ケテ、我ガ疲ハ極レリ。爾ノ憤ハ我ヲ度リ、爾ノ
恐嚇ハ我ヲ碎ケリ、毎日本ノ如クニ我ヲ環リ、齊シク集リ

テ我ヲ圍ム。爾ハ我が友ト親シキ者トナシ我ヨリ遠ザケタリ。我が識ル所ノ者ハ見エズ。

光榮讚詞

第八十八聖詠

一 エズラノ裔エフムノ教訓

主ヨ、我永ク爾ノ慈憐ヲ歌ヒ、我が口ヲ以テ世世ニ爾ノ眞實ヲ傳ヘン。蓋我言フ慈憐ハ永ク建テラレタリ。爾ハ爾ノ眞實ヲ天ニ固メタリ。曰ク我ハ我が選ビシ者ト約テ立テ、我が僕ダワセニ誓ヒタリ。我永ク爾ノ裔ヲ固メ、世世ニ爾ノ寶座ヲ建テント。主ヨ、諸天ハ爾ノ奇異ナル事ト爾ノ眞

實トテ聖者ノ會ニ讚榮セシ。蓋諸天ニ於テ孰カ主ニ並ブテ得シ、神ノ子ノ中孰カ主ニ較ブルヲ得シ。神ハ聖者ノ大會ニ於テ畏ルベク、凡ソ彼ヲ環ル者ノ爲ニ畏ルベシ。主萬軍ノ神ヨ、孰カ爾主ノ如ク有力ナル。爾ノ眞實ハ爾ヲ環ル。爾ハ海ノ激怒ヲ治メ、其波ノ騰ル時爾之ヲ鎮ム。爾ハラアワテ仆シシコト傷ツケラレシ者ノ如ク、爾ガ有能ノ臂ニテ爾ノ諸敵ヲ散ラセリ。天ハ爾ニ屬シ、地モ爾ニ屬ス、世界ト其中ニ滿ツル者トハ、爾之ヲ建テタリ。北ト南トハ、爾之ヲ造レリ、フワルトエルモントハ、爾ノ名ニ因リテ欣ブ。爾ノ臂ハ有能ナリ、爾ノ手ハ有力ナリ、爾ガ右ノ手ハ高シ。公平